

「お試しサテライトオフィス」モデル事業（平成 29 年度）

調査報告書 別紙

平成 30 年 3 月

総務省地域力創造グループ地域自立応援課



# 「お試しサテライトオフィス」モデル事業（平成 29 年度）

## 調査報告書 別紙

- 別紙 1 本業務の実施スケジュール
- 別紙 2 平成 29 年度モデル事業スケジュール一覧表
- 別紙 3 進捗状況等報告票（雛形）
- 別紙 4 モデル団体別お試し勤務一覧表（雛形）※
- 別紙 5 進捗状況等報告票（モデル事業終了時）※
- 別紙 6 モデル団体別お試し勤務一覧表（モデル事業終了時）※
- 別紙 7 課題・リスク管理表（雛形）
- 別紙 8 課題・リスク管理表（モデル事業終了時）※
- 別紙 9 お試し勤務実績一覧（モデル事業終了時）
- 別紙 10 実態調査項目案（団体共通）
- 別紙 11 平成 29 年度モデル団体の取組・成果
- 別紙 12 先進的団体の取組概要
- 別紙 13 モデル事業の成果取りまとめ
- 別紙 14 成果報告会アンケート票
- 別紙 15 成果報告会アンケート結果※
- 別紙 16 重点的取組の推進に係る課題の解決方策（例）

※当該資料については非公開とする。





別紙3 進捗状況等報告票(雛形)

報告対象	〇〇県〇〇市	報告期間	平成〇〇年〇月〇〇日 ~ 平成△△年△月△△日
報告日	平成〇〇年〇月〇日	工程	お試し勤務実施中

モデル事業 全体状況サマリ	(報告期間におけるモデル事業全体の主な状況を総括する。)		
	✓ 例) 〇〇業務について、〇月より〇〇事業者を選定し、外部委託 ✓ 例) 新たにお試し拠点〇〇の整備が完了し、〇月〇日より入居者受け入れ予定		
報告対象(詳細)	状況	次回報告までの予定	
進捗	当初～平成〇〇年〇〇月〇〇日		
	(報告期間における進捗状況を総括)	(左記状況を踏まえ、遅延が発生している場合における遅延解消に向けた予定や対策等を記載)	
	✓ 例) 〇セミナーについては予定通り実施 ✓ 例) 〇月に委託予定の事業者選定が遅延している。	✓ 事業者選定については〇月にリスケシ、その後の作業委託期間を〇月に前倒しで対応	
	平成〇〇年〇〇月〇〇日～平成△△年△△月△△日	✓ . . .	✓ . . . <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                     事務局にて取りまとめの際には、最新の状況に加え、過去の状況報告の内容も分かるように履歴を残して整理                      ※運営体制、事業スコープも同様                 </div>
	平成△△年△△月△△日～平成□□年□□月□□日	✓ . . .	✓ . . .
運営体制	(報告期間における運営体制整備状況を総括)	(左記状況を踏まえ、体制が不足している場合における問題解消に向けた対策・予定等を記載)	
	✓ 例) ニーズ調査に向けて委託事業者を含めた協議会を組成 ✓ 例) 〇〇作業を実施する要員が不足している	✓ 左記作業を実施するために、新たに委託事業者〇〇の要員追加を検討	
事業スコープ	(報告期間における事業全体のスコープ(事業目標や事業規模等)の変更有無を総括する。)	(左記状況を踏まえ、事業スコープを変更する場合等における予定や対策等を記載する)	
	✓ 受入企業数〇件の目標は達成済み ✓ 事業目標〇〇については、スケジュール上実質的に達成が困難	✓ 事業目標〇〇について、見直しをしたうえで〇月に総務省と協議	
主な課題・リスク等			
内容		発生日	完了(予定)日
(上記状況の他に、事業全体で特筆すべき課題・リスク等があれば個別にその内容を記載する。)		平成△△年△月△△日	平成△△年△月△△日
その他特記事項(総務省との調整事項等)			
✓ (その他に総務省や請負事業者(日本総研)等に連絡すべき事項等があればその内容を記載する)			



平成29年度 モデル団体	お試し勤務実績					お試し勤務企業				正式進出確定企業	
	お試し勤務 延べ件数	お試し勤務 延べ日数 (※休日は除く)	研修ツアー 参加者数 (※研修ツアー参加者は その内計 別「研修ツアー」参照)	正式進出 決定企業数	進出検討 企業数	企業名		企業名		企業名	特記事項
						企業名	入居期間	企業名	入居期間	企業名	特記事項
下川町	10	41	5	4	0	GF株式会社	平成29年10月27日～平成29年10月28日			株式会社アイ・セプト	研修ツアーに参加
						株式会社ウイン・トレーディング	平成29年10月27日～平成29年10月28日			GF株式会社	共同開催
						株式会社ベジライフ丸機	平成29年10月27日～平成29年10月28日			株式会社ウイン・トレーディング	共同開催
						株式会社WEST	平成29年10月27日～平成29年10月28日			株式会社フジリビング	
						株式会社Wasei	平成29年11月1日～平成29年11月8日				
						株式会社フジリビング	平成29年11月22日～平成29年11月24日				
						株式会社ジーエフイー①	平成30年1月16日～平成30年1月22日				
						株式会社ジーエフイー②	平成30年2月2日～平成30年2月8日				
						ヤフー株式会社	平成30年2月4日～平成30年2月6日				
						株式会社カヤック	平成30年2月9日～平成30年2月13日				
みなかみ町	57	98	8	1	0	株式会社ライフミール	平成29年7月13日～平成29年7月14日	ラクーサ合同会社④	平成29年10月14日～平成29年10月15日	ネクストロード株式会社	
						株式会社ダイアロジックコンサルティング	平成29年7月13日～平成29年7月14日	ネクストロード株式会社②	平成29年10月19日		
						弁護士法人 ASK	平成29年7月13日～平成29年7月14日	ラクーサ合同会社⑤	平成29年10月20日		
						株式会社ダイアロジックコンサルティング②	平成29年7月26日～平成29年7月27日	株式会社メタ	平成29年10月20日		
						弁護士法人 ASK②	平成29年7月26日～平成29年7月27日	株式会社ASK③	平成29年10月31日		
						株式会社grooves	平成29年7月26日	一般社団法人ULVO	平成29年10月31日～平成29年11月1日		
						ラクーサ合同会社	平成29年7月26日	株式会社ファイヤーブレイス	平成29年11月2日～3日		
						クリエイティブマムズリンク	平成29年7月31日～平成29年8月8日	ヤフー株式会社	平成29年11月13日		
						株式会社ダイアロジックコンサルティング③	平成29年8月8日	ヤフー株式会社②	平成29年11月14日		
						特定非営利活動法人モクデン企画	平成29年8月11日	個人集合体	平成29年11月26日～27日		
						ラクーサ合同会社②	平成29年8月22日	伊藤デスティニーワークス	平成29年12月1日		
						株式会社あしたのるるんラボ	平成29年8月26日～平成29年8月28日	株式会社日本経済広告社	平成29年12月1日		
						ネクストロード株式会社	平成29年8月26日～平成29年8月29日	株式会社あしたのるるんラボ②	平成29年12月4日		
						株式会社ワンピース	平成29年8月29日	ミチナル月草園業	平成29年12月5日～6日		
						株式会社ダイアロジックコンサルティング④	平成29年8月30日～平成29年9月2日	株式会社ストーンシステム	平成29年12月7日～平成29年12月8日		
						株式会社ライフミール②	平成29年8月30日～平成29年9月2日	ヤフー株式会社③	平成29年12月7日～平成29年12月8日		
						マナビクエイト	平成29年8月30日～平成29年9月31日	ヤフー株式会社④	平成29年12月7日～平成29年12月8日		
						株式会社ダイアロジックコンサルティング⑤	平成29年8月30日～平成29年9月31日	特定非営利活動法人モクデン企画②	平成29年12月10日～平成29年12月11日		
						有限会社しーこむ	平成29年8月30日～平成29年9月2日	特定非営利活動法人モクデン企画③	平成29年12月10日～平成29年12月11日		
						ラクーサ合同会社③	平成29年9月11日	一般社団法人at Will Work・ビル	平成29年12月11日		
						一般社団法人ワークデザイン・ラボ	平成29年9月23日	個人事業主	平成29年12月20日		
						グーグル合同会社	平成29年9月24日	株式会社メタ②	平成29年12月22日		
						株式会社div notes	平成29年10月2日	株式会社チームビルディングジャパン	平成29年12月28日		
						株式会社ジェイアール東日本企画	平成29年10月14日～平成29年10月15日	株式会社チームビルディングジャパン②	平成30年1月11日～平成30年1月12日		
						株式会社ビーアンドエス・コーポレーション	平成29年10月14日～平成29年10月15日	スームジャパン株式会社	平成30年1月15日		
						株式会社ケムケム	平成29年10月14日～平成29年10月15日	ヤフー株式会社⑤	平成30年1月16日		
						株式会社カゲン	平成29年10月14日～平成29年10月15日	ヤフー株式会社⑥	平成30年1月16日		
						株式会社トライバルメディアハウス	平成29年10月14日～平成29年10月15日	ヤフー株式会社⑦	平成30年1月19日		
						グーグル合同会社②	平成29年10月14日～平成29年10月15日				
						株式会社ベジスタンス	平成29年9月19日～平成29年9月20日				
株式会社LookUP	平成29年10月1日～平成29年10月2日										
NECネットエスアイ株式会社	平成29年12月22日										
日本電気株式会社	平成29年12月22日										
株式会社ソニックガーデン	平成30年1月5日～平成30年1月7日										
株式会社デザインエイム	平成30年1月19日～平成30年1月20日										
ライフ用品株式会社	平成30年1月20日～平成30年1月21日										
ヤフー株式会社	平成30年1月28日										
非営利団体ナリワイ	平成30年1月28日～平成30年1月28日										
株式会社アントレ・ラボコーポレーション	平成30年2月4日										
株式会社帳簿放送	平成29年7月18日～平成30年2月19日										
株式会社十六総合研究所	平成29年9月7日～平成30年2月19日										
個人事業主	平成29年11月25日～平成29年11月28日										
一般社団法人日本Webコンサルタント協会	平成29年12月27日～平成30年2月19日										
株式会社ジェイアンドユー	平成29年10月10日～平成29年10月18日										
ktm株式会社	平成29年10月18日～平成29年10月22日										
株式会社オーケツ	平成29年10月23日～平成29年10月29日										
有限会社フューコム	平成29年10月23日～平成29年10月29日										
株式会社スマートコンセプト	平成29年10月30日～平成29年11月9日										
神社ネットシステム大和魂プロジェクト	平成29年11月2日～平成29年11月4日										
株式会社 Lighthouse	平成29年11月6日～平成29年11月8日										
株式会社JUBILEE WORKS	平成29年11月6日～平成29年11月12日										
株式会社 G.U.style	平成29年11月6日～平成29年11月12日										
コードキャンパ株式会社	平成29年11月13日～平成29年11月20日										
株式会社Dron 6 motion	平成29年11月13日～平成29年11月20日										
株式会社ekyer	平成29年11月20日～平成29年11月26日										
株式会社プラザ・イー	平成29年11月20日～平成29年11月26日										
Vineyard Work株式会社	平成29年11月27日～平成29年12月3日										
一般社団法人中野区産業振興推進機構	平成29年11月27日～平成29年12月3日										
岡崎市	11	11	38	0	3	A社(情報・通信業)	平成29年12月7日				
						B社(サービス業)	平成29年12月7日				
						豊田通商株式会社	平成29年12月7日				
						LINE株式会社	平成29年12月8日				
						G社(サービス業)	平成29年12月11日				
						株式会社ユニバーサル園芸社	平成29年12月11日				
						日本マイクロソフト株式会社	平成29年12月20日				
						株式会社Endeign	平成29年12月20日				
						株式会社コアストリーム	平成29年12月21日				
						ネットワンシステムズ株式会社	平成30年1月23日				
ヤフー株式会社	平成30年2月16日										
奈良県	4	8	4	0	1	株式会社楽しいテレビジ	平成29年11月12日～平成29年11月13日				
						三豊地所株式会社	平成29年11月12日～平成29年11月13日				
						株式会社パソナ	平成30年2月16日～平成30年2月17日				
						株式会社SAGOJO	平成30年2月16日～平成30年2月17日				
伊仙町	18	105	4	0	16	合同会社ユナイテッドコンテナネットワークインテリナショナル	平成29年8月2日～平成29年8月9日				
						特定非営利活動法人ストリートデザイン研究機構	平成29年8月19日～平成29年8月21日				
						有限会社A&AT	平成29年8月22日～平成29年8月28日				
						株式会社購買Deaign	平成29年9月20日～平成29年9月24日				
						ソーバル株式会社	平成29年9月27日～平成29年10月1日				
						Apeman Deaign株式会社	平成29年10月9日～平成29年10月15日				
						株式会社ケーエスジャパン	平成29年10月13日～平成29年10月20日				
						有限会社ホームポジション	平成29年10月24日～平成29年10月29日				
						株式会社龍澤米穀店	平成29年10月31日～平成29年11月6日				
						株式会社ニュースサービスセンター	平成29年11月2日～平成29年11月6日				
						株式会社YUWA	平成29年11月6日～平成29年11月9日				
						株式会社コミュニティコム	平成29年11月7日～平成29年11月12日				
						株式会社フジリビング	平成29年11月12日～平成29年11月15日				
						株式会社クリアワークス	平成29年11月19日～平成29年11月25日				
						助産師ばぶばぶ	平成29年11月26日～平成29年11月29日				
						株式会社モスクリエーション	平成29年11月27日～平成29年12月3日				
株式会社阪急交通社	平成29年12月4日～平成29年12月8日										
ヤフー株式会社	平成29年12月17日～平成29年12月23日										

## 別紙10 実態調査項目案

調査（ヒアリング） 対象	調査項目		主な確認事項	
	大項目	小項目		
行政担当職員 <small>※戦略策定業務等を外部委託している場合は、再委託事業者にもヒアリング</small>	モデル事業全般	成果指標の再確認	提案時点からの成果指標の変更有無	
		事業のポイント	事業の特徴・他団体（事業）との差別化要素	
		その他施策との連携有無・連携内容	地域再生計画や地方版総合戦略等で定める個別施策（空き家活用、移住促進等）と本事業の関係の有無、その他施策と本事業の棲み分け（本事業単独で達成すべき目標等）	
		事業実施効果	事業実施に伴う地域への波及効果（知名度向上、地域活性化、休閒施設の有効利用等）	
	お試し勤務企業の誘引状況・方針	お試し勤務企業の誘引方針	ターゲットとする都市部企業の業種・属性、お試し勤務を推奨する期間、お試し勤務を実施する上での制約事項	
		お試し勤務企業の確保・調整状況	問合せの受付状況（問合せ頻度・件数等）、都市部企業への個別訪問状況、企業獲得に向けた都市部セミナー等の開催状況	
		お試し勤務企業の主な属性	入居確定・調整中の都市部企業の主な業種、規模、使用する設備、使用形態等	
		お試し勤務企業の獲得に向けた示唆	都市部企業の主な誘引要素（立地条件・アクセス/勤務環境・設備/地域資源（企業・人材等）/観光資源/各種支援サービス/営業活動/地縁等）	
		お試し勤務企業の獲得における課題・問題点	お試し勤務に至らない主な理由（立地・アクセス/勤務環境・設備/認知度不足等）	
		お試し勤務企業の獲得に向けた今後の対応方針	上記の課題解決に向けた今後の対応方針（環境改善/サービス高度化/情報発信等）	
		サテライトオフィス開設企業の獲得に向けた今後の対応方針	事業終了後にサテライトオフィスを開設する企業を獲得するための現時点の戦略・方策（制度設計/施策等）	
	お試し勤務環境	お試し勤務環境の整備状況	お試し勤務環境の整備状況（全拠点整備済み/一部拠点整備中）や今後の環境追加・改修等の有無	
		お試し勤務環境の提供方針	提供範囲（全部提供/一部提供）、提供期間・人数の制限有無、モデル事業終了後の取扱い	
		お試し勤務環境の提供（利用）状況	入居・問合せ状況（環境別の入居・問合せ件数等）	
		生活支援状況	お試し勤務企業に対する生活支援サービス・制度（宿泊場所の提供等）の有無・提供状況	
		お試し勤務環境における課題・問題点	環境整備の遅延有無、お試し勤務企業からの環境改善要望への対応	
	モデル事業の実施体制	実施体制の全体像	外部委託の有無・範囲、各組織の役割分担、役割分担の考え方	
		実施体制の構築状況	外部委託の状況（事業者未選定/選定（公募）中/契約締結済等）、今後の体制構築スケジュール	
		体制構築における課題	体制構築の遅延有無、委託範囲の変更有無	
	その他調査状況について	都市部企業のニーズの把握状況	団体個別に実施する企業ニーズ調査の実施状況（委託事業者との調整状況、アンケート・ヒアリング等の実施状況、分析状況等）	
		地元人材・地元事業者のニーズの把握状況	地元に対するモデル事業（サテライトオフィス誘致）の説明状況、ニーズ把握に向けた地元人材・地元事業者に対するアンケート・ワークショップ等の調査の実施状況	
		適地調査の実施状況	企業ニーズ調査等を踏まえたオフィスの適地・環境整理に向けた調査状況	
	その他地域の特性について	地域の魅力	観光名所・物産、歴史的背景、基幹産業、人材特性、教育・医療環境	
		地域が抱える問題点	人口動態（少子高齢化、若年層の流出等）、産業動向（基幹産業の衰退、雇用環境の縮減等）	
	お試し勤務企業 <small>※個人事業主を含む</small>	お試し勤務の契機	お試し勤務の目的	利用目的（業務効率化/他企業とのネットワーク構築/地域企業・人材との連携/業務形態の多様化による人材維持・確保等）
			情報収集の経緯	お試し勤務に関する情報の入手経路（モデル団体Webサイト/モデル団体への個別訪問/都市部セミナー等）や調整経緯、他団体へのコンタクト状況
			モデル団体の選定要因	モデル団体選定の主な要因（立地条件・アクセス/勤務環境・設備/地域資源（企業・人材等）/観光資源/各種支援サービス/営業活動/地縁等）
		お試し勤務の状況	お試し勤務環境の利用状況	活用方針（志向する活用類型）、利用スペース・設備、利用時間帯、利用人数、業務範囲（どのような業務をどの程度まで行うか）、具体的な作業内容（資料作成、会議、営業活動、イベント開催等）
			お試し勤務環境に対する感想	都市部での勤務との相違点、メリット・デメリット（作業や都市部とのコミュニケーションに関する不便性等）、環境・サービスに対する改善要望（ネットワーク環境等）
			今後のサテライトオフィス展開方針	お試し勤務を踏まえた、今後の地方におけるサテライトオフィス開設の方針、予定、課題・制約事項
生活状況		宿泊状況	宿泊場所や支援制度・サービスの活用有無	
	その他生活状況	買い物の場所、余暇の過ごし方（観光・イベント参加等）		
お試し勤務環境の現地視察 <small>※必要に応じて行政担当職員、運営事業者等にヒアリング</small>	勤務環境	お試し勤務環境の仕様	施設規模、設備（ICT環境等）、空間構成（共用/個室スペースの有無等）、セキュリティ対策、その他特徴・雰囲気（開放的/閉鎖的等）	
		お試し勤務環境の運営体制	運営スタッフ数、施設管理体制（スタッフ常駐/非常駐等）、利用メニュー・プラン、モデル事業終了後の運営方針（環境閉鎖/継続利用、現代風/古民家風等）	
		お試し勤務環境の立地条件	立地場所（市街地/郊外/山間等）、最寄り駅・アクセス、景観・眺望等	
	周辺環境	生活環境	商業施設、教育施設、医療施設等の有無	
		余暇環境	観光名所、レジャー施設、アクティビティ施設等の有無	

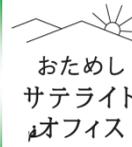
# 平成29年度モデル団体の取組・成果

平成30年3月9日

# 目次

北海道下川町	・・・	2
群馬県みなかみ町	・・・	11
千葉県南房総市	・・・	22
岐阜県高山市	・・・	34
静岡県南伊豆町	・・・	42
愛知県岡崎市	・・・	53
奈良県	・・・	62
鹿児島県伊仙町	・・・	73

# 企業の皆様と新たな価値創造を目指す 下川町サテライトオフィスプロジェクトの概要



北海道下川町

提案団体名	人口(H27国調)	面積(H27国調)
北海道下川町	3,547人	644.2km <sup>2</sup>

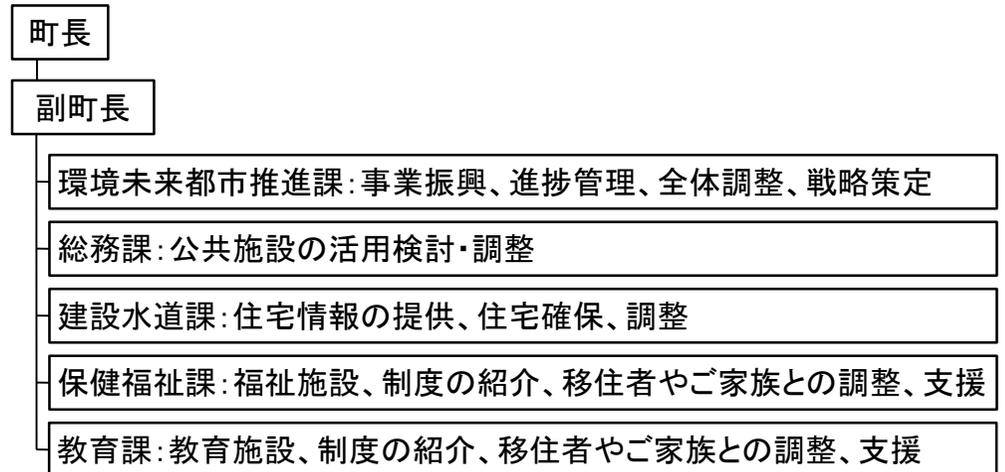
## 事業のポイント

- ・ 都市部企業のニーズの把握
- ・ BtoBを中心とした地域とのマッチング
- ・ 今後の誘致に向けたノウハウの蓄積

### ○本事業で実施する取組の概要

- 1 各種調査
  - ・ 企業ニーズ調査
  - ・ オフィス適地調査
- 2 広報活動
  - ・ HP、Webメディアからの情報発信
  - ・ DM、電話での誘引
  - ・ イベントへの出展
- 3 お試し勤務等の受入
  - ・ 都市部企業の視察受入
  - ・ 都市部企業のお試し勤務受入

### ○事業の実施体制



連携

委託

下川町産業活性化支援機構: 本町の各産業団体、行政、三セク、金融機関で構成するコンソーシアム、産業課題の解決、産業間連携、産業活性化に取り組む

下川町ふるさと開発振興公社: 本町の第三セクター、産業クラスターに取り組む

# 事業の目的・実施方針

## 【本事業の目的】

かつて1万5千人を超える人口を有するも、産業構造の変化などにより産業が衰退しピーク時の4分の1以下にまで人口が減少した本町は、需要と供給の減少に伴って経済規模が縮小し、堅調な景気の中にあっても、既存産業の振興のみでは地域経済再興の糸口を見出せないでいる。

このため、新たな技術や優れたノウハウを有する都市部企業との連携により、地域経済の活性化や相乗効果を図り、地域経済社会の好循環化を目指す。

## 【本事業の実施方針】

都市部企業のニーズを踏まえ、企業の本業領域における地域との関係性の構築に軸を置きつつ、社員の厚遇施策を副次的な要素として、次に掲げる都市部企業との連携、誘致を進める。

- ①地域資源活用型企业
- ②地域課題解決型企业
- ③多様な人材が就労可能な企業

# お試し勤務地一覧

お試し勤務地の概要	外観・内装写真など
<p>施設名 コモレビ</p> <p>用途・類型 シェアオフィス（コワーキングスペース有）</p> <p>通信環境 無線LAN</p> <p>設備 デスク、イス、PC、複合機</p> <p>立地位置 中心市街地（バスターミナル、ホテル隣接）</p>	 
<p>施設名 ヨックル</p> <p>用途・類型 サテライトオフィス</p> <p>通信環境 無線LAN</p> <p>設備 デスク、イス、PC、複合機</p> <p>立地位置 市街地（郊外、保育所・中学校に隣接）</p>	 

# お試し勤務の誘引のための取組内容

## 【誘引の考え方】

本町は、マッチング調査リスト企業や職員、関係者等と面識のある企業、企業間の情報交換等により紹介を受けた企業等に対し、本町への視察やお試し勤務を体験いただけるよう、以下の誘引活動を行った。

## 【誘引活動】

- ①HPでの情報発信
- ②企業誘致イベントへの出展
- ③企業への訪問・営業
- ④PR資料の郵送
- ⑤ダイレクトメールの送信
- ⑥電話での勧誘、アポイント
- ⑦Webメディアからの情報発信

# お試し勤務等の実績

## 【視察企業】

企 業		視 察			
業 種	規模	職種	人数	目 的	特徴的な活動
IT (Web制作、システム開発)	90名	代表 社員	2名	取引の模索	地元企業等との面談
業務受託 (バックオフィス業務)	170名	社員	1名	支所の検討	行政との面談
IT (Web制作、ゲーム開発)	283名	社員	1名	連携の模索	地元企業等との面談
IT (インターネット戦略支援)	13名	代表	1名	取引の模索	地元企業等との面談
人材 (転職、就職支援)	80名	社員	1名	連携の模索	行政との面談
合 計	5社		6名		

# お試し勤務等の実績

## 【お試し勤務企業】

企 業		お試し勤務				
業 種	規模	職種	人数	勤務地	目 的	特徴的な活動
食品加工、卸売 (外食産業向け野菜卸)	40名	代表	1名	ヨックル	取引の模索	地元企業との商談
食品加工、卸売 (外食産業向け野菜卸)	24名	代表	1名	ヨックル	取引の模索	地元企業との商談
食品卸売 (小売向け野菜卸)	25名	代表	1名	ヨックル	取引の模索	地元企業との商談
障害者支援 (就労移行支援)	10名	代表	1名	ヨックル	視察	
Webメディア	5名	社員	1名	ヨックル	勤務体験	本町の情報発信
商社 (商社、人財マッチング)	5名	代表	1名	コモレビ	取引の模索	地元企業との面談
IT、映像 (システム開発、映像制作)	15名	社員	2名	ヨックル	将来的な進出の 検討	映像制作
IT (検索、メディア、EC)	6,290名	社員	2名	コモレビ	勤務体験	地元企業等との面談
IT (Web制作、ゲーム開発)	283名	社員	6名	ヨックル	勤務体験	開発合宿
合 計	9社		16名			

## その他本事業で実施した取組内容

### (1) 各種調査

サテライトオフィス誘致の基礎的な情報として次の調査を実施した。

①企業のニーズ調査・オフィス適地調査

### (2) PR活動

都市部企業等へのPR活動として、主に以下の取り組みを実施した。

①HPでの情報発信

②企業誘致イベントへの出展

③企業への訪問・営業

④PR資料の郵送

⑤ダイレクトメールの送信

⑥電話での勧誘、アポイント

⑦Webメディアからの情報発信

### (3) 視察

都市部企業の視察の受け入れでは、主に次の取り組みを実施した。

①本町の概要や取り組みの説明

②基幹産業や住宅、主要施設の案内

③地元企業や団体、教育機関等との面談や商談

④担当者や関係者とのブレスト

### (4) お試し勤務

都市部企業のお試し勤務の受け入れでは、上記の視察内容に加え、次の取り組みを実施した。

①地元企業・住民との懇談

②体験プログラムの提供

## 成果概要

### (成果指標の達成状況、サテライト開設決定企業等について)

#### (1) 成果指標の達成状況

目標は、本町が誘致を目指す次に掲げる都市部企業全体で、お試し勤務3社であったが、実績は、9社16名で内訳は次のとおりとなった。

- ①地域資源活用型企业 7社13名
- ②地域課題解決型企业 1社 2名
- ③多様な人材が就労可能な企業 1社 1名

#### (2) サテライトオフィス開設決定企業

企業			本事業の利用実績		サテライトオフィスの方向性		支援策
名称	業種	規模	内容	職種	決定理由	開設時期	
A社	IT(インターネット戦略支援)	13名	視察	経営者	本町を中心とした地域との連携によるビジネス展開の可能性	H30	オフィスのコスト支援
B社 C社	食品加工、卸売(外食産業向け野菜卸)	40名 24名	お試し勤務	経営者 経営者	本町の資源を活用したビジネス展開の可能性	H31	加工施設の整備、オフィスのコスト支援
D社	商社(商社、人財マッチング)	5名	お試し勤務	経営者	本町を中心とした地域との連携によるビジネス展開の可能性	H30	オフィスのコスト支援

# 成果の総括と今後の方針

## 【成果の総括】

### (1) 都市部企業のニーズ

企業の本業領域における地域との関係性構築がニーズとして感じられた。具体的には次のとおり。

- ① 地方でのビジネス展開による経営規模の拡大
- ② 商材や人材などの経営資源の獲得
- ③ 新分野進出による経営の多角化や安定化
- ④ 上記①や③を足掛かりとした類似地方への横展開による商圈の拡大

### (2) サテライトオフィス市場

全国各地で誘致合戦が繰り広げられ、市場はレッドオーシャン。このため、次の対策が必要。

- ① 後追いの地域におけるプレゼンスの向上
- ② 他の地域との差別化

## 【今後の方針】

### (1) 誘致に当たった課題

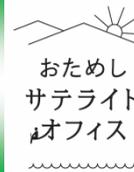
本事業実施により地域ならではの課題が浮き彫りになった。具体的には次のとおり。

- ① 小規模なマーケット
- ② 除雪や運転など冬期間の暮らしに対する不安

### (2) 課題を踏まえた今後の方針

サテライトオフィスの誘致は初めての試みであったが、4社(うち2社は共同展開)の企業が本町へ進出を決定した本事業は大変効果的であり、今後も視察やお試し勤務などの取り組みを継続するとともに、引き続き開設に向けて協議している企業との接触など、誘致活動を継続する方針。

# お試しサテライトオフィス事業 「都心と地方のデュアルライフ」Dual66事業の概要



提案団体名	人口(H27国調)	面積(H27国調)
みなかみ町	19,347人	781.08km <sup>2</sup>

## 事業のポイント

- ・東京駅から新幹線で66分という通勤圏ともなりうる近接性を活かし、都市部企業による二地域勤務を含めた取組を目指す。
- ・「ユネスコエコパーク」として世界基準で認められたスケールの大きな自然環境や人々の生活、アウトドアアクティビティや温泉、食といった魅力を身近に楽しむお試し勤務を実現。



## ○本事業で実施する取組の概要

- 1. 「お試し勤務」の受け入れ**
  - ・町内3か所をお試し勤務施設として、32社161名のお試し勤務を受け入れ
- 2. 企業ニーズ調査**
  - ・都市部企業訪問によるヒアリングや、アンケート調査により企業ニーズを把握
- 3. 広報活動の実施**
  - ・視察ツアーを開催し、8社18名を受け入れ
  - ・都市部セミナー、オンライン説明会、企業訪問によりネットワーク創出
  - ・WEBサイトやプロモーション動画を作成し、自地域の情報を発信
- 4. プログラム開発**
  - ・本町の特徴を活かした自立運営可能なワーケーションプログラムの開発
- 5. 適地調査**
  - ・町内遊休施設の実態把握と活用可能性調査を実施
- 6. ビジネスマッチング**
  - ・地元事業者が抱える課題を解決するビジネスマッチングを試行

## ○事業の実施体制

### みなかみ町

- 総合戦略課
  - ・本事業の全体統括、誘致戦略の策定
  - ・サテライトオフィス整備、お試し勤務実施、移住情報整備等における関係者(地域住民、事業者、関係諸団体等)との調整



- (再委託事業者)
  - ・視察ツアー、お試し勤務の受入支援(地域での受入プログラムの開発、実施等)
  - ・サテライトオフィス基本設計、適地調査
  - ・広報活動支援(WEBサイト制作、イベント運営補助等)

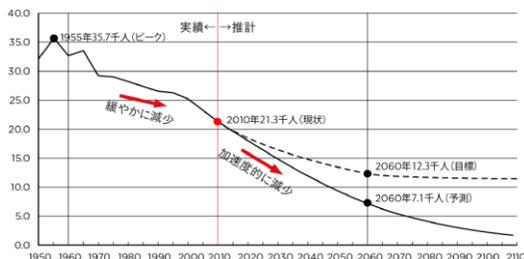


- (再委託事業者)
  - ・実践的ニーズの調査(都市部企業社員へのヒアリング調査等)
  - ・誘致戦略策定サポート

# 事業の目的・実施方針

## 1. 背景

①急激な人口減少と高齢化  
都市部への若者の流出による社会減が著しい



②雇用が観光業に特化  
「宿泊業、飲食サービス業」の特化係数が3.0以上、地区によっては7.0に迫る。  
しかし、若者の就業割合は低い。

③空き家や空き公共施設の増加  
平成17年10月に3町村で合併し、空き公共施設が増加。  
また、人口減少に伴って空き家が増加。

## 2. 目的

①新しいヒトの流れ  
テレワーク勤務の価値を訴求し、本町での新しい働き方を提唱することで、本町に何度も繰り返し訪れてもらう。

②地場産業の活性化  
都市部企業等の専門スキルの活用により、地域課題を解決させる。本町の地域資源を活用した地域ビジネスを創出する。

③遊休資産の活用  
都市部企業等の勤務先・常駐先として、町内の遊休資産を活用する。

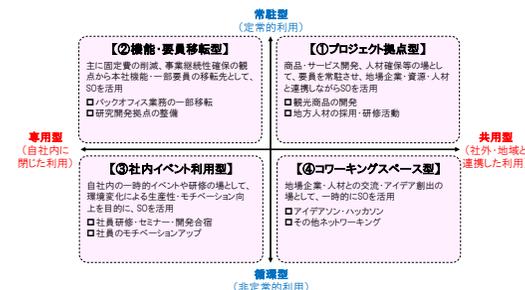
これらを網羅した「サテライトオフィス誘致戦略」を策定する。

## 3. 実施方針

豊かな地域資源をプログラム化し提供することで、都市部では得られない健康的で創造的なテレワーク勤務を実現させる。

【ターゲット】

- ①プロジェクト拠点型  
自然のなかで感じ考える、アイデア発想プログラムを提供
- ③社内イベント活用型  
近接性を活かして、経営合宿等を誘致
- ④コワーキングスペース型  
本町の課題を解決するビジネスマッチングを試行





# お試し勤務地一覧（2）

## お試し勤務地の概要

【名称】水上温泉日帰り温泉サテライトオフィス

【用途・類型】 コワーキングスペース 1スペース(15㎡程度)

### 【立地する位置】

群馬県利根郡みなかみ町湯原801 ふれあい交流館 JR水上駅から徒歩20分

### 【もともとの用途・公有・民有】

もともとの用途は、SL情報の展示スペースであり、公有スペース

### 【改修の際の留意点】

右図の上から2番目の写真のように不要なものを撤去した。SL情報展示も規模を縮小して実施しているので、つい立てを設置し、目線が気にならないようにした。

【通信環境】無線LANを設置。

【セキュリティ機能】ふれあい交流館の営業時間のみでの運用とし、1階受付スタッフが常駐している。2階スペースの階段入り口に遠隔管理カメラを導入。

### 【設備】

1. オフィス什器(テーブル2脚、チェア2脚)
2. 遠隔接続テレビ会議機材(WEBカメラ、マイク&スピーカー)
3. 外部ディスプレイ2台
4. パーテーション3個

【宿泊】宿泊は不可。近隣の温泉旅館を紹介。

### 【当該建物をお試し勤務地とした理由】

本町が運営する日帰り温泉施設および温泉旅館が保有する遊休スペースへの普及展開可能性を検証するため。

【事業終了後の運営方針】事業終了後は、コワーキングスペースとしての運用は終了する。

## 外観・内装写真など



# お試し勤務地一覧（3）

## お試し勤務地の概要

【名称】猿ヶ京温泉古民家サテライトオフィス

【用途・類型】 サテライトオフィス 1スペース(15㎡程度)

### 【立地する位置】

群馬県利根郡みなかみ町猿ヶ京温泉958 上毛高原駅から車で25分

### 【もともとの用途・公有・民有】

もともとの用途は、みなかみ町が地域事業拠点として運営していた。土地・建物ともに民有。

### 【改修の際の留意点】

床のがたつきをフラットにし、オフィスチェアがスムーズに配置できるようにした。すべての入口を整備し直した(本事業予算ではない)。

入口に電子錠を導入し、入退室を管理できるようにした。

【通信環境】無線LANを設置。

【セキュリティ機能】電子錠と連携した入退室管理システムと遠隔監視カメラが導入。

### 【設備】

1. オフィス什器(テーブル6脚、チェア6脚)
2. 遠隔接続テレビ会議機材(WEBカメラ、マイク&スピーカー)
3. 外部ディスプレイ2台
4. パーテーション1個

【宿泊】宿泊可能。

### 【当該建物をお試し勤務地とした理由】

本町の移住促進の事業拠点としての候補地にて、お試し勤務を実施し、来年度以降の運用において、サテライトオフィス利用の可能性を検討するため。

【事業終了後の運営方針】本事業の結果をもとに事業終了後の運営を検討する。

## 外観・内装写真など

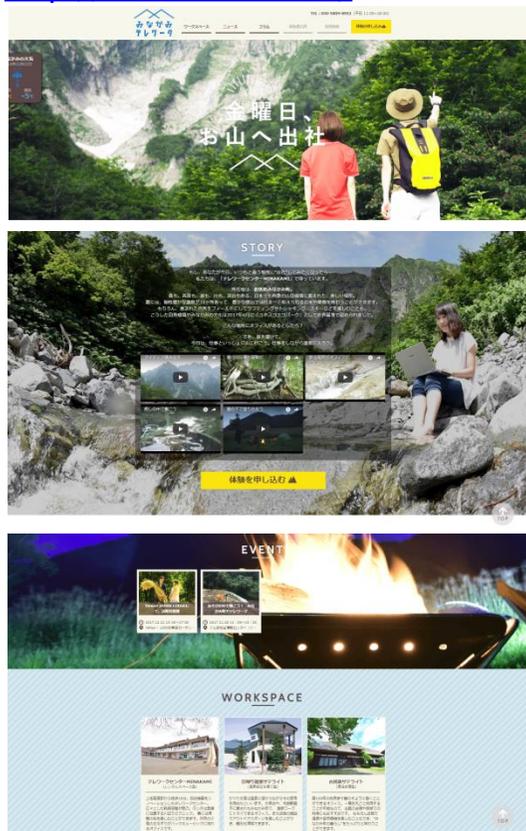


# お試し勤務の誘引のための取組内容（1）

## 1. WEBサイト

新たに専用のWEBサイトを構築

<http://minakami.work/>



## 2. プロモーション動画

本町の魅力を発信するための、プロモーション動画を作成



-  アイディア湧き出す  
一般社団法人コトノバ  
1:03
-  僕らの仕事も冒険だ  
一般社団法人コトノバ  
0:59
-  歩く場所がオフィスだ  
一般社団法人コトノバ  
0:49
-  癒しの中で働こう  
一般社団法人コトノバ  
0:51
-  星の下で語り合おう  
一般社団法人コトノバ  
1:03

## 3. 都市部セミナー

都市部にて誘客イベントを開催

- ①ぐんまちゃん家(11月28日)  
ランサーズメルマガによる配信  
13名参加→1名がお試し勤務



- ②Yahoo! Lodge(12月21日)  
社内サイネージ、チラシ等により  
43名参加→10名がお試し勤務



# お試し勤務の誘引のための取組内容（2）

## 4. 視察ツアー

経営者向けに、お試し勤務施設及び地域状況の把握を目的とした視察ツアーを随時開催

→8社、18名がツアーに参加

No	企業名	業種	視察者数
1	エイト	ゲームシナリオライター	1
2	ミチナル	子育て	2
3	ラクーサ合同会社	自然体験プログラム開発	1
4	あしたるんるんラボ	EC事業	4
5	ヤフー(株)	IT	2
6	NPO法人 ArrowArrow	子育て期のお仕事コンサル	4
7	ビズデザイン大阪	SROIコンサルティング	3
8	(株)HAPPILOT	教育、宿泊業コンサルティング	1

## 5. プログラムの開発

本町の魅力を活かした自立運営可能なワーケーションプログラムを開発し提供



▲ママの子連れワーケーション



▲みなかみ週末農業部

## 6. オンライン説明会

マッチング調査において本町に興味を示してくれた79社に対して、オンライン説明会への参加を呼びかけ

■日付:9月28日、10月17日

→

2社と接点を持つことができたが、自社サービスの営業的な話に

## 7. 企業訪問

主に、再委託事業者のネットワークを活用し、企業のニーズ調査及びお試し勤務誘引のために都市部企業を訪問

【訪問企業の例】

ヤフー、グーグル、ソフトバンク、マイクロソフト、損保ジャパン など

# お試し勤務等の実績

【実施期間】 平成29年7月13日～平成30年1月19日

【企業数】 32社＋個人事業主2組、計161名

No	企業名	業種	参加人数	No	企業名	業種	参加人数	No	企業名	業種	参加人数
1	(株)ライフミール	食育イベント:	2	13	(一社)ワークデザイン・ラボ	働き方改革を目指す	2	25	個人集合体	弁護士・情報系企業体	10
2	(株)ダイアロジック コンサルティング	コンサルティング	6	14	グーグル合同会社	IT	2	26	伊藤ディスティ ニーワークス		2
3	弁護士法人 ASK	弁護士	4	15	(株)div notes	IT	2	27	(株)日本経済広 告社		1
4	(株)grooves	人材ビジネス	1	16	(株)ジェイアール東 日本企画	広告代理店	1	28	ミチナル 月草編集室	編集とデザイン	1
5	ラクーサ合同会社	自然体験プログ ラム開発	5	17	(株)ビーアンドエス・ コーポレーション	健康食品	1	29	(株)ストーンシス テム	システム開発・HP 作成	5
6	クリエイティブمام ズリンク	個人事業主でク リエイティブ業務	5	18	(株)ケーエムケー	金型メーカー	1	30	(一社)at Will Work・森ビル	働き方改革の機 運醸成	3
7	NPO法人モクチン 企画	木造賃貸アパー トの改修	9	19	(株)カゲン	食プロデュース	1	31	個人事業主	音楽製作、情報誌 ライター	1
8	(株)あしたるんるん ラボ	EC事業	2	20	(株)トライバルメディ アハウス	ブランディングコ ンサル	2	32	(有)Cマインド	組織開発、研修	1
9	ネクストリード(株)	コンサルティング (スノーピーク)	2	21	(株)メタ	M&A後の組織コ ンサル	2	33	(株)チームビル ディングジャパン	組織開発、研修	11
10	(株)ワンピース	アパレル	2	22	一社)ULVO	フットサル文化 の醸成	5	34	ヌームジャパン (株)	栄養管理士が働 けるアプリ運営	2
11	マナビクリエイト	研修開発	1	23	(株)ファイヤープレイ ス	地方創生	1				
12	(有)しーこむ	研修開発	2	24	ヤフー(株)	IT	63				

# その他本事業で実施した取組内容

## 1. 適地調査

町内遊休公共施設のサテライトオフィスとしての利活用の可能性について、現地調査を実施

調査件数:12件

→  
セキュリティの確保、  
施設整備のコスト面で課題

## 2. 企業ニーズ調査

都市部企業を訪問し、ヒアリングにより企業ニーズを把握

調査件数:11件

→  
人事対応は業界ごとに様々  
会社と個人の差異  
地方勤務の価値訴求の必要性

## 3. 住居調査

移住を想定した際に、町営住宅の都市部テレワーカー向け利活用の可能性を検討

→活用の具体案を提言し、次年度以降にモデル的な整備を実施

## 4. ビジネスマッチング

本町の主産業である観光業(宿泊業経営者)が抱える課題を、テレワーカーの専門性を活用して解決するビジネスマッチングを試行

→データベースマーケティングの実証事業を開始。モデルが実証されれば普及展開の可能性。

## 5. テレワークツーリズム

町内の農家・旅行業者等と連携し、開発したワーケーションプログラムの、ビジネスサービスとしての提供(テレワークツーリズム)を模索

→日常的にテレワーク勤務を導入していけるよう、継続して季節ごとに魅力的なサービスを開発

## 成果概要

### (成果指標の達成状況、サテライト開設決定企業等について)

#### ■ 成果指標の達成状況

	項目	概要	成果指標	達成状況
1	仕事で選ばれる地方(みなかみ町ブランド)としての認知向上	働き方改革を支援する自治体として、新聞、テレビなどのメディアへの露出を狙い、プレスリリースを出す。	お試し勤務に連動し3回 最終報告として1回	NHKおはよう日本 首都圏版にて放送された。 HR業界の情報サイトにプレスリリース記事が掲載 <a href="http://hrog.net/2017121459657.html">http://hrog.net/2017121459657.html</a>
2	地域サテライトオフィスの価値訴求	視察ツアーにて、経営者向けにお試し勤務を体感していただき、地方でのサテライトオフィス、テレワーク勤務の導入が効果的であることをアンケート・ヒアリング調査で検証する。	参加人数:15名以上 実施回数:3回以上 アンケート 10社以上	参加人数:のべ18名 アンケート:8社
3	地域からの通勤、テレワーク勤務の価値訴求	1週間のお試し勤務にて、社員向けに地方でのサテライトオフィス、テレワーク勤務の導入が効果的であることをアンケート・ヒアリング調査で検証する。	参加人数:30人以上 実施回数:3回以上 アンケート10社以上、 30人以上取得	参加人数:のべ161名 アンケート:27社、126人取得
4	地域受け入れ側の課題明確化と地域勤務サポートの充実	お試し勤務体験者からのアンケートおよび、地域勤務のサポートに求められることを明確化し、地域ビジネスの採算性を確認する。	アンケート30人以上	アンケート:69名取得 地域ビジネスと都市部テレワーカーとのマッチングを2件達成

その他、通勤圏拡大のモデル形成、都心社員の健康増進・メンタルヘルス向上に対する仮説検証(エビデンス獲得)、ストレス緩和策となる地域産業との協業、移住・定住施策との連携については実現できず。

#### ■ サテライト開設決定企業

	企業名	業種／社員数／本社	お試し勤務期間	サテライトオフィス開設決定理由
1	ネクストリード	コンサルティング／2名／浜松町	平成29年8月28～29日 平成29年10月19日	東京から最も近いユネスコエコパークであり、コンセプトが一致していた。ビジネス創業する際に地域リソースとの接続がしやすかった。

# 成果の総括と今後の方針

## 1. 企業ニーズ

- ①個人としての利用ニーズ  
会社としてのサテライトオフィス設置よりも、個人(社員)としての単発的・短期的な利用ニーズが高い。
- ②体験プログラムへのニーズ  
地域サテライトオフィス(施設)という存在よりも、そこで体験できるプログラムへのニーズが高い。
- ③本町は選択肢のひとつ  
サテライトオフィスやテレワークの導入を推進する企業にとって、本町は選択肢のひとつ。
- ④体験することで見える価値  
地方勤務を体験することで初めてその価値がわかり、継続することで、地方での働き方の習得や効果の発揮につながる。

## 2. 今後の課題

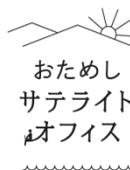
- ①地方勤務の価値訴求  
ワークライフバランスやクオリティオブライフを高める目的で、地方勤務の価値を訴求し、新しいヒトの流れにつなげる必要がある。
- ②本町のメリットの明確化  
なぜ本町で働く必要があるのか、企業にとってのメリット(ESG視点、ヘルスケアなど)をより明確にする必要がある。
- ③財源と人材の確保  
取組を継続するためにも、受入態勢(テレワークセンター)が自立して運営できる必要がある。
- ④本町で生活・ビジネス上の課題  
脆弱な2次交通、住居の不足、人材不足、ビジネス優位性の欠如、寒さ(降雪)、しごと支援ブランドの認知不足などの課題がある。

## 3. 今後の方針

- ①テレワークセンターを継続  
テレワークセンターを民間主導で継続的に運営し、受入を継続
- ②ビジネスサービス化  
開発したワーケーションプログラムのテレワークツールズとしての提供と開発・改善のサイクル
- ③地域課題の解決  
地元事業者とテレワーカーのビジネスマッチングを継続・拡大させる。
- ④親和性の高い企業誘致  
ユネスコエコパークの人と自然の共生という理念が一致する企業への働きかけ
- ⑤公共施設、民間事業所等へのWi-Fi環境整備
- ⑥民間物件の活用、空き家バンク制度との連携

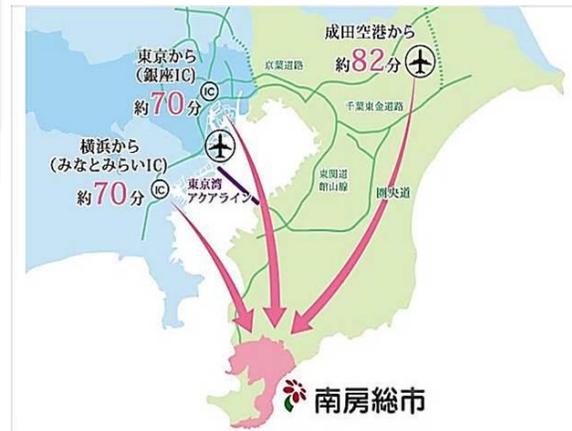
# お試しサテライトオフィス事業

「南房総“里山里海Nearサテライトオフィス”体験プロジェクト」の概要



提案団体名	人口(H27国調)	面積(H27国調)
南房総市	39,033人	230.14km <sup>2</sup>
事業のポイント		

・南房総市は東京圏にありながら、この10年間で人口が約5千人減少し4万人を切り、特に若年層や女性の雇用の場を創出することが喫緊の課題となっている。  
 ・そこで都心から車で70分の好立地を活かし、空き公共施設を活用したサテライトオフィスによる企業誘致を推進する。具体的には、情報発信サイトを構築し、都内セミナー・市内ツアーを実施した。



## ○本事業で実施する取組の概要

### ①地域の魅力の周知・PR事業

「サテライトライフマガジン(web)」の構築やPRチラシを作成し、事業の周知や市の企業誘致施策を広報

### ②都市部セミナー・視察ツアー事業

ア 都市部セミナーを9月(新宿)と11月(有楽町)で実施

イ 視察ツアーを10月と12月に実施

### ③お試しオフィス体験事業

セミナー参加企業やお試しサテライトオフィスに関心のある企業を対象として実施

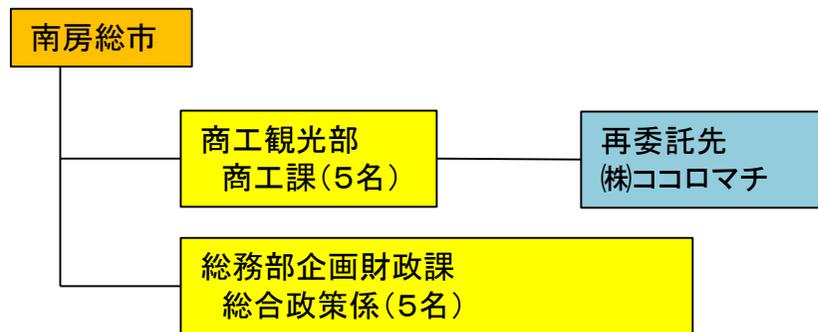
### ④ビジネスマッチング・人材マッチング事業

地元事業者とのビジネスマッチング、交流会を開催

### ⑤サテライトオフィス誘致戦略策定事業

お試し勤務実施企業等の意見・ニーズ・アンケートを参考とした誘致戦略を策定

## ○事業の実施体制



- 商工課・・・本事業の統括、お試し施設の管理(修繕含む)、予約状況の管理を担当
- 企画財政課・・・移住定住施策・空き家バンク、シティプロモーションを担当
- (株)ココロマチ・・・各種セミナー・ツアーの企画・運営、情報発信特設サイトの構築、誘致戦略の策定
- 行政は施設管理(修繕・予約等)をし、民間はイベントの運営を担う。
- 次年度以降はお試し体験した企業に継続利用を推進していく。

# 事業の目的・実施方針

## 【本事業の目的】

本事業では、南房総市がビジネス環境、生活環境、豊かな食材、温暖な気候、観光資源、東京からの近さなどの認知されない市の魅力を効果的に情報発信し、企業・起業家へのアプローチから立地までをパッケージ化し、ワンストップで推進する。

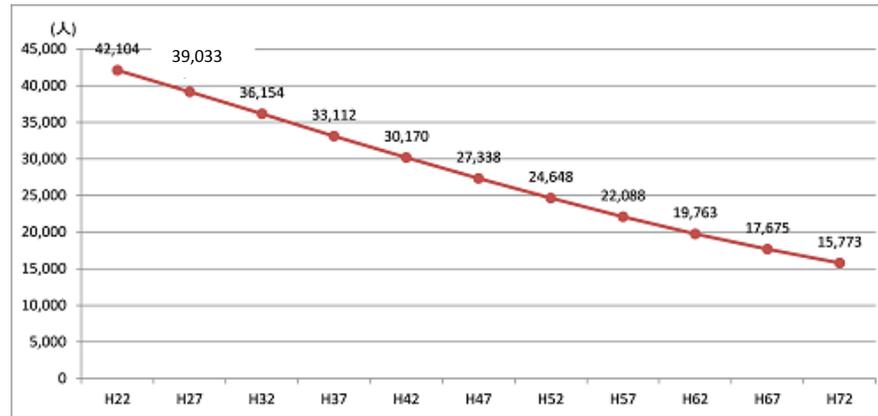
また、増加傾向にある空き公共施設、空き店舗・空き家の有効活用や、誘致企業と地元事業者とのビジネスマッチング、新規ビジネスの創出を図るための施策等をまとめ、サテライトオフィス誘致戦略を策定することを目的とした。

## 【事業の実施方針】

誘致ターゲットとする企業の規模、業種については、東京圏から南房総市までのアクセスの良さ（近さ）を売りにした戦略としたほうが良いと考え、基本的には特定の業種（IT企業等）に偏らせないこととしたが、若者のニーズに応じていくためには誘致企業が持続的な雇用を生み出し、安心して子供が産み育てられる環境と魅力を持って就業できる場（企業）を呼び込むことが必要と考えた。

このため、地域資源（食・観光・歴史・地場産業等）や空き物件（空き家・空き店舗・空き公共施設等）を活用したビジネスを行い、地場産業および地元事業者との連携を望む企業については、積極的に誘致対象としてアプローチしていった。

■南房総市 総人口の推計



※平成22、27年は国勢調査の実績値、平成32年以降は推計値

# お試し勤務地一覧

## お試し勤務地の概要

### ①シラハマ校舎(旧長尾小学校)【里海】

- ・所有区分: 公有物件
- ・用途: サテライトオフィス
- ・改修の有無: 無
- ・通信環境: Wi-Fi
- ・セキュリティ機能: 施錠、監視カメラ
- ・設備: スクリーン、デスク、チェア、ソファ、複合機(施設内にシャワー室、レストラン有)
- ・受入可能人数: 20人
- ・特色: 旧小学校をリノベーション、教室を全10室企業に貸出。宿泊等に宿泊も可(宿泊費別)

## 外観・内装写真など



▲元小学校(木造平屋建て)をリノベーション



▲教室の面影が残る室内

### ②旧平群保育所【里山】

- ・所有区分: 公有物件
- ・用途: サテライトオフィス
- ・改修の有無: 無
- ・通信環境: Wi-Fi
- ・セキュリティ機能: 施錠
- ・設備: ホワイトボード、デスク、チェア、ソファ、座椅子、複合機
- ・受入可能人数: 20人
- ・特色: 低名山「伊予ヶ岳」を背に里山として抜群のロケーション



▲里山に広がる絶好のロケーション



▲様々なレイアウトが可能な広い室内(元ゆづぎ室)

# お試し勤務地一覧

## お試し勤務地の概要

### ③お試し岩井住宅【里海】

- ・所有区分: 公有物件
- ・用途: ホームオフィス
- ・改修の有無: 有
- ・通信環境: Wi-Fi
- ・セキュリティ機能: 施錠
- ・設備: デスク、チェア、その他宿泊機能
- ・受入可能人数: 8人
- ・特色: 駅から徒歩10分、戸建ての空き家物件のため宿泊可、スーパー・コンビニ等も近い  
ためインフラも整備された4LDK

## 外観・内装写真など



▲見た目は普通の一般住宅



▲ダイニングは洋室だが、畳部屋も3部屋ある

### ④山名ハウス【里山】

- ・所有区分: 民有物件
- ・用途: ワークスペース
- ・改修の有無: 無
- ・通信環境: フリーWi-Fi
- ・セキュリティ機能: 施錠
- ・設備: デスク(座卓)
- ・受入可能人数: 10人
- ・特色: 古民家をDIYでリノベーションしたワークスペース、山間の古民家ならではの新たな発想が期待できる



▲外観はほぼ改修されていない



▲床下に断熱材を入れるなどはDIYでリノベーション

# お試し勤務の誘引のための取組内容

## ●専用WEBサイトの構



■その他のメディアでの掲載(良品計画が運営するウェブマガジン「ローカルニッポン」にも紹介された(H29.10))

## ●Facebookでも状況紹介



# お試し勤務の誘引のための取組内容

- **お試し勤務地の整備**

4カ所の候補地の執務環境を整備



- **直接的な勧誘**

南房総市・再委託先事業者((株)ココロマチ)などの関係者による勧誘

- **都市部セミナー**

新宿と有楽町で各1回、都内企業を対象とした事業説明会を実施

- **視察ツアー**

10月と12月の2回、日帰りのお試しオフィス視察ツアーを実施

※お試しオフィス以外にも空き施設候補地や空き家物件を案内した

# お試し勤務等の実績

お試し勤務実施企業数	10社
参加社員数	38人
実施日数	18日



No	お試し勤務企業名	お試し勤務日	人数	利用オフィス	業種
①	(株)ベジスタンス	9/19～20	3人	旧平群保育所・シラハマ校舎他	青果販売・商品開発
②	(株)LockUP	10/1～2	5人	シラハマ校舎	コンテンツ企画制作
③	NECネットエスアイ(株)	12/22	3人	シラハマ校舎	IT
④	日本電気(株)	12/22	2人	シラハマ校舎	IT
⑤	(株)ソニックガーデン	1/5～7	4人	シラハマ校舎	ITコンサル
⑥	(株)デザインエイエム	1/19～20	7人	シラハマ校舎	デザイン
⑦	ライフ薬品(株)	1/20～21	6人	旧平群保育所・シラハマ校舎他	医薬品小売業
⑧	ヤフー(株)	1/26	1人	岩井住宅・旧平群保育所・シラハマ校舎・山名ハウス	ITコンサル
⑨	ナリワイ	1/26～28	5人	山名ハウス	
⑩	(株)アントレ・ラボC	2/4	2人	山名ハウス・シラハマ校舎他	企業研修コンサル

# その他本事業で実施した取組内容

## ●都市部セミナー(9/8・11/9)の実施



### (開催概要)

新宿会場 日時:平成29年9月8日(金)  
19:00~22:00

参加企業数: 23社 29名

有楽町会場 日時:平成29年11月9日(木)  
19:00~22:00

参加企業数: 12社 26名



新宿会場  
(HAPON新宿)



有楽町会場  
(LEAGUE有楽町)

# その他本事業で実施した取組内容

## ● 視察ツアー（10/7・12/9）の実施



### （開催概要）

1stツアー 日時：平成29年10月7日（土）  
10:00～20:00

参加企業数： 5社 9名

2ndツアー 日時：平成29年12月9日（土）  
10:00～20:00

参加企業数： 9社 17名



1st: 10月7日



2nd: 12月9日

## 成果概要

(成果指標の達成状況、サテライト開設決定企業等について)

### ● 成果指標の達成状況



	成果指標目標	達成状況
セミナー・ツアー等参加者	50名	49社 81名
お試し勤務企業数	6社	10社 38名

### ● サテライト開設決定企業等



・開設を決定にまで至った企業はないが、南房総市に関心を持ち、具体的な検討をしたいという企業が1社あった。

・同企業と、どの物件にするか、賃貸価格をどうするか、基本的な設備改修を行政がどの程度行うか、地元雇用はあるか、行政からの支援はどの程度受けられるかなどの課題について協議を進める予定。

# 成果の総括と今後の方針

## ● 成果の総括



・南房総市のサテライトオフィスに興味を持つ企業は、「東京から近い距離にある豊かな自然環境で、リフレッシュしながら多様な働き方を実践したい」という「リゾート型サテライトオフィス」に関心のある層が多い。

・「リゾート型サテライトオフィス」は、移動時間・コスト負担が大きいと長続きしないが、東京から近い南房総市であれば継続も可能である。

・里山・里海の自然環境は、どの参加者からも概ね高評価であるが、買い物・食事などの周辺環境については、車がないと生活ができないという点で評価が低くなっている。

・①東京から近い②自然環境が豊か③生活環境はやや不便、という特徴を活かした滞在としては、「東京から近いが、隔離された非日常的な環境を活用したハッカソンやチームビルディング合宿なども向いているのではないか。

# 成果の総括と今後の方針



## ● 今後の対応方針

### ・お試し勤務の受入れ態勢の継続

公有の施設を可能な範囲で整備を進め、多くの企業に体験を勧める。

### ・視察ツアー等の継続

市役所内の各部署で実施するイベント等と連携し、特に視察ツアー関連の実施の際には能動的に空き施設を紹介していく。

### ・サテライトオフィス物件の確保

今回は4件のオフィスを用意して「お試し」を体験してもらったが、選択の幅と魅力を充実させるため、今後は民間の物件も含めた空き施設

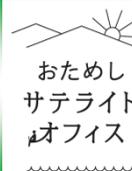
・地域の魅力、施設の魅力だけでなく企画の魅力も発信を積極的に見つけ、1件でも多くの企業に使ってもらえるようシェアオフィス・コワーキングの整備も並行して実施していく



みなたん



# お試しサテライトオフィス事業 飛騨高山お試しサテライトオフィスの概要



おためし  
サテライト  
オフィス



提案団体名	人口(H27国調)	面積(H27国調)
岐阜県高山市	89,182人	2,177.61km <sup>2</sup>
事業のポイント		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・飛騨山脈(北アルプス)を一望できる伝統建築の空き家を活用したお試しサテライトオフィスのほか、今後整備する「インキュベーション施設」をお試し勤務場所として活用。</li> <li>・市が独自で設置している「東京事務所」を拠点として、観光を中心とした既存のネットワークにより首都圏の企業に対する「お試し勤務」のPRを実施。</li> </ul>		

## ○本事業で実施する取組の概要

- 1. お試し勤務施設(飛騨高山お試しサテライトオフィス)整備**
  - ・空き家を賃借し施設として活用
  - ・備品類の整備
  - ・通信回線の整備
- 2. 企業のマッチング調査**
  - ・総務省のマッチング調査を経て、当市に興味をもった企業に対して市独自の企業アンケート調査を実施。あわせて企業訪問を実施。
- 3. 都市部企業等へ向けた広報活動**
  - ・お試しサテライトのパンフレット、ホームページを作成
  - ・移住情報誌「TURNS」への広告掲載
  - ・市民向け無料見学会の開催
  - ・高山市東京事務所によるPR
- 4. お試し勤務支援**
  - ・交通費の支給
  - ・事前視察対応
- 5. サテライトオフィス候補施設調査**
- 6. 高山市サテライトオフィス誘致戦略の策定**

## ○事業の実施体制

### 商工観光部商工課

- ・お試し勤務施設整備
- ・企業のニーズ調査
- ・都市部企業等へ向けた広報活動
- ・お試し勤務支援
- ・サテライトオフィス候補施設調査
- ・サテライトオフィス誘致戦略の策定

### 企画部ブランド戦略課

- ・移住者への支援、相談窓口対応
- ・移住者へのサポート体制の充実を図り、誘致戦略への反映等を検討

### 高山市東京事務所

- ・都市部企業等へ向けた広報活動

### 飛騨高山大学連携センター

- ・大学と連携して、お試しサテライトオフィスの事業効果、地域への波及効果等を分析

※再委託はなし。

# 事業の目的・実施方針

## 【目的】

### ①都市部への若者の流出抑止

若者の地元就職に対する魅力向上や就職先の選択肢の増加による、若者の流出抑止や、Uターン就職の増加。

### ②市内産業の活性化

都市部企業の誘致による新たな産業や職種の創出、地元雇用や市内企業等のビジネス機会が創出され、市内経済の好循環が促される。

### ③労働場所や通勤時間の制約に縛られない、新たなワークスタイルの創出

サテライトオフィスの利点である、労働場所や通勤時間の制約に縛られない、本市における新たなワークスタイル創出。

### ④市内の空き家、空き店舗の増加抑止

サテライトオフィスに空き家、空き店舗を活用することにより、今まで需要と供給がマッチングできず、空き家等を単純保有している所有者を減らし、空き家、空き店舗の増加を抑止。

## 【事業の実施方針】

### ①日本遺産に認定された飛騨の匠の地から生まれる、新たなものづくり産業

### ②インターネットを介した通信系情報サービス

### ③6次産業を進める農林畜産業

### ④個人事業主(フリーランス) などを重点に誘致活動

# お試し勤務地一覧

## お試し勤務地の概要

### 飛騨高山お試しサテライトオフィス

#### 【立地・特色】

- ★中部縦貫自動車道ICに近く交通アクセスが良好
- ★北アルプスを一望でき自然豊かな土地
- ★飛騨の匠の技が施された伝統建築構造の建物

#### 【用途・類型】

- ◆サテライトオフィス型(民家)
- ◆土地: 2,266.45㎡
- ◆建物: 母屋 木造2階建(平成10年建築)  
延床面積(522㎡)  
ガレージ 鉄骨造(平成23年建築)  
床面積(116㎡)

#### 【受入可能社数】

- ◆6社(専用スペースを6部屋確保)

## 外観・内装写真



# お試し勤務の誘引のための取組内容

デザイン性を重視したパンフレット・ホームページを中心に様々な媒体や、入所者による広報活動、高山市東京事務所と連携した誘引活動に取り組んだ。

## ①専用パンフレット、ホームページの制作

◆手にとってもらうため、デザイン性を重視し、飛騨高山らしさを取り入れた。

## ②TURNS10月号への掲載

◆移住を検討する比較的若い世代に人気のある全国紙に広告掲載。

## ③市民へのPR

◆広報たかやまへの掲載、無料見学会を開催し、市民へのPR。

## ④入所者による広報活動

◆入所者である榊岐阜放送が、お試しサテライトからラジオやテレビの生放送を実施しPR。

## ⑤お試しサテライトを活用した情報発信

◆商工会議所などの会議を開催し、経済団体に広い人脈を持つ方々からの広報活動を展開。

## ⑥メッセナゴヤ2017への出展

◆1,400社超が出展し、来場者62,000人を超える日本最大級の異業種交流展示会に出展しPR。

## ⑦高山市東京事務所によるPR

◆東京事務所によるPRを常時実施。



## お試し勤務等の実績

No	企業名	業種／規模	お試し勤務期間	お試し勤務社員数／ 職位
1	(株)岐阜放送	ラジオ・テレビ放送 (社員数)55名	平成29年7月18日～継続中	1名 記者(飛騨國アニ バーサリーステー ション担当部長)
2	(株)十六総合研究所	十六銀行シンクタンク (社員数)21名	平成29年9月7日～継続中	1名 主任研究員
3	(一社) 日本Webコンサル タント協会	コンサルタント養成	平成29年12月27日～継続中	1名 統括マネージャー
4	フリーランス	平成30年4月から観 光サービス事業で創 業予定	平成29年11月25日～26日	2名

# その他本事業で実施した取組内容

## サテライトオフィス候補施設調査

温泉地として有名な奥飛騨温泉郷、中心市街地域内にて候補施設を選定。

### 【奥飛騨温泉郷】

#### 【物件情報】

構造: 木造亜鉛メッキ鋼板葺2階建

建築年数: 昭和55年(平成10年に一部増改築)

建築面積: 417.09㎡

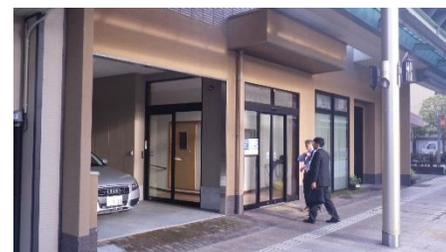
敷地面積: 1,625.86㎡

※元旅館の建物(温泉引き込み済)



### 【中心市街地】

(株)まちづくり飛騨高山の協力のもと、15ヶ所の空き事務所、空き店舗、空き家をピックアップ。全候補施設を現地確認、簡易調査し、耐震基準などをクリアした8ヶ所を詳細調査し広くPRすることとした。



## 成果概要

(成果指標の達成状況、サテライト開設決定企業等について)

### 成果指標と目標値

- ①お試し勤務企業数：3社
- ②お試し勤務日数：未設定
- ③専用スペース入所数：未設定
- ④企業訪問数：未設定
- ⑤事前視察企業数：未設定



### 実績値

- ①お試し勤務企業数：**4社**(フリーランス含む)
- ②お試し勤務日数：**3社が(約90~260日使用)**
- ③専用スペース入所数：**5部屋**／6部屋
- ④企業訪問数：**5社**
- ⑤事前視察企業数：**1社**

1. お試し企業数は4社と、目標値は達成した。  
4社中**3社は約90~260日**と長期間の利用をさせていただいている。
2. 本事業中にサテライトオフィス等の開設には繋がらなかったが、3社は引き続き利用を  
検討しており、**将来的にサテライトオフィス等の開設を検討している。**
3. 本事業中にはあまり実施することができなかった企業訪問や、事前視察対応は今後も  
継続して行っていく予定で、3月には1社の事前視察対応を行う予定。

# 成果の総括と今後の方針

## 【企業ニーズ】

### ①中心市街地での拠点整備

実際に事業を展開する上でも商店、住宅、官公庁が集中する中心市街地のほうがビジネスの拠点には向いている。

### ②コワーキングスペースとしての活用

同じ空間で複数の企業が働くことによって、企業同士の繋がりができ、新たなビジネスに繋がる可能性。また、取引先など多くの企業が自由に入出入りすることにより、施設に賑わいや活気の創出。

## 【事業終了後の展開】

### ①お試し勤務の継続実施

当該施設にて、事業を継続して実施する予定。既に来年度からお試し勤務や社員の研修合宿を行いたいとの要望を受けている。

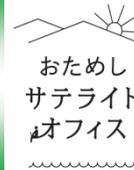
### ②積極的な企業訪問活動

本事業中はあまり実施できなかった企業訪問を今後は積極的に実施し、多くの企業にお試し勤務を実践してもらう。

### ③交流会や民間施設との連携

入所者同士や地元企業との交流会を開催、また民間が運営するコワーキングスペースなどとの連携。

# お試しサテライトオフィス事業 南伊豆るプロジェクトの概要



提案団体名	人口(H27国調)	面積(H27国調)
南伊豆町商工観光課	8,524人	109.94km <sup>2</sup>
事業のポイント		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・先進地視察</li> <li>・地域課題の掘起し</li> <li>・誘致ビジョンの策定</li> <li>・ターゲット企業の絞り込み</li> </ul>		



## ○本事業で実施する取組の概要

### 1. 誘致組織の設置及び関係者教育

- ・先進地である徳島県(美馬市、神山町、美波町)を視察し、ノウハウを促す研修を実施。

### 2. 事前調査

- ・(株)あわせより、本町における、産業、人材、物件、地域調査を実施。

### 3. 誘致ビジョンの策定

- ・地域課題解決を目標に10年後サテライトオフィス企業誘致に成功した南伊豆町の姿を現したビジョンを策定。

### 4. ターゲット企業の選定

- ・誘致ビジョンを策定し、成功するためにどういった企業を呼ぶべきか。ターゲットとなる企業選定を実施。
- ・お試し勤務募集の際には、ターゲットとなる企業を選考。

### 5. 「お試し勤務」の受け入れ

- ・期間:平成29年10月10日(火)から平成29年12月9日(土)まで
- ・限定16社(実績:申込18社、実施16社)

## ○事業の実施体制

### 【実施体制及び業務内容】

#### 1. 商工観光課

委託事業の全般管理、誘致ビジョン策定、地域課題の洗い出し、イベント参加

#### 2. 企画課 地方創生室

総合調整、予算管理、誘致ビジョン策定、地域課題の洗い出し

#### 3. 地域住民・地域関係者

地域課題の洗い出し、誘致ビジョン策定

#### 4. (株)あわせ

適地調査、誘致ビジョン策定、総合プロモーション、誘致コンシェルジュ育成・業務支援

### 【行政と民間の役割分担の考え方について】

町: 執務環境整備、関係者調整、事業管理

(株)あわせ: 総合プロモーション

### 【誘致戦略策定体制】

商工観光課、企画課 地方創生室、(株)あわせにより策定。

# 事業の目的・実施方針

## 【本事業の目的】

本町では、「南伊豆町の魅力を活かしたライフスタイル・ワークスタイルを創出し、若者の就職時の転出を抑えるとともに、U・Iターン者の転入を増やす」（「南伊豆町まち・ひと・しごと創生総合戦略」基本目標2）ことを目標に、町外出身の若者（大都市圏居住者等）のIターン及び町出身の若者のUターンを促進するため、企業誘致の一環として、南伊豆町の特性を活かした「サテライトオフィス」の誘致に取り組む。

## 【事業の実施方針】

都市部のベンチャー企業等の南伊豆町へのサテライトオフィス誘致に向けて必要な、企業ニーズ調査（事前調査）及び企業等が真に求める執務環境、立地環境、生活環境などの必要条件の調査等を実施。

また、地域課題に向合ってくれる企業をターゲットとし、地域課題の解決へ結びつくと同時に、企業にとっては新規ビジネスへの参入の架け橋となるように地域事業者と企業とのマッチングを実施。

# お試し勤務地一覧

お試し勤務地の概要	外観・内装写真など
<p><b>【施設名】</b>            ヴィラ弓ヶ浜</p> <p><b>【住所】</b>            静岡県賀茂郡南伊豆町湊1600番地</p> <p><b>【元々の用途】</b>            コテージ</p> <p><b>【用途・類型】</b>            サテライトオフィス(2棟借上げ)</p> <p><b>【宿泊の可否】</b>            可</p> <p><b>【設備】</b>            A4プリンター、Web会議用モニター、Web会議用機器(マイク、スピーカーなど)一式</p> <p><b>【特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町の代表する観光名所弓ヶ浜海水浴場徒歩1分。</li> <li>・施設内にBBQ場やBar施設が完備しており、企業同士による交流も図れる。</li> </ul>	   
	 

# お試し勤務の誘引のための取組内容

## 誘致ビジョン策定

「南伊豆町がサテライトオフィス誘致に成功した10年度の姿」



テーマ【誰もが望んでいるが実現していない課題解決としてのサテライトオフィス】

内容:裸の付き合いができる湯けむりの町  
地区や地域、ヨソモノとジモトなど様々な垣根が消えた町  
元気で楽しい祭りが残る町  
南伊豆の資源や資産、文化や環境を活かした産業が栄える町  
地域の子供が憧れ働く企業が栄える町  
エコでスマートな漁業・農業が実現し一次産業が栄える町  
南伊豆の子供達が誇りをもち自慢できる町  
元気なおじいちゃん、おばあちゃんが楽しく暮らす町

## ターゲット企業の選定

誘致ビジョンを実現させるために、南伊豆町が求める企業を選定

### 子供が憧れる仕事

アプリ開発/アニメ制作/ゲーム開発  
ドローン開発/WEBデザイン

### 農業・漁業支援

3Dプリンター/プロダクトデザイン  
農機具・漁具メーカー/ドローン関連

### 教育

エディブルエデュケーション  
/遠隔学習支援

### 健康

アウトドアフィットネス  
/健康管理システム販売/温浴施設運営

### 地域プロデュース

地域密着型の広告代理店/古民家活用  
/まちづくり会社/不動産屋

### 温泉活用

エネルギー関連

本事業では、上記の企業を16社限定で募集し、申込みが多数の場合は、選考とした。

# お試し勤務の誘引のための取組内容

## PR素材、ロゴの作成

### ・PR素材(チラシ200部)



### ・ロゴ



### 【イラスト】

海山川のある南伊豆町をイメージし山と波を表現し、下部の波の形を弓のようにし弓ヶ浜を表現

### 【プロジェクト名由来】

伊豆の語源は「半島から出づる」から来ていることから、企業が都会から南伊豆へ出づると意味という意味。

## マッチングイベントへの参加

「経営課題を地方で解決。サテライトオフィス  
マッチングイベント」

主催:株式会社 あわえ

場所:SENQ霞ヶ関

参加:65企業

内容:PRプレゼン

自治体ブースでマッチング

実績:お試し勤務申込企業6社

## 勤務企業募集

- ・株式会社 あわえのFacebookを活用
- ・総務省ニーズ調査で南伊豆町に興味があると答えた企業44件へ周知
- ・専用HPを作成し、申込方法を1本化。
- ※地域課題解決企業＝ターゲット企業とし優先度を設けた。

## お試し勤務等の実績

No	企業名	業種	No	企業名	業種
1	(株)ジェイアンドユー	広告代理店業	9	(株)G.U.style	建築業、不動産
2	Kttm(株)	建築サービス	10	コードキャンプ(株)	情報通信業、学習支援
3	(株)オークツ	コンサルティング	11	(株)ドローンエモーション	情報通信業、観光PR支援業
4	(有)フューコム	コンサルティング	12	(株)skyer	教育、学習支援
5	(株)Lighthouse	農林水産支援事業	13	(株)プラザ・イー	情報通信業
6	(株)スマートコンセプト	情報通信業	14	VineyardWorks(株)	情報通信業
7	神社ルネッサンス 大和魂プロジェクト	地域プロデュース	15	(一社)中野区産業振 興推進機構	情報通信業、コンサルティング
8	(株)JUBILEEWOEKS	アプリ開発	16	静岡大学	

## 成果概要 (成果指標の達成状況、サテライト開設決定企業等について)

成果指標	目標値	実数値
事前調査	100社	114社
お試し勤務利用企業数	5社	15社
地域課題解決事業実施企業数 <sup>(※1)</sup>	2社	2社
サテライトオフィス開設検討企業数 <sup>(※2)</sup>	2社	7社

※1 地域課題解決事業実施企業数については、お試し勤務時に地域課題を持っている事業者へヒアリングを行い。地域課題解決へ結び付けたもの。

※2 サテライトオフィス開設検討企業数については、お試し勤務後のアンケートをもとにH31年度までに南伊豆町にサテライトオフィスを検討したいと回答した企業数。

# その他本事業で実施した取組内容

## 【成果報告会の実施】

お試し勤務企業16社を対象に地域住民、事業者向けの成果報告会を実施。

期日：平成30年1月17日

内容：①お試し勤務アンケートの結果より、開設に前向きな企業5社よりプレゼン

プレゼン内容

- ・お試し勤務の目的
- ・お試し勤務での良かった点・改善点
- ・今後のサテライトオフィスを開設する際の課題
- ・サテライトオフィス開設時に南伊豆町へ求めること
- ・南伊豆町で実施したい企業や事業
- ・企画、事業実施における課題

②実例のトークセッション

参加者

- ・(株)ジェイアンドユー、(株)オークツ、誘致コンシェルジュ、地元漁師

③交流会(南伊豆町の郷土料理の提供)

①の内容は誘致戦略へ反映

# その他本事業で実施した取組内容

## 【誘致コンシェルジュの配置】

お試し勤務企業1社に対して1名専属の担当者を配置。

## 【コンシェルジュのメリット】

- ・専属の担当者を配置することによるきめ細やかなアテンドが可能。
- ・行政では把握していない地域の特性や人材の紹介が可能。
- ・移住者ならではの体験を踏まえたアテンドが可能。

## 【コンシェルジュの体制】

民間企業：1名(元地域おこし協力隊)

地域おこし協力隊2名

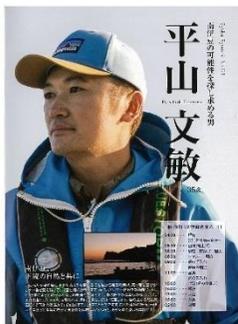
## 【コンシェルジュ業務の内容】

カテゴリ	業務	確認事項	期限	担当者	チェック
お試し勤務前の調整	企業へのお試し勤務の日程を確定し、企業へ連絡	到着時間・退出時間・人数・交通手段	視察2週間前		
	企業の問い合わせ内容に応じてお試し勤務中のプラン	タイムスケジュール作成	視察2週間前		
	お試し企業へプランを提案		視察2週間前		
	プランの修正		視察2週間前		
	地域の方々へ協力依頼	意図とどんな企業が来るかを説明	視察の1週間前		
	役場担当者へプラン内容を報告	もしアテンドが必要であれば依頼	視察の1週間前		
	企業へ視察のリマインド		視察の前日		
	地域の方々にリマインド		視察の前日		
お試し勤務当日	配布資料準備				
	挨拶				
	アテンド	地域の方を敬っているか・何かビジネスができそうか			
	懇親会準備				
	懇親会で2社の紹介と参加者の紹介	酒は飲めるか・酒グセは悪くないか			
お試し勤務中	車両手配				
	現地アテンド	祭りなどの地域ごとに参加しそうか			
	ヒアリング	サテライトオフィス開設の意向・移住したいかどうか			
お試し勤務最終日	アンケート記入依頼				
	ヒアリング	サテライトオフィス開設の意向			
お試し勤務最終日の次の日	お礼メール				

# その他本事業で実施した取組内容

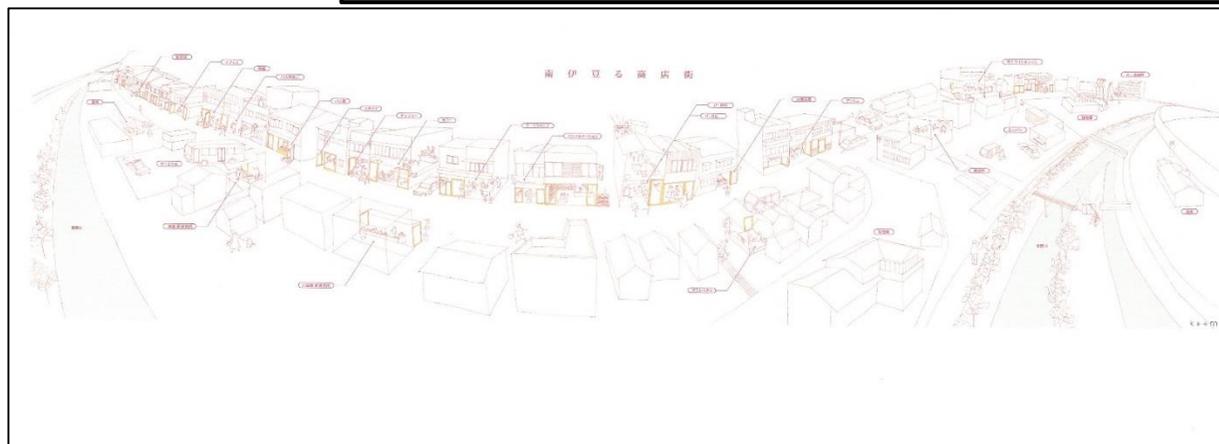
## お試し勤務企業の事業成果

株ジェイアンドユー  
漁師をテーマにしたフリーペーパーを作成。



漁師の魅力発信  
人材確保や販路開拓へ

Kttm(株)  
商店街の活性化に繋がる新たな商店街の取組を計画



商店街の賑わい創出へ

# 成果の総括と今後の方針

## 【成果の総括と今後の方針】

### ①都市部企業での地方ビジネスへの参入

➡地域事業者へのアテンドや行政からの現状説明を行うことで、地方ビジネスへの参入ハードルを低く持つことが出来る。

### ②社員のワーク・ライフバランスの改善

➡地域住民と交流することにより、地域の文化や遊びに触れ、都会では経験できない体験ができ、生活の充実が見込める。

### ③地方人材に対する確保

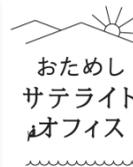
➡杉並区と連携して取り組んでいるお試し移住希望者の中で南伊豆町でIT関連の職に就きたいとの要望がある。サテライト企業と移住者の人材マッチングの展開。

### ④サテライト拠点の確保

➡来年度町内の施設にてコワーキングスペースを開設予定。  
支援制度(補助金)の検討。  
認定制度の設置。

# 岡崎市「お試しサテライトオフィス」モデル事業

## リノベーションまちづくりによる新たな働き方と地域人材の創出を可能とするサテライトオフィス誘致事業の概要

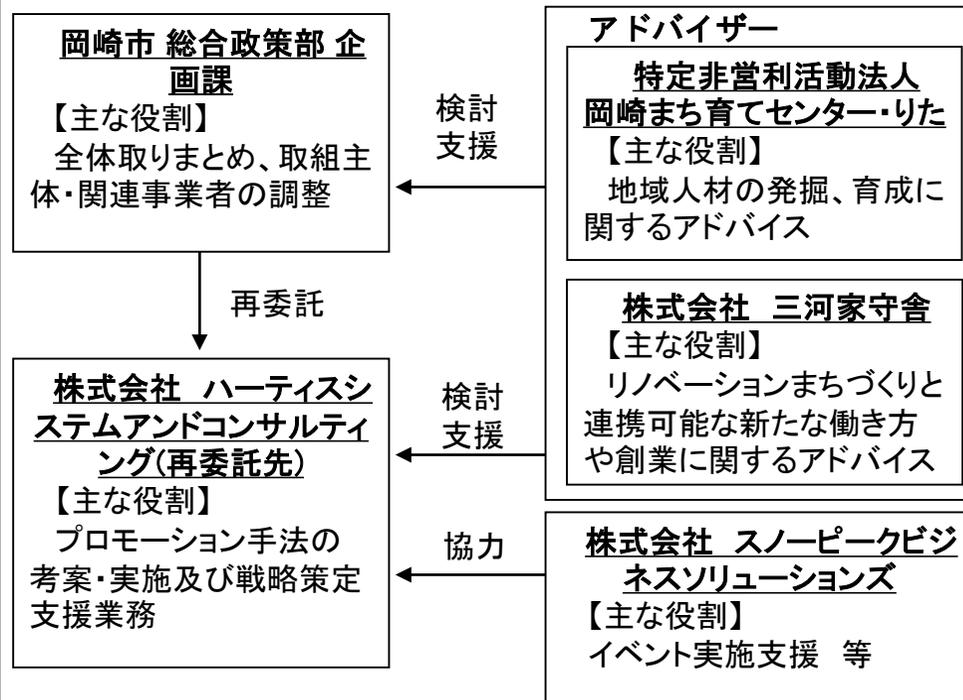


提案団体名	人口(H27国調)	面積(H27国調)
	386,101人	387.20km <sup>2</sup>
事業のポイント		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心市街地や中山間地域(額田地域)の活性化を目的に実施。</li> <li>・日本のほぼ中央に位置し交通インフラも充実しているため、どの都市からもアクセス可能。</li> <li>・民間主体の公民連携まちづくりを進めており、市内に元気な民間企業が多数有り。</li> </ul>		

### ○本事業で実施する取組の概要

- ①お試し勤務地の整備**  
中心市街地及び中山間地域にお試し勤務地を整備。
- ②都市部企業へのプロモーション**  
再委託企業と連携しながらプロモーション活動を実施。
- ③視察ツアーの実施**  
8月と10月に視察ツアーを実施。また個別視察へも対応。
- ④地元企業への説明**  
地元企業との協力関係を構築。
- ⑤お試し勤務の受け入れ**  
計11社の企業がお試し勤務を実施。

### ○事業の実施体制



# 事業の目的・実施方針

## 【本事業の目的】

### ① 中心市街地の活性化

市街地の外延化が進行するとともに居住者、商店、事業所、従業員などが減少。

⇒ 中心市街地に賑わいを取り戻すことを目的とする。

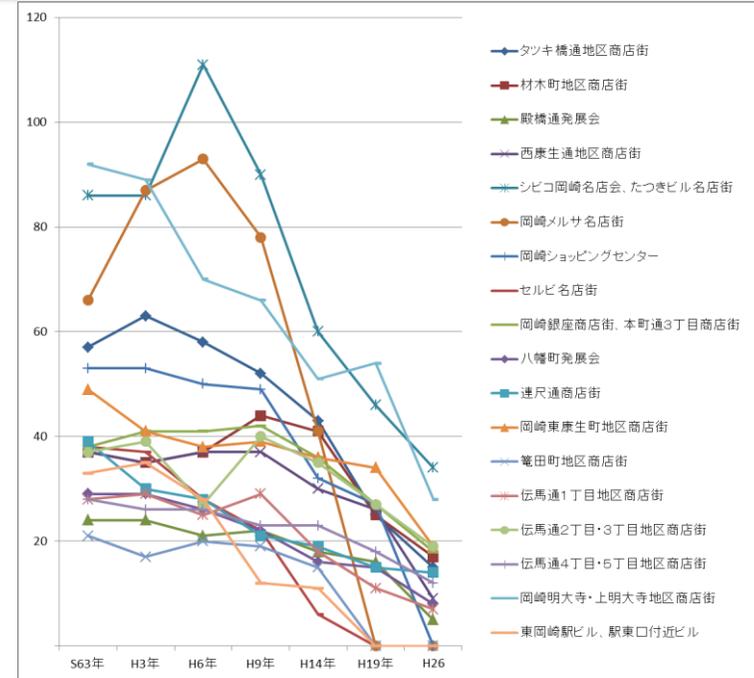
### ② 生産年齢人口の増加

生産年齢人口は減少に転じており、本市の産業構造を支える働く世代の減少が危惧されている。

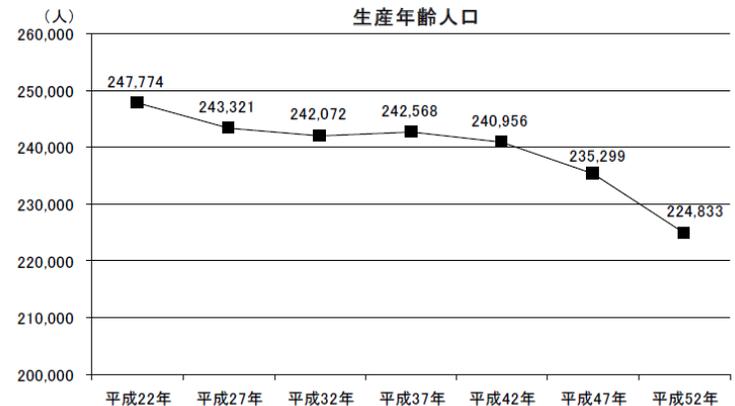
⇒ 潜在的な地域人材の発掘及び働く場の創出・働く意識改革を目的とする。

## 【事業の実施方針】

- ・中心市街地及び中山間地域にお試し勤務地を整備。
- ・河川敷や公園等の公共空間にテントやトレーラハウス(住箱)を設置し、新しい働き方を体感できるアウトドアオフィスも提供。
- ・地元企業への説明会を実施し、協力体制を構築。
- ・幅広い職種の企業を対象に、お試し勤務誘引活動を実施。



商店数推移(出典:平成26年岡崎市商業統計調査)



生産年齢人口推移(出典:平成26年岡崎市人口推計報告書)

# お試し勤務地一覧①

## お試し勤務地の概要

### ①OSO/TO SHARE

- ・類型: コワーキングスペース
- ・元々の用途: オフィス
- ・立地: 中心市街地
- ・特色: 本事業の再委託企業が開設するコワーキングスペース(平成29年11月に完成)。2階には再委託企業のオフィスが入っている。テントやアウトドアチェア等が設置され、新しい働き方を体感できる。

## 外観・内装写真など



### ②ガラスパークビル

- ・類型: サテライトオフィス
- ・元々の用途: 貸オフィス
- ・立地: 中心市街地
- ・特色: 特定非営利活動法人岡崎まち育てセンターリタのオフィスが2階に入っているリノベーション物件。企業間の交流が期待できる。



## お試し勤務地一覧②

### お試し勤務地の概要

### 外観・内装写真など

#### ③wagamama house

- ・類型: サテライトオフィス
- ・元々の用途: 空き店舗
- ・立地: 中心市街地
- ・特色: 1階がレストランとなっているリノベーション物件。地域の住民との交流が期待できる。



#### ④旧千万町小学校跡地

- ・類型: サテライトオフィス
- ・元々の用途: 住民交流スペース
- ・立地: 中山間地域
- ・特色: 豊かな自然を体感することができる。地域のイベントにも参加可能。



#### ⑤りんぽ館

- ・類型: サテライトオフィス
- ・元々の用途: 住民交流スペース
- ・立地: 中山間地域
- ・特色: 豊かな自然を体感でき地域の協力体制が構築できているため生活環境が整っている。



# お試し勤務の誘引のための取組内容

## 【都市部の企業へのプロモーション】

・総務省のマッチング調査結果や再委託企業のネットワークを活用して、都市部企業へプロモーションを実施。視察ツアーへの参加やお試し勤務実施を誘引。

## 【第1回視察ツアーの実施(8月1日～2日)】

本市の魅力やサテライトオフィスの可能性を感じてもらうための現地視察ツアーやアウトドアオフィス体験を実施。

## 【第2回視察ツアーの開催～「お試しサテライトオフィス」モデル事業×SELF TURN Re Sort×社会実験「Meguru Quruwa」～(平成29年10月27日～28日)】

株式会社日本人材機構が推進する「SELF TURN プロジェクト」とのコラボレーション企画。地元企業との交流を含む魅力的な人と出会う空間作りと、新しい働き方・暮らし方を体感し考えるための多彩なプログラムを実施。



第一回視察ツアー



第二回視察ツアー

## お試し勤務等の実績

【勤務企業数】 11社(18名)

【勤務地】 OSO/TO SHARE、グラスパークビル、りんぽ館、十王公園(アウトドアオフィス)

企業名	株式会社ENdesign	企業名	株式会社電通	企業名	ヤフー株式会社
業種	コンサル業	業種	広告業	業種	情報通信業
勤務地	OSO/TO SHARE、りんぽ館	勤務地	OSO/TO SHARE	勤務地	OSO/TO SHARE
企業名	OpenStreet株式会社	企業名	豊田通商株式会社	企業名	株式会社ユニバーサル園芸社
業種	情報通信業	業種	卸売業	業種	サービス業
勤務地	OSO/TO SHARE、十王公園	勤務地	OSO/TO SHARE	勤務地	OSO/TO SHARE
企業名	株式会社コアストリーム	企業名	ネットワンシステムズ株式会社	企業名	LINE株式会社
業種	コンサル業	業種	情報通信業	業種	情報通信業
勤務地	OSO/TO SHARE	勤務地	OSO/TO SHARE、グラスパークビル	勤務地	OSO/TO SHARE
企業名	ソフトバンク株式会社	企業名	マイクロソフト株式会社		
業種	情報通信業	業種	情報通信業		
勤務地	OSO/TO SHARE、十王公園	勤務地	OSO/TO SHARE、りんぽ館		

【視察企業数】 38社(第1回視察ツアー:9社、第2回視察ツアー28社、個別視察1社)

## その他本事業で実施した取組内容

### 【地元企業向け説明会の開催(平成29年9月15日)】

地元企業の代表取締役・部長クラスの方たちを集め、本事業の説明会を実施。

### 【「Okazaki はたらくBar」の開催(平成29年9月26日)】

- ・再委託事業者が主催した、地元企業経営者および社員の交流イベント。
- ・本事業を含む市のまちづくり取り組みを紹介することで、地元企業のまちづくり活動への関心を高めることができ、第2回視察ツアーへの参加に繋がった。

### 【CUE DAY1「行政と民間共同で進める街づくり」への登壇(平成29年10月19日)】

- ・株式会社岡村製作所が主催する、「共創」のさまざまなかたちを体感、共感するイベント。
- ・地方都市・企業が抱える課題、大都市と地方との関わり方や地方都市におけるこれからの働き方などについて参加者同士で議論を深めた。



Okazaki はたらくBar



CUE DAY1

## 成果概要

(成果指標の達成状況、サテライト開設決定企業等について)

成果指標	目標値	達成状況	実績値(達成率)
視察ツアー参加企業数	30社	達成	38社(127%)
お試し勤務実施企業数	5社	達成	11社(220%)

### 【サテライト開設決定企業等】

- ・今回視察ツアーやお試し勤務を実施した企業の中でサテライトオフィスの開設が決定した企業は現段階ではないが、検討を進めている企業は3社。
- ・検討対象となっている勤務地は「OSO/TO SHARE」。本業務の再委託企業が自主事業として開設するコワーキングスペース。正式開業は平成30年4月を予定しており、サービス体制等は現在検討中。

# 成果の総括と今後の方針

## 【成果の総括】

### ・地方中核市の可能性

都市の利便性を重要視していたことから、本市のような都市の利便性も自然もある地方中核都市におけるサテライトオフィスの可能性が高いことが確認できた。

### ・サテライトオフィスの快適性・設えの重要性

テントやアウトドアチェア等を活用して、自分がかつろぎながら仕事ができるように空間を最適化できる「OSO/TO SHARE」は、利用者の満足度は極めて高かった。最新の設備や機能だけではなく、その設えが働く環境にとって重要であることが再確認できた。

### ・魅力的な人や出来事との出会いが企業進出の決め手になる

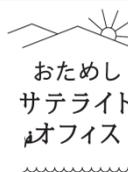
その地域で、どれだけ多くの魅力的な人や企業、出来事に出会えるかが重要であり、それらを掘り起こし、発信することが必要と考える。実際に第2回視察ツアーでは、ツアー参加者と地元企業との交流イベントを実施し、参加者から好評を得た。

## 【今後の方針】

・来年度以降は民間主導の体制にシフトし、サテライトオフィス誘致事業を継続することとしている。

・市内企業や都市部企業と良好な関係を築き「関係の質」を高めることが、企業誘致の「結果の質」を高めることにつながる。そのため企業誘致という結果を拙速に求めるのではなく、関係性の構築から丁寧に進めていく。

# お試しサテライトオフィス事業 奥大和プラネットオフィスプロジェクトの概要



おためし  
サテライト  
オフィス



提案団体名	人口(H27国調)	面積(H27国調)
奈良県	1,364,316人	3,690,940,000㎡
事業のポイント		
県内5カ所にサテライトオフィス候補施設を設置し、地域の特性やロケーションが異なる複数のオフィスの中から各々の企業のニーズにあったオフィスの選択が可能		

## ○本事業で実施する取組の概要

### 1. お試しサテライトオフィス環境整備

- ・ICT機器等をリースし、テレワーク環境を整備

### 2. お試しサテライトオフィスモニター体験企業の誘致

- ・モニター体験企業を誘致し、課題等を洗い出し、対応策を検討

### 3. お試しサテライトオフィス体験型ツアーの実施

- ・お試しサテライトオフィスを巡る体験型ツアーを実施

### 4. DIYを活用したお試しサテライトオフィスPRの実施

- ・サテライトオフィスの候補となる空き家をDIYによりリノベーション

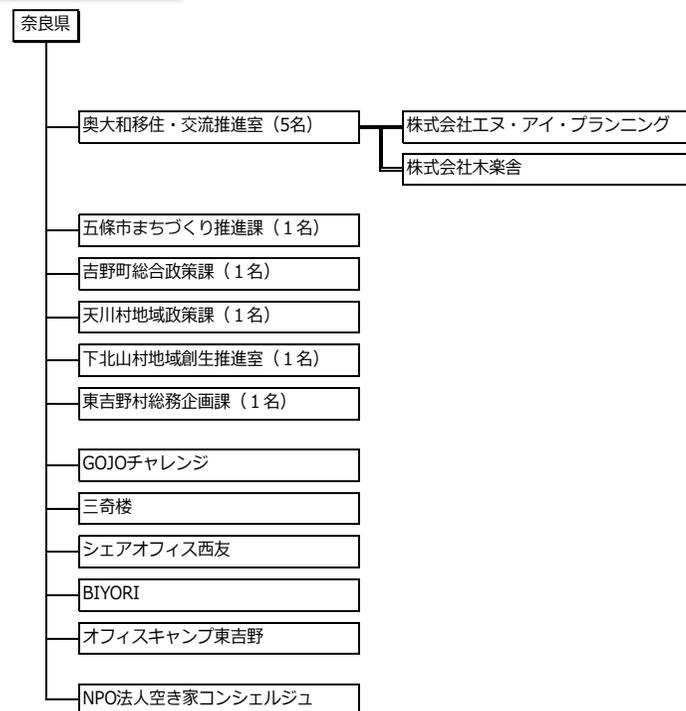
### 5. 都市部に向けた情報発信

- ・セミナーの開催、HPやSNS等による情報発信

### 6. 「サテライトオフィス」誘致戦略の策定

- ・次年度以降の本格的誘致に向けた誘致戦略の策定

## ○事業の実施体制



# 事業の目的・実施方針

## 【これまでの取組】

### ○移住促進施設の整備

- ・拠点施設整備に向けたモデルプランの作成を県自ら実施し、市町村等が実施する改修・新築による拠点施設整備に対し補助金を交付することにより、市町村の移住を促進するための拠点づくりを県が支援

### ○奥大和における雇用の創造

- ・「奥大和仕事づくり推進隊」を採用し、地域資源を活かした先駆的プロジェクトを推進
- ・奥大和アカデミーの開催による起業人材の育成
- ・奥大和商品の海外販売向けデザインの制作を通じた販路開拓支援

## 【事業の目的】

奥大和地域へのサテライトオフィス誘致によりもたらされるオフィス設置企業等と地元 事業者との連携の強化およびオフィス設置企業等と地域、あるいはオフィス設置企業等相互の交流の促進により、新たな仕事の創出、地域の魅力を活かした新商品開発および地域ブランディングの推進を目指す。

## 【事業の実施方針】

モニターツアーへの参加企業やお試し勤務実施企業への支援メニュー（滞在中の宿泊費のみを県が負担）を最小限にすることにより、奥大和地域へサテライトオフィスを設置する関心度や本気度がより高い企業の参画を目指す。

# お試し勤務地一覧

お試し勤務地の概要	外観・内装写真など
<p>【名称】 GOJOチャレンジ(五條市)            【用途】 サテライトオフィス            コワーキングスペース</p> <p>【特徴】 重要伝統的建造物郡保存地区「五條新町通り」の中央に位置する古民家を平成28年度に改修。ITエンジニア等の交流拠点。</p>	 
<p>【名称】 三奇楼(吉野町)            【用途】 サテライトオフィス            ゲストハウス</p> <p>【特徴】 観光地として有名な吉野。ゲストハウス機能に加え、蔵をバーに改修した「蔵bar」が併設しており、地域住民が集まる場として運営中。</p>	 
<p>【名称】 シェアオフィス西友(天川村)            【用途】 サテライトオフィス            チャレンジショップ</p> <p>【特徴】 奈良県内屈指の温泉地として有名。温泉街の一角にあった元旅館を交流施設、チャレンジショップ、サテライトオフィススペースとして改修。</p>	 

# お試し勤務地一覧

お試し勤務地の概要	外観・内装写真など
<p>【名称】 BIYORI(下北山村) 【用途】 サテライトオフィス</p> <p>【特徴】 バスフィッシングの聖地としても有名な下北山村。平成28年度にサテライトオフィス誘致候補施設に改修。スポーツ施設も充実。</p>	 
<p>【名称】 オフィスキャンプ東吉野(東吉野村) 【用途】 コワーキングスペース</p> <p>【特徴】 奥大和地域内で最もデザイナーやカメラマンが集まる場所。県外からの訪問者も多く、利用者は2年半で3600人。</p>	 

# お試し勤務の誘引のための取組内容

## ＜実施内容＞

### (1) モニター企業募集説明会の実施

【第1回】 2017年10月 6日(金) 13時～17時  
 【第2回】 2017年10月20日(金) 13時～17時

会場: FARO青山(東京都港区南青山2-15-5)



### (2) モニターツアーの開催

【第1回】 2017年11月12日(日)～13日(月)  
 【第2回】 2018年 2月16日(金)～17日(日)

内容: サテライトオフィス候補地の案内

奥大和  
PLANET  
OFFICE PROJECT

サテライトオフィス  
モニターツアー  
H29.11.12(日)～13(月)

▶日程▶  
 11/12 (日)  
 10:30 集合開始 (集合)  
 12:30 ツアープラン説明 (昼食付)  
 14:30 Office camp 奥大和  
 17:30 自由時間  
 21:45 奥大和駅バス停 (送)

11/13 (月)  
 10:30 奥大和駅集合  
 11:45 自由時間  
 12:45 自由時間  
 15:30 集合開始 (解散)

▶参加費▶  
 奥大和駅集合からサテライトオフィス候補地まで(送迎) 無料、解散後  
 ももちろん、奥大和駅まで地域の観光バスを乗車するツアーです。  
 サテライトオフィスの設置を検討中の企業様は各々多岐に亘るお申し込み  
 となります。

▶参加者▶  
 ①企業役員 1名  
 ②企業関係者 1名  
 ③企業関係者以外(家族) 1名(送迎)はご参加をお断りします

▶参加資格▶  
 ①名 (企業関係者/家族)

▶申込方法▶  
 ①申し込み: サテライトオフィスモニターツアーの申込) 上記のとおり、「申込  
 書」(申込用紙)「申込」(申込)「申込」を提出し、下記のとおり  
 申込書に「申込」を添付してご提出ください。  
 ②申込書: 申込書に必要事項を記載し、お申し込みください。  
 ③申込書: 申込書に必要事項を記載し、お申し込みください。  
 ④申込書: 申込書に必要事項を記載し、お申し込みください。

▶お問い合わせ▶  
 奥大和 総務課 奥大和 事務局 企画課  
 Tel: 0744-48-3015 Fax: 0744-48-3335  
 Mail: net@office.pnfc.or.jp

奥大和  
PLANET  
OFFICE PROJECT

サテライトオフィス  
モニターツアー

▶開催日時▶  
 1月14日(日)～15日(月)  
 1月19日(金)～20日(土)  
 2月2日(金)～3日(日)

▶開催場所▶  
 奥大和駅(11:00集合・解散)  
 奥大和駅(11:00集合・解散)  
 奥大和駅(11:00集合・解散)

▶参加費▶  
 奥大和駅集合からサテライトオフィス候補地まで(送迎) 無料、解散後  
 ももちろん、奥大和駅まで地域の観光バスを乗車するツアーです。  
 サテライトオフィスの設置を検討中の企業様は各々多岐に亘るお申し込み  
 となります。

▶参加者▶  
 ①企業役員 1名  
 ②企業関係者 1名  
 ③企業関係者以外(家族) 1名(送迎)はご参加をお断りします

▶参加資格▶  
 ①名 (企業関係者/家族)

▶申込方法▶  
 ①申し込み: サテライトオフィスモニターツアーの申込) 上記のとおり、「申込  
 書」(申込用紙)「申込」(申込)「申込」を提出し、下記のとおり  
 申込書に「申込」を添付してご提出ください。  
 ②申込書: 申込書に必要事項を記載し、お申し込みください。  
 ③申込書: 申込書に必要事項を記載し、お申し込みください。  
 ④申込書: 申込書に必要事項を記載し、お申し込みください。

▶お問い合わせ▶  
 奥大和 総務課 奥大和 事務局 企画課  
 Tel: 0744-48-3015 Fax: 0744-48-3335  
 Mail: net@office.pnfc.or.jp



# お試し勤務の誘引のための取組内容

## <実施内容>

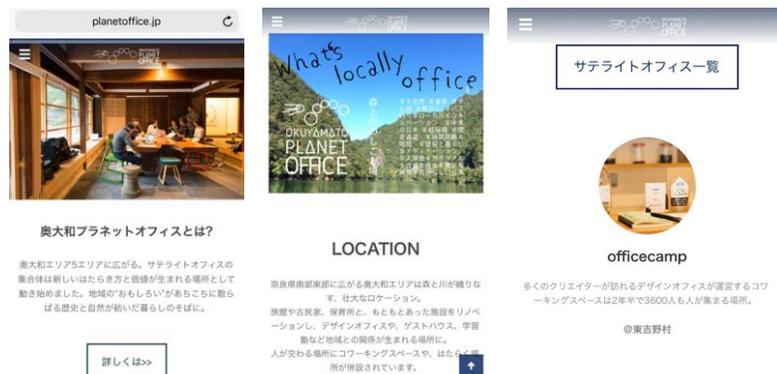
### (3) 奥大和プラネットオフィスプロジェクトのPR活動

① 企業誘致用リーフレットの制作・配布



② SNS・HP等によるプロジェクト関連活動にかかわる情報発信

③ 奥大和プラネットオフィス専用WEBサイトの開設



④ ソーシャルエコマガジン「ソトコト」へのプロジェクト記事の掲載



⑤ 企業へのアプローチ活動



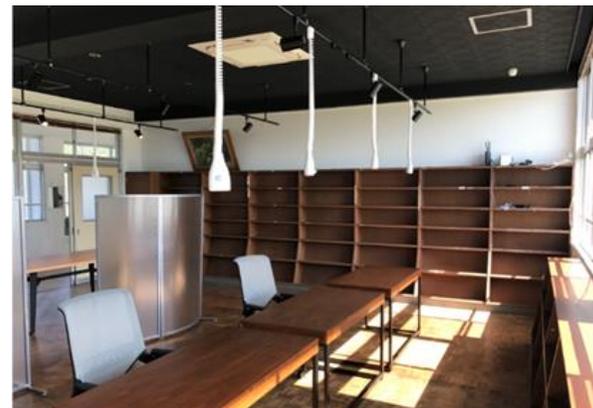
# お試し勤務の誘引のための取組内容

## ＜実施内容＞

### (4) 他県への視察

【時期】2017年10月24日～27日

【行先】鹿児島県錦江町まち・ひと・「MIRAI」創生協議会  
宮崎県日南市油津商店街



## お試し勤務等の実績

企業のサテライトオフィス開設の可否を検討するための実証実験を目的に、以下4企業がお試し勤務を実施

### ① 株式会社楽しいテレビジ(神奈川県)

項目	内容	項目	内容
業種	地理情報サービス	勤務地／勤務施設	下北山村／BIYORI
従業員数	個人事業主	勤務のきっかけ	総務省マッチング調査
勤務者数	1名	勤務の目的	事業展開の可能性
勤務期間	11月12日～13日	特徴的な活動	各サテライトオフィス担当者と意見交換

### ② 三菱地所株式会社(東京都)

項目	内容	項目	内容
業種	不動産関係	勤務地／勤務施設	下北山村／BIYORI
従業員数	398名	勤務のきっかけ	企業からの申込み
勤務者数	1名(学生アシスタント)	勤務の目的	事業展開の可能性
勤務期間	11月12日～13日	特徴的な活動	各サテライトオフィス担当者と意見交換

## お試し勤務等の実績

企業のサテライトオフィス開設の可否を検討するための実証実験を目的に、以下4企業がお試し勤務を実施

### ③ 株式会社パソナ(東京都)

項目	内容	項目	内容
業種	人材派遣業	勤務地／勤務施設	下北山村／BIYORI
従業員数	—	勤務のきっかけ	職員による働きかけ
勤務者数	3名	勤務の目的	事業展開の可能性
勤務期間	2月16日～17日	特徴的な活動	各サテライトオフィス担当者と意見交換

### ④ 株式会社SAGOJO(東京都)

項目	内容	項目	内容
業種	情報サービス	勤務地／勤務施設	下北山村／BIYORI
従業員数	—	勤務のきっかけ	職員による働きかけ
勤務者数	3名	勤務の目的	事業展開の可能性
勤務期間	2月16日～17日	特徴的な活動	各サテライトオフィス担当者と意見交換

## 成果概要

### (成果指標の達成状況、サテライト開設決定企業等について)

#### 【成果指標の達成状況／サテライト開設決定企業等について】

- 体験型ツアー参加企業等のニーズを踏まえたサテライトオフィスの執務環境・生活環境整備  
・(成果指標) 5カ所 → (実績) 0カ所

お試し勤務企業及び体験型ツアー参加企業の数少なく、十分なニーズの把握に至らなかった。モニター企業のニーズに合わせたより良い環境の整備を目指したが、具体的な改善事項等が整理できず、未実施。

- 移住モニター体験を実施した企業数  
・(成果指標) 10社 → (実績) 4社

事業開始が10月になり、奥大和プラネットオフィスプロジェクトのPRやモニターツアーの募集、お試し企業誘致のための営業活動を実施する十分な期間を確保することが出来ず、実際に奥大和地域を訪れる企業を獲得することは難しかった。

- 移住モニター企業と地元事業者による事業連携及び新商品開発等  
・(成果指標) 2件 → (実績) 0件

地元事業者との事業連携を図ることができる十分なお試し勤務期間を確保できず、新しい商品等を開発するに至らなかった。

- モニター実施後のサテライトオフィス設置事業所数  
・(成果指標) 延べ5件(※複数契約する場合含む) → (実績) 0件

サテライトオフィス設置には至らなかった。

# 成果の総括と今後の方針

## ○市町村との連携強化

県と奥大和地域19市町村とが設置した「奥大和移住・定住連携協議会」が主体となり、環境整備やPRを積極的に実施し、誘致活動における連携を強化

## ○拠点施設整備の推進

現在、奥大和地域に5カ所あるサテライトオフィスに加え、さらなる拠点整備を推進し、奥大和地域におけるサテライトオフィスを充実

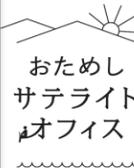
## ○地域が抱える課題

県では奥大和地域に広く5カ所のサテライトオフィスが点在するため、地域ごとに抱える地域課題も異なる。こうした奥大和地域が抱える様々な地域課題と都市部企業の強みをマッチングさせ、地域課題を克服する取組を地元企業と連携して実施し、新たな事業の創出を目指し、都市部企業のサテライトオフィス定着を推進

## ○地元事業者との連携強化

地域課題の解決に向けた地元企業と都市部企業とのマッチングについて、県及び市町村が積極的に支援  
地元企業と都市部企業とのつながりを強化し、地域課題の解決に向け新たに事業を創出

# お試しサテライトオフィス事業 長寿と子宝のまちでサテライトオフィス事業概要



提案団体名	人口(H27国調)	面積(H27国調)
伊仙町	6,362人	62.7km <sup>2</sup>
事業のポイント		
<p>伊仙町において重点分野である「健康・医療関連」、「IT関連」分野の企業等を中心に誘致し、実際に利用してもらうことにより離島におけるリゾート型サテライトオフィスならではの強み・弱みを把握し、本格的誘致に必要なオフィスニーズや首都圏企業等の要望を調査する。 また、参加企業等の要望や伊仙町側からの要請による地域住民との積極的交流を図る。</p>		

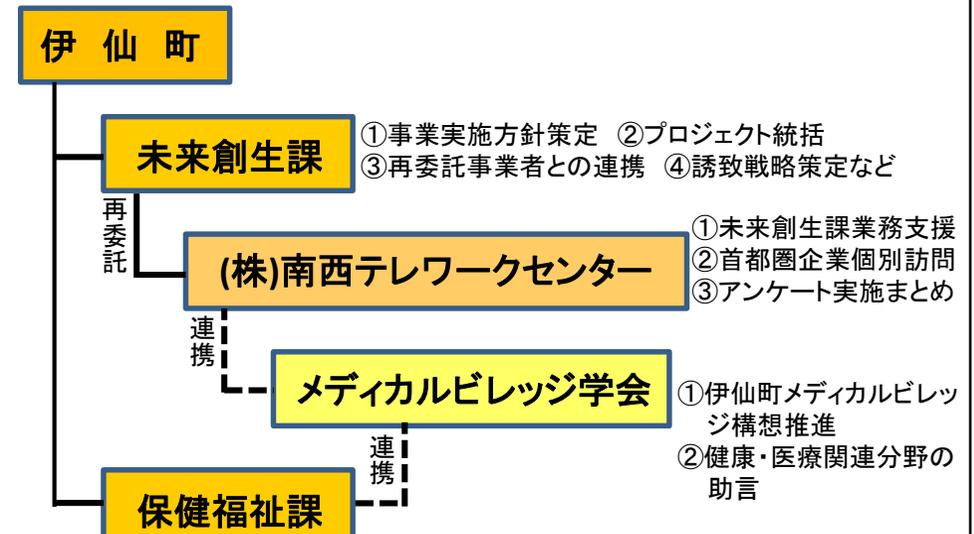
## ○本事業で実施する取組の概要

- 「お試し勤務」の受け入れ
  - お試しサテライトオフィス環境構築  
喜念集落の喜念浜コテージをオフィス兼宿泊施設として使用
  - お試し勤務企業の選定
    - 総務省マッチング調査などを活用し、誘致する企業等を選定
    - 7月20日企業誘致セミナー実施(21社 26人集客)
  - お試しサテライトオフィスモデル事業実施
    - お試し勤務型…1企業につき4日以上7日以内にて実施
    - ツアー型…滞在が難しい経営者など向け視察ツアー実施
- 企業ニーズ調査
  - お試し勤務利用企業へのアンケート調査実施
  - お試し勤務実施前、実施後に各企業を個別訪問し聞き取り
  - 伊仙町訪問時の懇親会、交流会において意見交換
- 地域との交流の場の設置
  - 地域イベント、キャリア教育(伊仙寺子屋)への参加
  - 事前要望の沿った伊仙町事業者等との意見交換
  - お試し勤務実施企業交流会の実施(約20社50名参加)

## ○事業の実施体制

### ◎今事業の実施体制及び誘致戦略策定体制

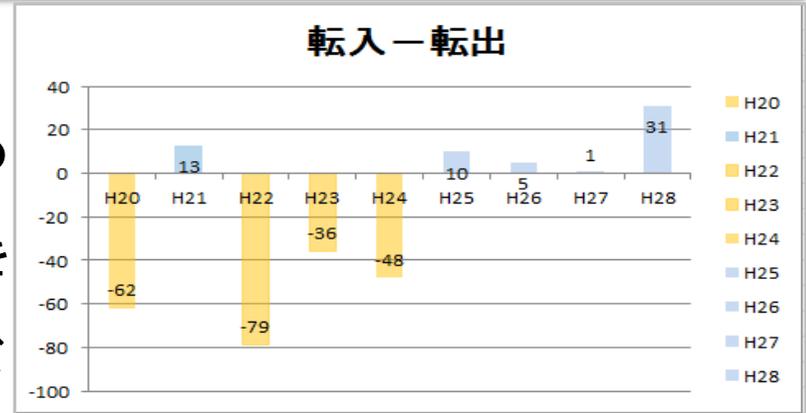
基本的な考え方や計画、調整は行政で行い、実施は民間を活用



# 事業の目的・実施方針

## 【本事業の目的】

- 「長寿・子宝」で名を知られる伊仙町では「生涯活躍のまちづくり」の推進で、U・Iターン者が増加してきており、その受け皿としての雇用創出は喫緊の課題。
- 今事業を通じて、首都圏企業に伊仙町でのお試し業務を行ってもらい、豊かな自然環境、人間味あふれる多世代交流等を体感してもらおう。その上で、各企業独自のニーズを深屈、また新規事業の可能性を探り、誘致につなげる。
- サテライトオフィスを誘致し、各企業の既存事業の展開や、徳之島の人材を含めた地域資源を活用した新規産業を創出することにより、地域雇用の拡大につなげる。
- 企業側には、都会で働き続けることで受けうるストレスにより、様々な心身的不調を抱える従業員が、一定期間本地域で業務を行うことで、リフレッシュし活力を得ることを期待する。



伊仙町転入転出者推移グラフ

## 【事業の実施方針】

- ① 「健康・医療関連」、「IT関連」企業を優先。
- ② 首都圏に本拠のある企業を積極的に誘致。
- ③ 事前アンケートなどで伊仙町でのお試し勤務に対する志望度が高く、熱意のある企業を優先。
- ④ これまで伊仙町と既につながりのある企業にも幅広くアナウンスし、事業展開を進める。
- ⑤ 最短4日以上最長1週間程度以内とする。(経営者向け1泊～2泊のツアーも必要に応じ実施)
- ⑥ 地元との交流を促進する。
- ⑦ 業務スペースは既存の施設を利用し、環境構築する。
- ⑧ 町にワンストップ対応窓口を設置し、業務環境や生活環境のサポートを行う。
- ⑨ 業務実施後アンケートにおいて、伊仙町の強みや弱み、誘致に向けての課題などを明確化する。
- ⑩ 以上を踏まえて、誘致戦略を策定する。

# お試し勤務地一覧

## お試し勤務地の概要

- ・ 名称 : 喜念浜サテライトオフィス  
(喜念浜コテージ)
  - ・ 用途類型 : サテライトオフィス  
1棟に独立した部屋が2部屋  
1部屋を1企業・組織が占有  
して使用。
  - ・ 立地場所 : 伊仙町喜念浜集落  
喜念浜海岸前
  - ・ 所有者 : 行政所有物件
  - ・ 元々の用途: 長短期滞在者向けコテージ
  - ・ 改修 : なし
  - ・ 通信環境 : 無線LAN
  - ・ 設備 : 作業用設備  
(ノートパソコン、プリンター他)  
滞在用設備  
(入浴施設、冷蔵庫、テレビ他)
  - ・ 宿泊 : 可能
- \* 今事業終了後は、長期滞在者向け  
コテージへ戻す

## 外観・内装写真など



コテージ外観



コテージ入口



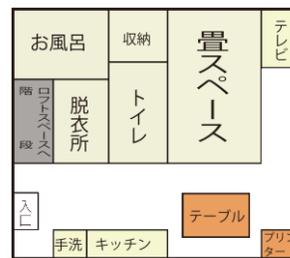
作業スペース



レストスペース



作業風景



内部レイアウト



徒歩30秒に喜念浜海岸

# お試し勤務の誘引のための取組内容

## ① 総務省実施のマッチング調査結果等を活用し誘引

- ・4月24日サテライトオフィス交流セミナーにおいて、伊仙町ブースへコンタクトした企業
- ・総務省実施のマッチング調査において伊仙町を希望した企業

## ② 丸の内プラチナ大学(\*1)及び中野産業推進振興機構(\*2)会員の中から伊仙町

### 視察経験のある企業を中心に案内

- \*1 一般社団法人エコッツエリア協会主催の社会人向けキャリア講座。全受講生45人中、15人が講座の一環としてH28年に伊仙町を視察訪問。
- \*2 中野区内のICT関連におけるコンテンツ産業の振興及び集積を推進する為の機構。

## ③ 伊仙町とこれまでにコンタクト済み、及び郷友会関係企業に案内

## ④ 再委託事業者独自のネットワークによる誘引

## お試し勤務等の実績

### ① お試しサテライトオフィス

- 参加企業数 : 18件  
 参加業種 : IT関連 12件、製造販売関連 2件、地域開発関連 1件  
 不動産関連 1件、医療介護関連 1件、旅行関連 1件  
 主な参加企業 : ヤフー株式会社、株式会社阪急交通社、Apaman株式会社  
 ソーバル株式会社、株式会社ニュースサービスセンター他

### ② サテライト視察ツアー

- 参加企業等の数 : 4件  
 参加業種 : IT関連 1件、地域開発関連 1件、不動産関連 1件  
 医療介護関連 1件  
 主な参加企業等 : メディカルビレッジ学会、一般社団法人ITCTO等

	お試しサテライトオフィス利用	サテライト視察ツアー参加	合計
参加企業団体数	18社・団体	4社・団体	22社・団体
参加人数	32名	10名	42名
実施延べ日数	179日	32日	211日
1人当たりの平均滞在日数	5.59日	3.2日	5.02日

# その他本事業で実施した取組内容

学習支援センターWS参加  
いせん寺子屋  
(キャリア教育)での講義



参加企業との繋がりによる  
地方創生イベントへの参加



サテライトオフィス事業  
参加企業交流会  
(12/7及び3/19)



# 成果概要

## 【成果指標とその達成状況】

### ◎ 成果指標

- |                      |    |                          |    |
|----------------------|----|--------------------------|----|
| ① 事業案内セミナー(1回10社以上)  | 2回 | ② お試し勤務企業等               | 4社 |
| ③ 正式進出企業             | 2社 | ④ 連携アドバイザー(誘致のための助言、協力者) | 3名 |
| ⑤ 企業ニーズの具体化と戦略策定への反映 |    |                          |    |

### ◎ 成果指標の達成状況

目標項目	数値目標	結果
① 事業案内セミナー(1回10社以上)	2回	2回実施(達成)
② お試し勤務企業等	4社	23社(達成)
③ 正式進出企業	2社	0社(未達成) ただし、検討中企業14社あり
④ 連携アドバイザー	3名	0名(未達成) お試しサテライトオフィス交流セミナーやマッチング調査の結果、伊仙町でのお試し勤務等を希望する企業等が予想以上に多く、連携アドバイザーなしでも十分に誘致可能と判断したため。
⑤ 企業ニーズの具体化と戦略策定への反映	なし	事業成果報告書にて報告(達成) 各企業等へのアンケートや個別訪問等により、伊仙町におけるサテライトオフィスへのニーズや課題を明確化し、その内容に基づいた今後の方針、戦略を策定。

## 【サテライトオフィス開設決定企業と具体的な検討に入った企業】

### ◎ サテライトオフィスの開設に向けて具体的な検討に入った企業

- ① ぜひ開設を検討したい・・・5件 (各企業の伊仙町における実施希望業務)
- |       |                        |        |                    |
|-------|------------------------|--------|--------------------|
| 不動産関連 | 2件(コワーキングスペース運営事業)     | 製造販売関連 | 1件(地域資源を利用した特産品開発) |
| IT関連  | 1件(伊仙町の広報活動、徳之島観光PR業務) | 医療看護関連 | 1件(助産院、ママケア事業)     |
- ② 前向きに検討したい・・・9件
- |      |    |        |    |        |    |        |    |
|------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| IT関連 | 6件 | 地域開発関連 | 1件 | 製造販売関連 | 1件 | 医療介護関連 | 1件 |
|------|----|--------|----|--------|----|--------|----|

# 成果の総括と今後の方針（アンケート結果）

## アンケート結果

### ① サテライトオフィス設置場所を選定する際の重視項目

- ・役場近くなど、仕事面で地元（企業含む）との連携が容易な場所
- ・生活や交通の利便性が高い中心地区
- ・地域の人材が集まりやすい場所

### ② サテライトオフィス実施にあたり重視する項目

- ・新規ビジネスの可能性の有無
- ・社員や家族にとっての魅力
- ・周辺のICT環境や通信環境

### ③ サテライトオフィスに期待する効果

- ・従業員の働き方の多様化実現
- ・地元事業者や学校などとの連携
- ・従業員のリフレッシュ促進

### ④ サテライトオフィス設置の後押しとなる行政支援策

- ・補助金による財政的支援
- ・総合的サポート体制の構築
- ・税制の優遇による支援

### ⑤ 伊仙町において考えられるサテライトオフィス設置形態

- ・シェアオフィス
- ・民間のオフィスや空き店舗を賃貸
- ・空き家などを借り上げオフィスとして活用

# 成果の総括と今後の方針

## 【成果の総括】

- 本事業実施により、組織規模の大小を問わず、スタッフの心身両面での健康の維持、すなわち「健康経営」が首都圏の企業にとって大きな課題であることが判明。
- 徳之島伊仙町のような元々健康長寿で、高い地域力を保つ地域に、新たな事業、関係構築の可能性を見出す企業経営者が多々存在。
- 進出の暁には地元雇用をしたいというニーズ、勤務中もそれ以外も、地域との交流を望む声が多くあり、これは地域にとっても歓迎される姿勢であり、実現可能性が高い。
- 伊仙町にある地域課題を、今回ご縁を頂いた各企業の熱意、知恵、技術、そして人的パワーを掛け合わせることで、企業にとっても地域にとっても、これまでにない大きな流れを生み出すことが出来る

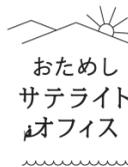
## 【今後の対応方針】

- 1 今後も町単独で「お試しサテライトオフィス事業」を継続。ニーズ調査を踏まえ、町内にコワーキングスペース・シェアオフィスを整備。その際、サテライトオフィス参加企業と提携し建設、運営を含めてジョイントで事業を進める。
- 2 オフィス開設時のインシヤルコストや維持費抑制のため、本事業の継続的財政支援も含め、進出企業向け税制優遇制度など、地元からのインセンティブを検討。
- 3 進出企業のスタッフ滞在施設創出のため、現状ある空き家バンク、空き家改修事業、さらに宿泊施設創出事業を展開する。
- 4 伊仙町が目指す「生涯活躍のまちづくり」の中で、生涯学習センター創設や観光客向け滞在施設創出、長寿食材を生かした商品作りや学習支援のための体制作りなど、本事業での企業との関係を軸に更に展開しつつあるまちづくりの推進力として、各企業との関係構築、共同事業を進めていく。

# 先進的団体の取組概要

平成30年3月9日

# にし阿波・サテライトオフィス誘致促進事業の概要

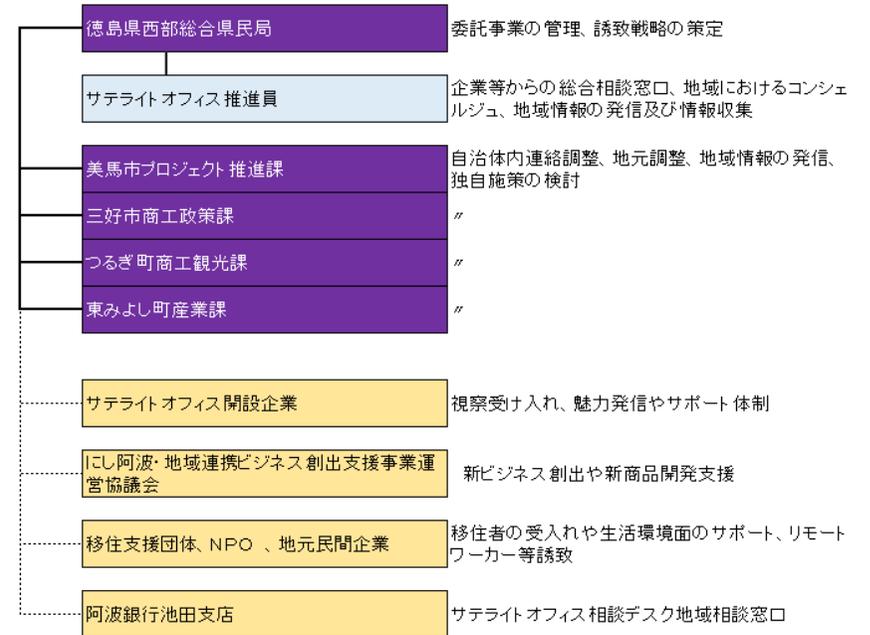


提案団体名	人口(H27国調)	面積(H27国調)
徳島県(美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町)	80,902人	1,406km <sup>2</sup>
事業のポイント		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治体間広域連携によるプロモーション活動の展開</li> <li>・官民連携での地域の受け入れ体制の構築、そのノウハウの蓄積</li> <li>・人材と企業とのマッチング機会の創出を実施</li> </ul>		

## ○本事業で実施する取組の概要

- 1. 「お試し勤務」の受け入れ**
  - ・地域経済や生活環境、人間関係を熟知したコンシェルジュ人材の配置
  - ・官民連携による視察ツアー等のきめ細やかな対応
- 2. 企業ニーズ調査**
  - ・「お試し勤務」や「視察ツアー」に参加した企業等へのアンケート調査を実施(対象企業85社中、71社から回答)
- 3. 広報活動の実施**
  - ・自治体間連携による「にし阿波」として一体感のあるプロモーション活動
  - ・地域ゆかりの企業関係者による口コミプロモーション
  - ・国内のみならず海外も視野に入れた魅力発信

## ○事業の実施体制(H28時点)



# お試し勤務等の実績

H29.9末時点

お試し勤務実施企業数	65社
（参加社員数）	86人
開発合宿（※）実施企業数	0社
（参加社員数）	0人
視察ツアー参加企業数	50社
（参加社員数）	66人
サテライトオフィス開設が決定した企業数（既に開設しているものも含む）	5社
サテライトオフィス開設に向けて具体的な検討段階に入った企業数	8社

## お試し勤務等の主な業種

出版・編集関係、web制作・デジタルコンテンツ制作関連、経営コンサルティング、広告関係、音楽・アート関係 など

※地方進出をきっかけに、事業者と連携した新ビジネス創出や事業拡大を模索する企業が多かった。

## 成果概要(成果指標の達成状況、サテライト開設決定企業等について)

成果指標	目標数値 (H28.10 企画提案書)	実績値
お試しサテライトオフィスの整備	6箇所	達成 (11箇所)
お試し勤務実施企業数	12社	達成 (65社)
モデル事業期間中に開設(開設を決定)するサテライトオフィス企業数	1社以上	達成 (5社)
サテライトオフィス進出市町の拡大	2市町以上	達成 (2市町)
企業と地元事業者をはじめとする多様なビジネス主体の連携による新ビジネス創出の件数	3件以上	達成 (6件)
事業期間中のサテライトオフィス開設企業(既開設企業含む)の地元雇用	5人以上	達成 (計14人) (※)

※(株)あしたのチームが1名、(株)ハレとケデザイン舎が4名、(株)ベアーズが2名、(株)東亜トーアトラベルが2名、G&Cコンサルティング(株)が2名、(株)百戦錬磨が1名、(株)ジェニオが1名、(株)東京アドが1名それぞれ地元雇用

### サテライト開設決定企業

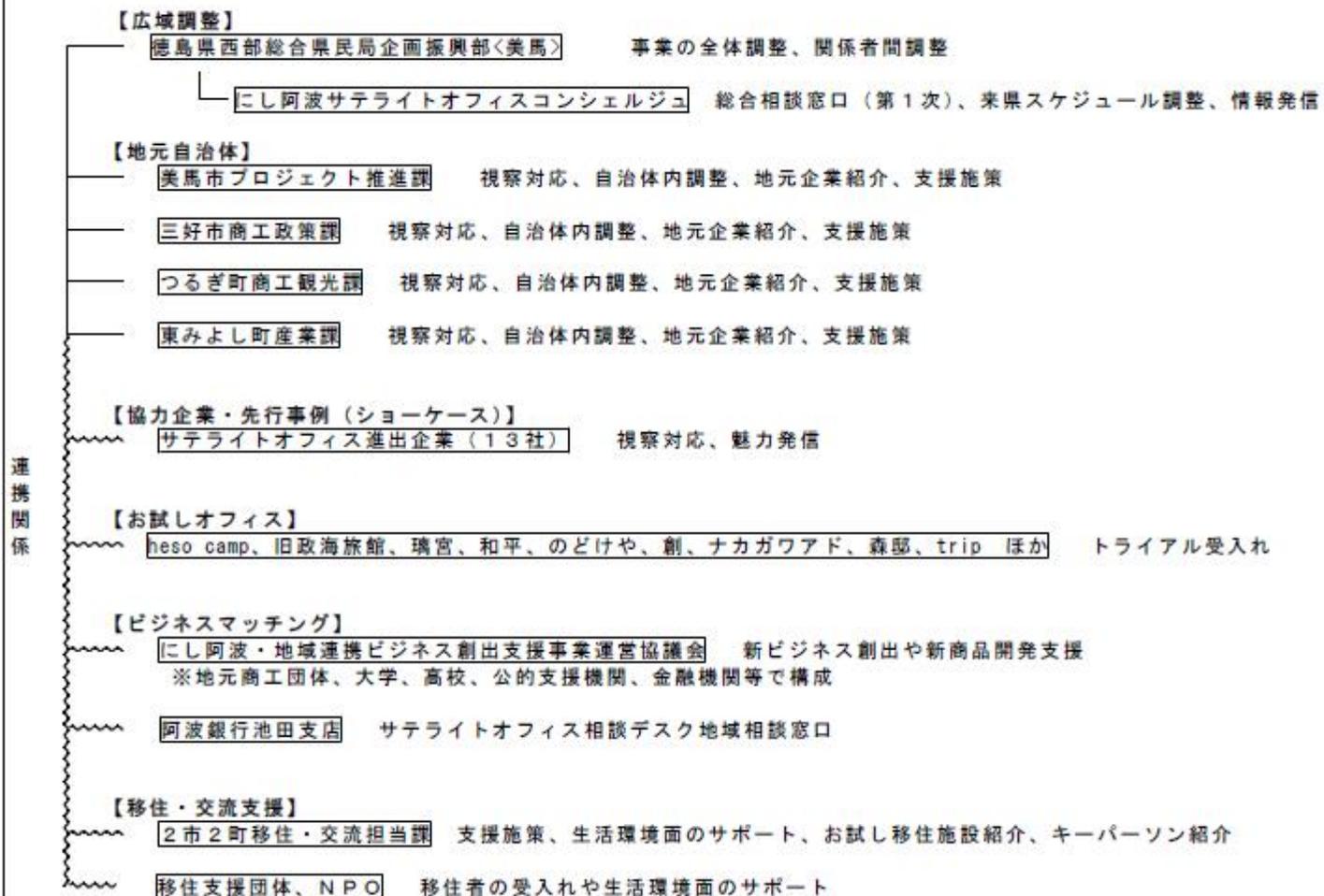
会社名	開設地	本社	開設時期
G & C コンサルティング株式会社	美馬市	東京都	H29.6
ヘループ株式会社	美馬市	東京都	H29.6
アプリコットシステム株式会社	美馬市	東京都	H29.9
株式会社ピウラ	美馬市	東京都	H29.9
株式会社ジェニオ	三好市	兵庫県	H29.9

# モデル事業終了後の実施体制

## 実施体制説明書

実施体制

H30.3.9 現在



# 徳島県西部 “にし阿波” の動き（自治体）

## (1) 視察・お話し勤務 件数(平成29年10月以降)

- ・視察 計23件(55社)  
内訳: 県対応4件(4社)、美馬市対応5件(32社)、三好市対応14件(19社)

## (2) 情報発信ツールの充実強化

- ・(三好市)サテライトオフィス紹介サイトの構築 <<https://miyoshi-satelliteoffice.jp/>>
- ・(三好市)サテライトオフィス紹介動画の配信
- ・(県)外国企業含むプロモーションサイト(日本語版、ドイツ語版)の構築  
<<http://nishiawa-so.com/willkommen/>>、<<http://nishiawa-so.com/>>
- ・(県)PR動画の配信 <<https://www.youtube.com/watch?v=Zi5bR5yx7x8>>

## (3) プロモーション活動の更なる強化

- ・(美馬市)年4回、美馬市主催サテライトオフィス誘致セミナーを開催(東京、京都)
- ・(三好市)年5回、三好市主催サテライトオフィス誘致セミナーを開催(東京、大阪)
- ・(東みよし町)サテライトオフィス誘致を担当する地域おこし協力隊を配置
- ・(県)外国人留学生に向けてサテライトオフィスを紹介するセミナー兼意見交換会を開催
- ・地元メディア等を積極的に活用しサテライトオフィスの紹介、地元での認知度向上を推進

## (4) 企業間マッチングを促進

- ・(県)地域の特産品業者と県内外のバイヤーとの対面式個別商談会の参加者にサテライトオフィス進出企業も加え、幅広いビジネスマッチングを創出
- ・(三好市)地元IT企業とサテライトオフィス進出企業でコンペ参加
- ・(美馬市)地元企業とサテライトオフィス進出企業のビジネスマッチングを推進  
連携例: 県外向け美馬市農産物等の詰め合わせ販売  
経営課題を事業連携で解決するワークショップを開催  
美馬市をはじめとした着地型旅行商品の開発検討  
自治体発注のプロモーション関連事業を共同で受託 など



# 徳島県西部 “にし阿波” の動き (SO企業)

## (1) SO企業が有するノウハウや専門性を地域に還元

- ・ヘループ(株)が、和菓子業者とともにインバウンド需要を取り込む新サービス創出を始動

[＜https://inboundnavi.jp/nishiawa\\_wagashi＞](https://inboundnavi.jp/nishiawa_wagashi)

- ・(株)ピウラが、新たな観光ツアーを企画

[＜http://tokushima-workingstyles.com/release/201208339.html＞](http://tokushima-workingstyles.com/release/201208339.html)

- ・(株)百戦錬磨が民泊推進 [＜http://www.tv-tokyo.co.jp/yomu/business/entry/2018/016418.html＞](http://www.tv-tokyo.co.jp/yomu/business/entry/2018/016418.html)



## (2) SO企業が「地域活性化の新たな担い手」として活動

- ・G&Cコンサルティング(株)が、美馬市のうだつの街並みテレワーク拠点「森邸」を改修しコワーキングスペースを拡張 [＜http://tokushima-workingstyles.com/release/201208352.html＞](http://tokushima-workingstyles.com/release/201208352.html)

- ・(株)東亜が、地元産の農産物を使った料理の新メニュー開発を都市部の料理店と共同で実施 <http://www.city.mima.lg.jp/kankou/event/h29-p/2017-1107-0831-313dxina.html>

## (3) 新しい働き方の普及啓発

- ・(株)ジェニオ、(株)あしたのチーム、(株)ベアーズが、県立池田高校の生徒600人に「SOの魅力」や「テレワークなど新しい働き方」、「web業界の今」を伝える出前講座を実施

[＜http://tokushima-workingstyles.com/release/201208333.html＞](http://tokushima-workingstyles.com/release/201208333.html)

- ・各サテライトオフィスが積極的に地域の魅力配信。都市部企業等の視察ツアーの受入れや、学生や県内企業に対し、テレワークやサテライトオフィスの「リアル」を発信。



# モデル事業の成果と今後の方向性についての意見

成果、今後の展開	関係者（行政等）
<p>今後サテライトオフィス誘致に取り組まれる場合、支援制度（補助金）も重要ですが、お金で呼び込むと「金の切れ目は縁の切れ目」となり得ます。企業側にはお金以外のメリットを訴えることができるか否かが重要と考えます。</p> <p>視察ツアーやお試し勤務の受入れなど、サテライトオフィスに取り組む自治体数が増えることで、サテライトオフィスが日本中で注目されるメジャーな取組みになることを期待します。</p>	 <p>三好市商工政策課 平尾主任主査(0883-72-7645)</p>
<p>今回のモデル事業では多くの企業の方にお試し勤務をしていただきました。</p> <p>また地元で暮らす人達や地元で活動する企業との交流により、お互いが刺激を受けることがサテライトオフィス誘致に繋がり、地域での新しい活動がはじまろうとしています。</p> <p>都市部と地方の生き方も価値観も異なる人同士が、異なる場所から合流することで新しい何かが生まれる、そういった「合流人口」を増やして、にし阿波が新たな何かが生まれる場所であり続けるよう、今回の事業の経験を活かし、今後も活動を続けていきたいと考えています。</p>	 <p>美馬市地域おこし協力隊 好川さん (0883-52-8144)</p>
<p>今までこの地域に縁もゆかりもなかった都市部の企業関係者が、様々なかたちで、地元の特産品製造事業者と出会い、双方の経営課題の解決に向けたビジネスマッチング等を通じて、新しい商品やサービスの開発に向けた、新しい機運が少しずつ盛り上がっている。</p> <p>地域に根ざし地域経済活動の発展に取り組む主体の一つとして、サテライトオフィス進出企業が、それぞれ独自の様々なネットワークや知見、経験を活かし、地域経済の発展に貢献いただくことは意義のあることと考える。</p> <p>都市部の企業と地方の事業者が、地に足のついた連携・協働関係を構築し、それぞれの強みを活かし、課題を克服する取組みを継続していくことが地域経済の活性化に必要不可欠であると考えます。</p>	 <p>東みよし町商工会 塩田 経営指導員 (0883-82-2177)</p>

# モデル事業の成果と今後の方向性についての意見

成果、今後の展開	関係者（地元）
<p>「にし阿波に足を運んでもらう」ということの良いきっかけになったと思う。</p> <p>実際にサテライトオフィス進出には至らなかった企業の方についても、地方創生や活性化について意見交換が出来たことで他者の視点を持って現在の取り組みについて改めて考えるきっかけにもなった。</p> <p>サテライトオフィスが進出後、地域で事業が成り立っていく姿を見せて行くことがこれからの誘致のPRとしても効果的であると考えている。その為、行政の力もかりつつ進出した企業の定着推進のため、求職者とのマッチングや地域との親和性を高める活動を行っていきたい。</p>	 <p>にし阿波SOコンシェルジュ (有)データプロ 澤野さん (088-677-7555)</p>
<p>様々な分野で連携することによって企業レバレッジをかけて地域の底上げを行う。関係人口を呼び込む前にそうした地元の関係"みまコミュニティ"の結束が必要だと思ひますし、既に新しい動きが地域の事業者同士で尊重し合いアクションが起っています。それも"共有＝共遊"から(´_`)。なお、美馬市脇町のうだつの街並みにある旧西條邸を『Udatsu Networkers Studio』にリノベ。この『U.N.S』ですが、カフェ(ワタル珈琲)、コワーキング、ホステル、オフィスといった複合施設となります。特徴は、弊社ウダツアップのベンチャーやプロジェクト支援で開発したソリューションツールを『U.N.S』に導入して起業家とそのプラットフォームツールを使い"スタートアップ"いや"ウダツアップ"企業を沢山創出。『藍T商人』の集団コミュニティを形成し、海外とのネットワークを広げ『ウダツバレー』を構築していきます。もはや、サテライトオフィス(SO)とは過去のものか、これからはコミュニティオフィス(CO)として、関係人口を増やす『U.N.S』が新たな時代の先取りを見据えうだつの町並みで始動(´_`)。</p>	 <p>(一社) Hammosurfing協会 柴田理事長 (080-6286-8101)</p>
<p>多様性のある方々に出会い、共感・共有・共創するきっかけを創ることができました。</p> <p>民間ベースでのコト創りはもちろん進行していきますが、都市と地方との継続的なきっかけ創り・バックアップを期待します。</p> <p>コワーキングからコリビングへクリエイティブ×【人＋地域】＝新しい価値の創造を目指し地域のコミュニティ拠点として進行中です。現在、今回のモデル事業をきっかけに、社屋の印刷工場をコミュニティが生まれるスペースにリノベーション中。名称は「ADLIV」。</p> <p>コワーキングスペースだけでなく、横の繋がりが生まれるカフェやイベントスペースも兼ね備えたシェアオフィス。地域の、人の「共有・共感・共創」が生まれるプラットフォームとしていきます。</p>	 <p>ナカガワ・アド株式会社 中川社長 (0883-52-1643)</p>

# モデル事業の成果と今後の方向性についての意見

成果、今後の展開	関係者（SO企業）
<p>■「おためし勤務」を利用し、幹部合宿を実施させていただきました。素晴らしい環境や地元の方々の温かいサポートの中、本社の会議では生まれない発想や集中力を体感し、サテライトオフィス開設を進めることを決断しました。 その様子→ <a href="https://miyoshi-satelliteoffice.jp/trial/">https://miyoshi-satelliteoffice.jp/trial/</a></p> <p>■ 現在進めていることは、事務処理や内勤の開発業務(コーディング・プログラミング等)をサテライトオフィスに順次移行することで本社業務を効率化し、また全社フリーアドレス・テレワークを推進することで本社・各支店のオフィススペース有効活用と活性化、そして「都市部で就職して地方でも働ける」「地方で就職して都市部でも働ける」メリットを訴求しております。</p> <p>■ 行政に期待することは、県内SO開設企業間の交流や、地元企業・地元住民との交流機会を増やしていただくことでビジネスマッチングや人材マッチング、SO認知向上が得られ、SO開設の魅力が増すものと考えております。</p>	 <p>株式会社ジェニオ 米田社長(0883-87-7666)</p>
<p>株式会社東亜では、豊かな観光資源と今後のポテンシャル、行政や地元企業の充実したサポート等を背景に、SO開設を決定。これを契機に、知名度の向上、地元との連携ビジネスの開始、これまで接点を持ちえなかった都市部企業との協業などのメリットが生まれ、ビジネスの好循環につながっている。</p> <p>現在は地域に精通した地元社員2名を雇用し、SO進出した都市部企業および地元旅行者と連携し、にし阿波の着地型旅行商品企画・販売に取り組んでいる。</p> <p>今後は、行政を通じSO企業間の紹介や進めている事業の情報共有、地元雇用のための地域の優秀な人材の紹介などの取組みがあると、よりSO進出の魅力が増すと思われる。</p>	 <p>株式会社東亜 片岡社長 (0883-52-1577)</p>
<p>地元企業と都市部の企業とのビジネスマッチングをきっかけにしたサテライト進出を促進に重きをおき活動を行ってまいりました。</p> <p>この、「進出前に地元企業とビジネスでの繋がりを議論する機会」を用意することは都市部企業にとっても進出後のイメージを明確に持たせることに繋がり、この事業を通じて、4社の進出を獲得に繋がりました。</p> <p>しかしながら、サテライト進出はゴールではなくスタートであり、ここからの活動で真価が問われることを忘れず地元での活動を推進してまいります。</p> <p>私どもが運営しております森邸サテライトをプラットフォームとし、すでに幾つかの地元企業と協業したビジネスも創出されており継続フォローをして参ります。</p>	 <p>G&amp;Cコンサルティング株式会社 藤村社長 (03-5439-6170)</p>

# 今後の展開

(1)平成30年度 県事業関係予算(案)  
次項のとおり



(2)平成30年度 市町村予算(案)

- ①美馬市「サテライトオフィス×地元企業連携ビジネスコンテスト事業」
  - ・サテライトオフィス進出(検討)企業と地元企業の連携機会の創出のためビジネスコンテストを開催
  
- ②三好市「サテライトオフィス誘致サポート事業」
  - ・都市部で開催する誘致セミナーへの集客及び会場手配・セッティング、現地視察研修へのアテンド及び集客
  
- ③つるぎ町「地域人材を活用したプロモーション事業」
  - ・地域おこし協力隊等を活用した都市部企業等とのネットワークづくり及び地域情報の発信、誘客促進
  
- ④東みよし町「サテライトオフィス誘致促進プロモーション事業」
  - ・エンジニア人材確保、誘致セミナー等の開催

# サテライトオフィス新次元展開事業

【平成30年度当初予算額 20,200千円】

## とくしまサテライトオフィスプロジェクト

プロジェクト開始から6年、  
県内11市町村に56社が開設  
(H29.12末現在)



### 全国をリードする三本柱の「新次元展開」

国際展開への挑戦  
～海外企業のSO誘致～

拠点化の推進  
～SOの定着・  
本社機能移転～

国の実証実験の  
更なる誘致  
～中央省庁のSO誘致～

「地方創生の全国モデル」として  
働き方改革や  
日本創成を先導する  
「未来を見据えた」  
プロジェクトへ

## 新次元展開の実現のために

徳島ならではの  
多様なSO展開モデルを  
発信

### 地域の強みを活かした「圏域別サテライトオフィスモデル」の確立

西部 「食」「農」「観光」と  
連携した「ワーケーション  
(work+vacation)」の推進  
と国内外への発信

再掲 ⑤にし阿波型テレワーク  
強化発信事業 7,050千円

南部 IoT企業を集積し、  
地域のブランド化

再掲 ⑤さてみるけ「四国の右下」右上がり  
スイッチオン！事業のうち 5,100千円

東部 多様な人・技術・知見の集積による交流・学びの拠点化

- 新 外国人モニターによる情報発信やJETRO等との連携強化による海外向け広報活動の展開
- 新 サテライトオフィス先進地ならではのノウハウを活用した実践的セミナー・現地研修会の実施

開設地域・企業の、さらなる拡大に向け

- サテライトオフィスコンシェルジュの配置
- イベント等でのプロモーション活動
- 誘致に取り組む市町村のサポート

企業定着  
×  
地域課題解決

### サテライトオフィスと地域の協働・共創関係の強化

企業 ↔ 地域

OSO企業による地域貢献活動  
支援

再掲 ⑤「とくしま回帰」加速強化  
交付金のうち1,500千円



SO企業による  
県内事業者向け研修

企業 ↔ 人

- 新 SOでの働き方を体験する「大学生合同インターンシップ」の実施や若い世代に向けた広報活動
- 「地方で働く」を考える、首都圏でのSO合同就職セミナーの開催

企業 ↔ 企業

- 地元企業との連携強化に向けた交流機会の拡充と地元金融機関・経済団体との連携によるマッチング支援
- 社員レベルの企業間連携・協働機会の拡充



県内企業への説明会

サテライトオフィスの「新次元展開」の深化 > 「地方の未来の姿」を徳島が示す！

担当：地方創生推進課

# 新 にし阿波型テレワーク強化発信事業

【平成30年度当初予算額7,050千円】

## にし阿波に訪れたチャンス

半年間で100社以上の都市部・外国企業がにし阿波を来訪

- ・雄大な自然や歴史文化が息づく「にし阿波桃源郷」を満喫
- ・地域と連携・協力の新たなビジネスモデルの可能性を模索

13社がSO開設！  
(美馬市7、三好市6)

SO進出企業を含む国内外企業との  
「つながり」と、豊かな自然など  
「地域資源」を活用

## 施策の展開方向

■国内外企業のお試しテレワークやSO開設のための魅力的なテストベッド(実証環境)づくりの推進



■にし阿波ならではの「食・農・観」と連携したワーケーション(work+vacation:休暇中に一定期間働く)の情報発信



## 事業の概要

プラットフォーム

## にし阿波サテライトオフィス推進プロジェクトチーム

構成: 県民局、2市2町、そらの郷、SO進出企業、地元企業等

### 「新しい働き方」の実践

- ・PTによるテレワーク拠点としてウェブ会議システム常設室を庁舎内に設置
- ・テレワークによる異業種間交流の推進
- ・国内外企業とのつながり強化



### 外国企業向けプロモーション活動の展開

- ・外国企業とにし阿波の架け橋を担うドイツ在住のコンシェルジュを配置
- ・外国企業への個別訪問・PR活動の実施



### ワーケーションの適地「にし阿波」の情報発信

- ・海外メディア関係者を招へいた「ワーケーション体験(実証実験)」を実施
- ・ワーケーション先としての認知度向上



### シナジー効果による新ビジネスの創出※

- ・SO進出企業を含む国内外企業と地域とのマッチング促進
- (例)観光事業者と和菓子製造業者のコラボによるインバウンド向け商品開発など



※にし阿波・地域連携ビジネス創出支援事業

「テレワーク」と「地域資源」の融合による「新しい人の流れ」を創出！

# 関連サイト

にし阿波サテライトオフィスプロジェクトサイト <http://nishiawa-so.com/>  
とくしまサテライトオフィスプロモーションサイト <http://tokushima-workingstyles.com/home.html>  
美馬市サテライトオフィス体験施設「創～so～」 [http://www.city.mima.lg.jp/gyousei/kurashi/ijyusokushin/sateraito\\_so.html](http://www.city.mima.lg.jp/gyousei/kurashi/ijyusokushin/sateraito_so.html)  
三好市サテライトオフィスサイト <https://miyoshi-satelliteoffice.jp/>  
美馬チャレンジプロジェクトサイト <http://mima-challenge.com/>  
あしたのチーム「サテライトオフィスで働き方改革」 <https://www.ashita-team.com/company/satelliteoffice>  
一般社団法人ハンモサーフィン協会 <https://www.hammosurfing.com/>  
にし阿波サテライトオフィスコンシェルジュ(有限会社データプロ) [https://dp778.co.jp/archives/cpt\\_result/3371/](https://dp778.co.jp/archives/cpt_result/3371/)  
特定非営利活動法人チルドリン徳島 <http://child-rin-tokushima.com/blog/2017/08/18/nishi0718/>  
とくしまサテライトオフィスプロジェクトPR動画 <https://www.pref.tokushima.lg.jp/ippannokata/kurashi/chihososei/5007780>  
「Nishi-Awa Relocation Guide (Satellite Office Promotion)」 <http://tokushima-workingstyles.com/release/201208336.html>  
2017年8月27日開催「にし阿波サテライトオフィスシンポジウム」動画 [www.youtube.com/watch?v=lqStXHutRYg](http://www.youtube.com/watch?v=lqStXHutRYg)  
三好市 サテライトオフィス誘致プロモーション動画 <https://m.youtube.com/watch?v=qRPY-lbzbda>  
県知事とにし阿波サテライトオフィスプロジェクト関係者との意見交換会(輝け!徳島わくわくトーク第7回 2017年10月15日開催)  
<<https://www.pref.tokushima.lg.jp/governor/tokushima-wakuwaku-talk/5010620>>  
パイクのMamma.Mima TV(サテライトオフィスに行ってみた) <<http://tokushima-workingstyles.com/release/201208348.html>>

## サテライトオフィス 自治体担当課・連絡先

美馬市プロジェクト推進課 【0883-52-8144】      三好市商工政策課 【0883-72-7645】  
つるぎ町商工観光課 【0883-62-3114】      東みよし町産業課 【0883-79-5345】  
徳島県西部総合県民局企画振興部<美馬> 【0883-53-2397】

## にし阿波サテライトオフィスコンシェルジュ

電話 088-677-7555    email: [contact@dp778.co.jp](mailto:contact@dp778.co.jp)  
専用HP <http://nishiawa-so.com/>



**徳島県**

**「お試しサテライトオフィス」モデル事業**

**H29年度採択団体成果報告会 資料**

**「都市部と地方の連携ビジネス創出」  
調査研究事業について**

2018年3月9日

---



G&C Consulting CO., Ltd.

**G&Cコンサルティング株式会社**  
**代表取締役 藤村 雄志**

# 目次

---

- |                           |         |
|---------------------------|---------|
| 1. 弊社概要                   | P16～P20 |
| 2. 徳島県・美馬市・森邸との出会い        | P21～P22 |
| 3. 森邸改装の理由                | P23     |
| 4. 事業受託の流れ                | P24     |
| 5. 「にし阿波モデル」とは            | P25     |
| 6. 都市部と地方の連携ビジネス創出」調査研究事業 | P26～P31 |
| 7. 事業成果                   | P32     |
| 8. 事業のポイント                | P33     |
| 9. おわりに 事業の再現性について        | P34     |

# 弊社概要

---

## 活動理念

---



G&C Consulting CO., Ltd.

# G&Cコンサルティング株式会社

**Good Society  
for next  
Generations.**

民間と自治体を繋ぎ、次世代により良い社会を紡ぐ  
私たちは、社会を次世代により良い形をつないでいくことを目的に、  
ガバメントと民間、地方と都会、若者とシニアなど、立場が違うからこそ  
出会うことがない両者を繋ぎ、社会が直面している課題を、  
ビジネスを通じて解決していく活動をしてまいります。

# 弊社概要

## 事業実績

### 1 地方創生プロジェクト

- ・ GOJOチャレンジプロジェクト（奈良県五條市）
- ・ 周南市クリエイティブ産業創出支援プロジェクト
- ・ 美馬市テレワーク推進プロジェクト
- ・ 美馬市うだつの町並み周辺サテライトオフィス・  
地元企業連携推進業務
- ・ 富津市サテライトオフィス誘致プロジェクト
- ・ 徳島県サテライトオフィス型テレワーク  
推進事業業務
- ・ 徳島県「都市部と地方の連携ビジネス創出」  
調査研究事業
- ・ 全国各地での地方創生勉強会やスタディツアー

### 2 企業向けコンサルティング

- ・ 株式会社ドワンゴ

## 会社概要

会社の名称：G&Cコンサルティング株式会社

代表者氏名：片岡久議・藤村雄志

本社所在地：〒150-0001  
東京都渋谷区神宮前 6-19-17  
ペリ工神宮前5階  
TEL：03-5439-6170  
FAX：03-3453-7170

<http://www.gc-consulting.jp/>

資本金：3,000,000円

設立年月日：平成26年11月7日

決算期：9月

主要取引先：徳島県  
山口県周南市  
徳島県美馬市  
千葉県富津市

# 弊社概要

## 地方創生コンソーシアム事業



当社が運営する『地方創生コンソーシアム』では、「地方創生推進者の養成・啓発」及び「起業・企業支援による地方創生推進」を目的とし、地方での起業、人材誘致、地方と都市部の企業とを繋ぐマッチングイベントやスタディツアー、勉強会の開催などを実施。

<http://chihou-sousei.info/>

全国から通算1000人を超える多くの若手経営者やビジネスマン、大学生などにもご参加いただき、地方創生に興味や意欲のある日本中の人々と広くネットワークを構築している。

## スタディツアー開催実績

2015年から2018年現在まで、全国各地で14回の開催、延べ200人の経営者が参加。

- ・ 2015年 2月開催 奈良県五條市
- ・ 2015年 7月開催 徳島県神山町
- ・ 2015年 9月開催 徳島県美波町
- ・ 2015年10月開催 岡山県総社市
- ・ 2015年11月開催 徳島県美馬市
- ・ 2016年 3月開催 奈良県五條市
- ・ 2016年 6月開催 奈良県五條市
- ・ 2016年 8月開催 奈良県五條市
- ・ 2016年 9月開催 愛媛県大洲市
- ・ 2016年10月開催 奈良県五條市
- ・ 2017年 1月開催 徳島県美馬市
- ・ 2017年 2月開催 山口県周南市
- ・ 2017年 5月開催 徳島県にし阿波
- ・ 2018年 2月開催 徳島県美馬市

# 弊社概要

## 勉強会・セミナー開催実績

2015年から2018年現在まで、全国各地で18回の開催、延べ500人の経営者が参加。

- ・ 2015年 4月 起業・創業による地域活性化の可能性
- ・ 2015年 6月 起業・創業による地域活性化の可能性
- ・ 2015年 7月 若手企業経営者と山口県知事との意見交換会
- ・ 2015年 8月 徳島県美波町サテライトオフィス誘致の取り組み
- ・ 2015年 8月 島根県江津市 苔作り新しい産業作り
- ・ 2015年10月 橋本大二郎氏に聞く！地方創生勉強会
- ・ 2015年11月 やまぐち在京学生フォーラム“立志応援 創業セミナー”
- ・ 2015年12月 藻谷浩介氏に聞く！地方創生勉強会
- ・ 2015年12月 観光振興による地方創生！
- ・ 2016年 8月 地方における起業セミナー
- ・ 2016年11月 周南市クリエイティブ産業創出セミナー@東京
- ・ 2016年11月 周南市クリエイティブ産業創出セミナー@京都
- ・ 2016年11月 美馬市地方創生勉強会
- ・ 2017年 5月 にし阿波サテライトオフィス活性化セミナー
- ・ 2017年 8月 にし阿波サテライトオフィスシンポジウム2017
- ・ 2017年11月 美馬市サテライトオフィス誘致セミナー@京都
- ・ 2017年12月 美馬市サテライトオフィス誘致セミナー@東京
- ・ 2018年 2月 美馬市サテライトオフィス誘致セミナー@美馬市



# 弊社概要

## 美馬サテライトの設置

東京本社並びに奈良県五條市に支社を置く弊社は、徳島県美馬市でも地域に根差した地方創生事業に取り組んでいくため、「森邸」に拠点を置き、社員2名が常駐する美馬サテライトを開設。(2017年3月開設)

森邸を活用した美馬市における都市部企業のプラットフォーム化を目指すとともに、地元企業と協業しながらの持続性と地域貢献性のある事業を推進していくことを目的とする。



# 徳島県・美馬市・森邸との出会い

## H27.7 地方創生スタディツアー

弊社主催の地方創生スタディツアーを開催し、初めて徳島県にし阿波に訪問。

その後9月には徳島県美馬市にも訪問し、行政や美馬市内企業とも関係構築を進めることとなった。



## H27.11 森邸視察

美馬市行政よりサテライトオフィス候補地として、重要伝統的建造物群保存地区に指定されている、うだつの町並み内の古民家、森邸をご紹介いただき視察。整備を視野に地元との協議を開始する。



# 徳島県・美馬市・森邸との出会い

## H28.11 森邸の賃借開始

森邸賃借を開始し（後に株式会社東亜にて購入）、  
サテライトオフィス拠点として整備・改築を開始。  
（平成28年度徳島県事業）



## H29.1 森邸第1期工事完了

第1期改修工事で入り口土間及び次の間合計約70  
㎡の補修を完了し、机や椅子等を配置してコワーキ  
ング、シェアデスク、サテライトオフィスへの転用を  
図り、都市部企業等へのプロモーションを開始。



# 森邸改装の理由

## 温故「致」新を体現するハイブリッド型SO拠点の創造

うだつの町並みに立ち並ぶ築150年の商家の雰囲気を残したまま、スタイリッシュな現代的リノベーションを施すことで、「地方に来たからこそ味わえる」デザイン性と居心地を兼ね備えた拠点を創造することで、都市部企業の興味喚起とサテライト誘致、ハブ化を進めることを目的として整備。コワーキングスペースや執務室も設けられる敷地面積を有し、既存の造りを活かしたリノベーションが可能なことから森邸を選定した。



# 事業受託の流れ

---

## H28.12 地元企業との連携合意

徳島県美馬市内にて創業約60年の老舗、ナカガワ・アド株式会社と協議を行い、共同で地元及び都市部それぞれの立場から協力し地域活性化に向けて協業することで合意。美馬市事業の「うだつの町並み周辺サテライトオフィス・地元企業連携推進業務」のプロポーザルに共同申請し採択される。

---

## H29.1～ 美馬市事業の推進と徳島県事業への発展

前述の美馬市事業にて、全3回のマッチングイベントを開催し、都市部から参加の企業と地元企業の連携促進、並びに課題抽出を行った。

美馬市事業を通じて、地元の課題や傾向を把握するとともに、連携ビジネスがSO誘致策としての起爆剤となる可能性を強く感じ、徳島県とともに「**にし阿波モデル**」を考案し、SO誘致のための本事業に取り組むこととなる。

# 「にし阿波モデル」とは

---

## ビジネス連携と地域課題の解決

---

従来のSO誘致策としての、豊かな自然や文化、アクティビティなどの癒しと、新たな出会いによる刺激を楽しみながら勤務できる環境、という地方ならではの強みを活かしながらも、

- ◆ビジネスマッチングを重視したサテライトオフィス誘致
  - ◆地域の課題を共に解決するという視点でのマッチング創出
- の2点を重視し、

進出企業にとっては**地元での人間関係**や**進出先でのビジネス**を見越した**SO進出**を可能にし、地元にとっては**経済効果**はもとより、都市部企業が地域が抱える課題の解決にともに取り組む**パートナー**となる構図ができることでの**安心感**や**信頼感**が醸成されることになり、双方にとっての利益が明確となり、将来的な高い定着率も期待できるSO誘致モデルである。

# 「都市部と地方の連携ビジネス創出」調査研究事業

- 目的**
- ① サテライトオフィスのメリットの地域内での共有
  - ② 地域経済の活性化並びに連携ビジネスの創出
  - ③ 今後の誘致に効果的な施策についての検討

## 連携強化

- ◆にし阿波と都市部企業とを繋ぐ、  
マッチングワークショップ
- ◆にし阿波サテライトオフィス活性化セミナー
- ◆シンポジウム「全国サテライトサミット」

## 調査研究

- ◆内部向け（県内）調査
  - ・イベント参加者に向けたアンケート実施
- ◆外部向け（県外）調査
  - ・地方創生コンソーシアムの活用
  - ・「TERACOYA」の活用

## 相談対応

- ◆ナカガワ・アド（株）への電話相談窓口設置
- ◆G&Cコンサルティング美馬サテライトでの電話受付

## その他施策

- ◆にし阿波マッチングスタディツアー
- ◆お試し勤務体験

# 「都市部と地方の連携ビジネス創出」調査研究事業

## 連携強化

### マッチングワークショップ

地元と都市部企業、双方の持つ事業価値を活用しながら、**地域の課題を共に解決する視点での連携ビジネス創出の実現**を目指すものとして全3回を開催し計110名以上が参加。



にし阿波サテライトオフィス活性化セミナー  
主に地元企業に向けて、SOに関する理解促進やSO誘致への機運醸成を目的としてセミナーを開催。SOの発展が地域に及ぼす好影響の説明やワークショップを通じて生まれつつあった連携ビジネスの事例紹介を実施。



# 「都市部と地方の連携ビジネス創出」調査研究事業

## シンポジウム「全国サテライトサミット」

当事業の成果報告やサテライトオフィス開設企業の紹介の他、「サテライトオフィスと地方の在り方」をテーマにしたパネルディスカッションなどを実施。全国の自治体職員、地元企業、マスコミ等約100名の参加があった。



## セミナーやシンポジウムのメディア掲載



# 「都市部と地方の連携ビジネス創出」調査研究事業

---

## 調査研究

### 内部向け（県内）調査

主にワークショップの事前及び当日アンケート、個別面談から具体的なニーズや課題について抽出。「インバウンド観光、インバウンド関連商品の企画」、「物産販売、販路開拓」「インターネット販売の強化」にニーズが多くあられ、「人手不足、後継者不足」に課題を持つ事業者が多い結果となった。

---

### 外部向け（県外）調査

各イベントに参加いただいた県外企業及び起業系イベント「TERACOYA」参加企業に向けて実施。にし阿波に来訪する理由として、地域ならではの特産品や技術の発掘を希望する企業が多く、まだ都市部でも販路を十分に開拓できていない分野をビジネスチャンスと捉えている傾向が見られた。

# 「都市部と地方の連携ビジネス創出」調査研究事業

## 相談対応

### ナカガワ・アド（株）への電話相談窓口設置と G&Cコンサルティング美馬サテライトでの電話受付

SO開設に伴う新しいビジネスの創出や事業者間連携に関して、にし阿波や都市部の企業等からの問い合わせに対応するため、本事業を共同受託したナカガワ・アド株式会社に専門的相談窓口を設置するとともに、G&Cコンサルティング株式会社美馬サテライトにて電話受付を実施した。

主な問い合わせ内容としては、「本事業の各イベントに関するもの」、「森邸の収容人数やネット環境についてのサテライト施設に関するもの」、「にし阿波での雇用や連携に関するもの」、「補助金などの行政支援に関するもの」の4つに大別され、それぞれ行政担当者と協力しながら対応した。

# 「都市部と地方の連携ビジネス創出」調査研究事業

## その他施策

にし阿波マッチングスタディツアー  
都市部経営者を対象に、SOや企業視察、  
マッチングイベントへの参加、地元事業者と  
の交流、伝統産業体験などを通じて、現地理  
解と進出後のイメージづくりを促すため実施。



## お試し勤務体験

にし阿波へのサテライト進出を計画する都市  
部企業に向けてのお試し勤務体験を実施。  
49名がお試し勤務体験をし、その中からにし  
阿波進出決定や将来的な進出検討、地元企  
業との連携ビジネス事例も複数生まれた。



# 事業成果

## 3社の進出決定、7社の進出内諾、9件の連携実現

- ・インバウンド誘致・メディア運営会社
- ・紅茶の開発製造・ネット販売会社
- ・PR・販促コンサルティング会社

上記の3社が期間内のSO進出が決定した。

上記3社を中心に、ワークショップ参加企業とともにオリジナル商品の開発やインバウンド誘致に向けた観光事業など多くの連携ビジネスが現在も進んでいる。



# 事業のポイント

---

## 進出の理由作り

全国数多にある候補地の中から「にし阿波」を選んでもらうための理由作りを重視して取り組んできた。

→連携ビジネスの促進（「にし阿波モデル」の推進）

## 地元・都市部双方の企業にとってのメリット

地元企業においてSO進出を脅威とするのではなく機会と捉えてもらうための仕組みづくりを考え、「地域課題の解決」を前提としたマッチングを実施。

## 目的は地方創生

SO誘致を目的ではなく、地域の活性化や地方創生と捉え事業を実施してきた。SO誘致の先にある産業の発展や雇用創出を見越した施策を考え今後も取り組んでいきたい。

# おわりに 事業の再現性について

---

## ビジネス提案力が必須

都市部企業においては、進出先での安定的な売上目途が立つまでは常駐雇用まで踏み切るところは少ない。SO誘致のためにはその進出企業が地方で成立するであろうビジネスモデル提案力や地元企業との調整力も合わせて求められる。マッチングイベントのみでは事業成立まで至らないケースも多々あるため、現地での丁寧なサポートが不可欠である。

---

## 都市部企業への情報発信（集客）とニーズ把握

「サテライトオフィス」や「テレワーク」に関心を示す企業は多いが、行動や実現に踏み切る可能性はまだ高くない。都市部企業に対し、個別に「利益」を提案することで興味関心を持ってもらうとともに、前もってマッチングニーズをヒアリングし、希望に沿った地元企業をある程度セレクションしてワークショップに招致することが求められる。

# モデル事業の成果取りまとめ

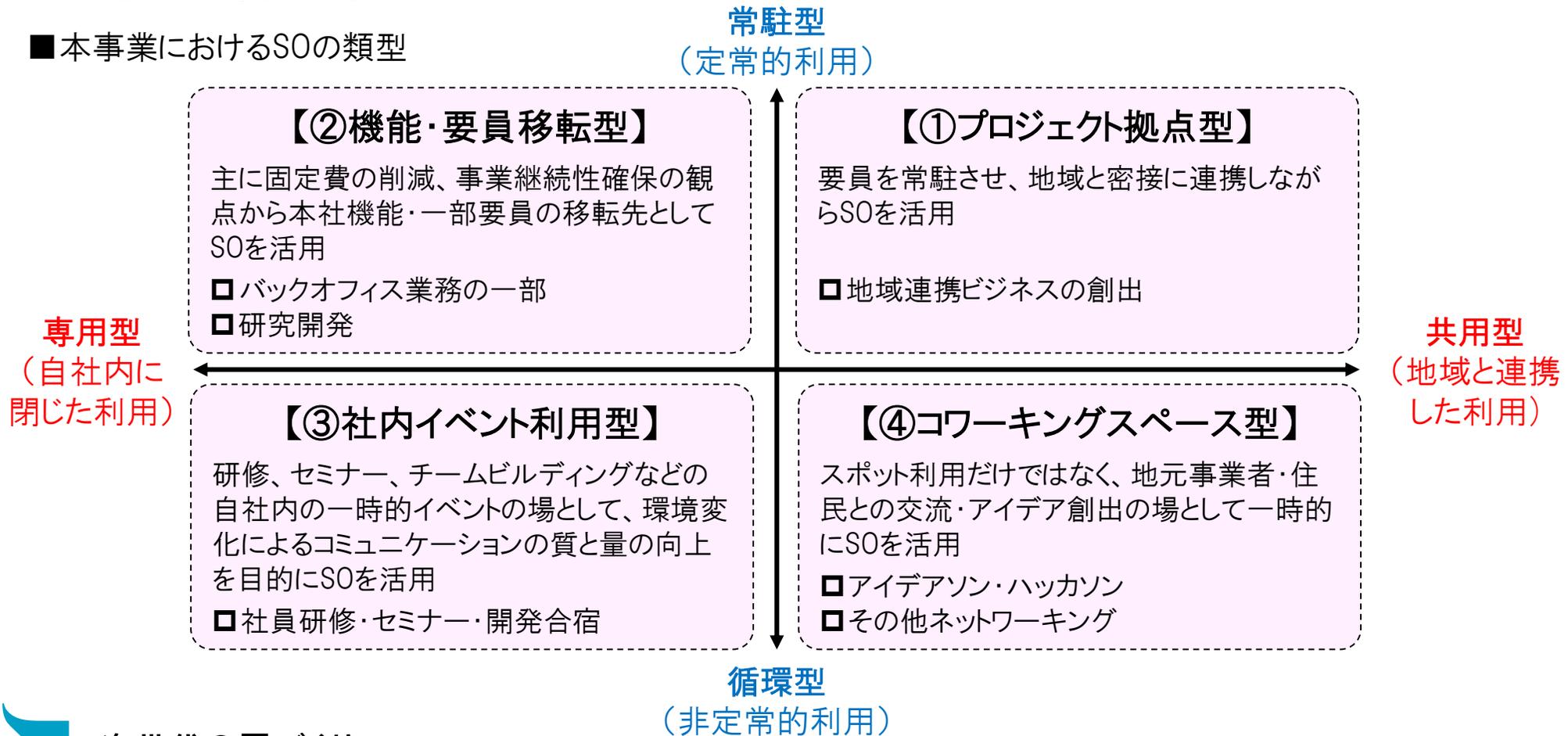
2018年3月9日

株式会社 日本総合研究所

# 1. はじめに -本事業における「サテライトオフィス」の定義-

- 本事業では、専用／共用、定常的利用／非定常的利用によらず、都市部の企業が本拠から離れたところに設置する遠隔勤務のためのオフィスを、広く「サテライトオフィス」(以下「SO」)と定義する。

## ■本事業におけるSOの類型



## 2-1. 地方側のSO誘致の目的

- モデル事業の成果より、地方側のSO誘致の目的は概ね以下の5つに大別できる。

### 地方側のSO誘致の目的

<p>地域内の 雇用創出</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 都市部企業を誘致することで、地元人材(地元の高校・大学卒業生、子育て中の女性、シニア人材等)の新たな就労先を確保する</li> <li>□ 「地方における新しい働き方」を提唱することで、地域外から優秀な人材(UJターン者等)を確保する</li> </ul>
<p>地域連携ビジネスを通じた地域課題の解決</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 既存のビジネスに都市部企業の人材・ノウハウ等を連携させることで、地域課題の解決に資する新たなビジネスを創出する</li> </ul>
<p>地場産品・サービスの販路拡大</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 都市部企業の有する販売促進に係るノウハウや市場・顧客等を活用して、地場産品・サービスの新たな販路を獲得する</li> </ul>
<p>地域の担い手の確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 人口減少に伴う地域衰退の対応策として、SOを基軸として都市部企業の従業員を地域に呼び寄せ、地元事業者・住民との交流を促進する等により、地場産業や地域コミュニティの担い手を確保する</li> </ul>
<p>遊休資産の活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 遊休資産となっている域内の空き家・空き公共施設等を、SOとして有効活用する</li> </ul>

## 2-2. 目的達成に向けた10の重点的取組

- 前頁の目的達成に向け、モデル団体が共通的に実施した10の取組(重点的取組)は以下のとおり。

### ■ 目的達成に向けた10の重点的取組

新規追加

①

**効果的な  
誘致体制の構築**

SOの開設や地域への定着に向け、都市部企業にとってアクセス・調整しやすい組織体制を自庁内に整備

②

**地元事業者・  
住民への説明**

地元事業者・住民に対する、SO誘致の意義や効果等の説明

③

**自地域の情報発信と  
都市部企業等との  
ネットワーク創出**

都市部企業等への広報・プロモーション活動及び都市部企業等との接触による関係性の構築

④

**お試し勤務等  
企業の  
ニーズの把握**

お試し勤務等の実態、感想、SO開設意向及び開設のための隘路の具体的内容等の把握

⑤

**地元事業者との  
交流・連携促進**

新たな事業創出に向け、SO開設を検討する(開設した)都市部企業等と地元の事業者との交流・連携の場を創出

新規追加

⑥

**地域コミュニティ  
への定着支援**

SO開設を検討する(開設した)都市部企業の従業員が地域に溶け込めるように生活環境面でのサポートを実施

⑦

**地元人材の  
ニーズ等の把握**

地元人材(地元の高校・大学卒業生、子育て中の女性、シニア人材等)の就労動向及び就労ニーズ等の把握

⑧

**地域課題及び  
地元事業者の  
ニーズの把握**

地域が抱える具体的課題及び地元事業者のニーズの把握

⑨

**地域ビジネス創出に  
向けた研究会・  
実証実験の実施**

地域の既存ビジネスと都市部企業のビジネスを掛け合わせた地域ビジネスの創出に向けた研究会・実証実験の実施

⑩

**域内遊休資産の  
活用に向けた  
調査・整備**

都市部企業のSO活用ニーズを踏まえた遊休資産(空き家、空き公共施設等)の実態調査・整備・改修等

## 2-3. 都市部企業のSO開設の主な狙い

- 一方、本年2月に開催した、SOを開設して地域との連携を進めている先進的企業との意見交換を踏まえ、SO開設を志向する都市部企業の主な狙いを以下の4分類6種に類型化。

### ■ 都市部企業のSO開設の主な狙い

大分類		小分類(類型)		概要
A	業務・人材の 適正配置	A-1	地元人材の確保	都市部での人材確保が困難(激しい人材獲得競争等)であり、効率的に地元人材(地元学生、主婦、シニア人材等)を確保し、スキルに応じた自社業務を割り当てる拠点としてSOを活用
		A-2	Uターン人材の確保	地方志向の強い優秀な社員を確保する(流出を抑止し、新規雇用を促進する)ため、都市部同等の付加価値の高い自社業務を地方で実施する拠点としてSOを活用
B	既存サービスの 販路拡大	B-1	市場調査・営業	自社の既存サービスを横展開するため、市場調査やターゲット顧客とのネットワーキング等を行う営業拠点としてSOを活用
C	地域連携ビジネスの 創出	C-1	地域連携ビジネスの 事業性検証	地域の協力の下、地域の課題解決に資する新たなビジネス創出のための実証を行う場としてSOを活用
		C-2	地域連携ビジネスの創出 (事業化)	地元のキープレイヤー(産官学金)と密に連携して地域連携ビジネスを事業化するための拠点としてSOを活用
D	新しい働き方への 挑戦	D-1	テレワーク・二地域居住等の 実践	SOを活用し、地方でのテレワーク・都市部/地方部での二地域居住等を実践することで、業務の生産性向上に加え、新しい働き方・住まい方を志向する都市部在住者に対する自社のプレゼンスを向上

次世代の国づくり

## 2-4. 地方と都市部企業が「Win-Win」となるSO誘致

- 地域への参画意識の強い都市部企業のSO開設の関心を喚起し、地域に根付かせるためには、地方と企業が「Win-Win」の関係となるような連携テーマを設定することが肝要。
- また、「お試し勤務」のみに留まらず、その後の「誘致」、「定着」まで繋げるためには、都市部企業の従業員を対象とした移住・定住施策も加えたきめ細やかな誘致活動が重要。



地方

- 地域内の雇用創出
- 地域連携ビジネスを通じた地域課題の解決
- 地場産品・サービスの販路拡大
- 地域の担い手の確保
- 遊休資産の活用



都市部企業



- 業務・資源の適正配置
- 既存サービスの販路拡大
- 地域連携ビジネスの創出
- 新しい働き方への挑戦

個人  
(企業従業員)



- 仕事を通じた自己実現
- 趣味と仕事の両立
- 地方での活躍

<SO誘致に際して設定する連携テーマ(案)>

- 都市部企業による地方人材の活用
- 地域資源を活用した新たな地域連携ビジネスの創出
- 遊休資産を活用した新しい働き方の実践

...

### 3. 取組の具体的内容 -①効果的な誘致体制の整備-

#### 概要

S0の開設や地域への定着に向け、都市部企業にとってアクセス・調整しやすい組織体制を自庁内に整備

#### 取組のポイント

- ✓ S0を基軸とした企業誘致にかかる地方側の組織体制の窓口を一元化する。  
 また、都市部企業の悩みなどに真剣に向き合えるような、専属の担当者を配置する。  
<具体例>  
 福井県鯖江市等では、S0開設に係る行政内の組織(企業誘致を担う商工政策課からS0用物件の建築・修繕を担う建築営繕課まで)の横連携が図られており、都市部企業からの依頼・相談に応じた対応が適切かつ迅速であるとの声が上がられている。  
 宮崎県日南市は、地元商店街への企業誘致に向け、「テナントミックスマネジャー」として民間より専属担当者を登用して企業誘致活動の全権を付与し、当該担当者が都市部企業の経営面から従事者の生活面に係る全面的なサポートを提供している。
- ✓ 地元の coworking space 運営企業など、都市部企業の誘致が自社ビジネスに直結するような地元事業者を取り込んだ組織体制を構築する。  
<具体例>  
 群馬県みなかみ町、愛知県岡崎市等は、お試し勤務地である coworking space の運営管理者(民間事業者)を、お試し勤務の誘引体制に巻き込むことで、企業誘引の強力な推進力を確保している。
- ✓ 企業誘致と移住促進の組織(施策)が連携した一体的な誘致体制とする。  
<具体例>  
 奈良県等は、移住・交流推進活動を担う部署が誘致活動を行うことで、単なる企業誘致に留まらず、移住に係る当県の具体的な取組内容や実例を紹介し、従業員の生活やキャリアパスが想起されるような誘致活動を実施している。

#### 課題

- ✓ 特に人材難の小規模自治体における専属担当者の確保・一元的組織の組成

### 3. 取組の具体的内容 -②地元事業者・住民への説明-

#### 概要

地元事業者・住民に対する、SO誘致の意義や効果等の説明

#### 取組の ポイント

- ✓ 誘致した都市部企業の情報を、**地域メディアを用いて行政が公的に発信**することで、地元事業者・住民の理解・信頼を得る。

＜具体例＞

福井県鯖江市、宮崎県日南市等では、誘致した企業の情報や連携内容(地域と企業の連携業務に関するプレスリリース等)を、地域メディア(地方テレビ局、地方紙等)を介して行政が公的に発信した結果、地元事業者・住民の中での当該企業の認知度が飛躍的に向上した。

- ✓ **SO誘致の意義や効果等を地元事業者・住民に対して個別に説明**することで、理解・信頼を得るとともに、誘引活動の賛同者を確保する。

＜具体例＞

静岡県南伊豆町等は、お試し勤務企業の誘引に先立ち、SO誘致の意義や効果等を地元事業者・住民に対して個別訪問形式で説明することで、地域がお試し勤務企業を受け入れる土壌を作り上げるとともに、地域課題の解決に向けてお試し勤務企業と連携する地元事業者を誘引活動の賛同者として確保した。

#### 課題

- ✓ 地域メディアと行政の密な関係の構築
- ✓ SO誘致の意義や効果等を分かりやすく説明できる人員の確保

### 3. 取組の具体的内容 -③自地域の情報発信と都市部企業等とのネットワーク創出-

#### 概要

都市部企業等への広報・プロモーション活動及び都市部企業等との接触による関係性の構築

#### 取組のポイント

- ✓ 地域課題の解決に資する機能を整理し、**都市部企業に求める役割を明確化**した上で、誘引活動を行う。

＜具体例＞

北海道下川町等は、「地域資源活用型企业」等、地域課題の解決に資する企業像を明確に定義した上で誘引活動を実施している。

- ✓ 最低お試し勤務日数を定めるなど、**お試し勤務実施のハードルをあえて上げることで進出の本気度の高い企業を誘引**するとともに、地域課題の根深さを理解してもらう。

＜具体例＞

静岡県南伊豆町、鹿児島県伊仙町等は、お試し勤務の最低日数を定めることで、期間内に地元事業者・住民の交流を促すとともに、自地域の本質的な課題等を認識してもらうよう注力している。

- ✓ 都市部企業へのPR活動に際し、**個人(企業従業員)の「仕事と生活の両立」を前面に押し出したSO活用モデルを提唱**する。

＜具体例＞

群馬県みなかみ町、千葉県南房総市等は都市部からのアクセス利便性を活かし、従業員個人の移住を伴わずとも都市部企業のSO開設が進むよう、「二地域居住」の形態での就労モデル(SO活用モデル)を提唱している。

#### 課題

- ✓ 地域課題解決に資する都市部企業(像)の目利き
- ✓ 地域課題の根深さ、「仕事と生活の両立」の効果的な訴求

### 3. 取組の具体的内容 -④お試し勤務等企業のニーズの把握-

#### 概要

お試し勤務等の実態、感想、SO開設意向及び開設のための隘路の具体的内容等の把握

#### 取組の ポイント

- ✓ 都市部企業の就労環境に係るニーズに即したお試し勤務環境を用意する。

<具体例>

福井県鯖江市等は、お試し勤務環境を用意するに当たり、独自に都市部企業に対するニーズ調査を行い、勤務環境に求める立地条件、設備、移動手段、その他生活支援サービス等の情報を整理している。

- ✓ 都市部企業の定着に向け、ビジネス面のみならず、生活面でのニーズも仔細に把握する。

<具体例>

徳島県にし阿波等では、お試し勤務に関するお試し勤務企業へのアンケート調査に加え、地元事業者の従業員（主にUIターン者）が行政と都市部企業の間に入り、生活面に関する個人（企業従業員）のニーズを個別ヒアリング形式で仔細に把握することで、ビジネス面・生活面の両面でのきめ細やかなサポートを実施している。

また、鹿児島県錦江町等は、お試し勤務期間中における域内での消費活動（食費等の支出状況等）についても調査を行い、SO誘致に伴う地域への経済的影響を把握するうえでの材料としている。

#### 課題

- ✓ 生活面も含めた都市部企業の詳細なニーズ把握を行うための人員の確保

### 3. 取組の具体的内容 -⑤地元事業者との交流・連携促進-

#### 概要

新たな事業創出に向け、SO開設を検討する(開設した)都市部企業等と地元の事業者との交流・連携の場を創出

#### 取組のポイント

✓ 地元事業者と都市部企業のマッチングを円滑化するための仕組みを構築する。

<具体例>

千葉県銚子市、北海道下川町等は、お試し勤務企業と地元事業者のマッチングサイトとして、地元事業者の発注案件や求人応募等を掲載する専用のWebサイトを公開している。

✓ 事業創出の実績・ノウハウを有する地元事業者等を活用して、交流・連携の場を創出する。

<具体例>

徳島県にし阿波は、地域に移住して事業を創出した複数の民間企業代表者を「SO誘致推進員」として配し、当該事業者の実績・ノウハウ等に基づいて地元事業者の紹介を行うなど、実効性のあるネットワーキングを支援している。

#### 課題

- ✓ 地元事業者の情報(発注案件、求人情報等)を都市部企業に効果的に伝えるための情報発信手法の検討
- ✓ 事業創出の実績・ノウハウを有する地元事業者の巻き込み

### 3. 取組の具体的内容 -⑥地域コミュニティへの定着支援-

#### 概要

SO開設を検討する(開設した)都市部企業の従業員が地域に溶け込めるように生活環境面でのサポートを実施

#### 取組のポイント

✓ SO開設企業の従業員が地域に溶け込み、快適に業務・生活を行えるように地元人材との折衝等を行う。

<具体例>

宮崎県日南市等では行政が介入し、お試し勤務企業従業員と住民とのトラブル解決に当たっている。

✓ 地域の行事・イベントを活用して、企業従業員と住民の接点作りを図る。

<具体例>

徳島県美波町等では、地域の伝統行事の際に、神輿の担ぎ手として、行政職員が地域の顔役(旦那衆)に都市部企業従業員を紹介するなど、都市部企業従業員が地域に馴染むための人的ネットワークの形成を支援している。

#### 課題

✓ 都市部企業従業員と適切にコミュニケーションが取れ、かつ、地域に根付き住民との緊密なネットワークを有する人員の確保

### 3. 取組の具体的内容 -⑦地元人材のニーズ等の把握-

#### 概要

地元人材(地元の高校・大学卒業生、子育て中の女性、シニア人材等)の就労動向及び就労ニーズ等の把握

#### 取組のポイント

✓ 雇用創出を目指す都市部企業のSO誘致にあたり、事前に地元人材のスキル・規模等の調査・分析を行い、雇用創出の実現性を検証する。

(あるいは雇用創出の実現性の高い都市部企業の業種を選定する。)

<具体例>

宮崎県日南市等は、地元住民の就労スキルや雇用規模等より、都市部企業がSOを開設した際の想定雇用者数をシミュレーションするなど、都市部企業に対し実効性の高い採用サポートを実施している。

#### 課題

✓ 上記の調査・分析の実施にあたり、データの収集と定量的分析を行うスキルを有する人員の確保

### 3. 取組の具体的内容 -⑧地域課題及び地元事業者のニーズの把握-

#### 概要

地域が抱える具体的課題及び地元事業者のニーズの把握

#### 取組の ポイント

- ✓ 自地域の課題を客観的に整理するため、都市部企業やUIJターン者等の「外部の目線」をもって地域課題を可視化する。

<具体例>

岐阜県高山市等では、お試し勤務企業として圏内の地銀系コンサル事業者を誘引した結果、地域課題が第三者の目線で客観的かつ定量的に整理されている。

また、新潟県南魚沼市等では、地元団体とお試し勤務企業等からなるSO誘致戦略検討会が組成され、域内/域外の者が協働して地域課題及びその解決方を検討するワークショップが実施されている。

#### 課題

- ✓ 客観的に地域課題を整理し、域外の者にも分かりやすく可視化して発信するスキルを有する人員の確保

### 3. 取組の具体的内容 -⑨地域ビジネス創出に向けた研究会・実証実験の実施-

#### 概要

地域の既存ビジネスと都市部企業のビジネスを掛け合わせた地域ビジネスの創出に向けた研究会・実証実験の実施

#### 取組の ポイント

- ✓ 研究会・実証実験の実施に向け、**行政と地元事業者が連携して、地域に新たな要素をもたらす都市部企業を誘致する。**

<具体例>

徳島県美波町等は、地域に進出した都市部企業と行政が連携して地域課題を整理し、その解決に資する、かつ現状地域にはないソリューションを有する都市部企業を誘致することで、進出企業間でのビジネス連携(地域防災に関する共同プロジェクト等)が生まれた他、副次的に企業間の人材交流(当該企業間の転職等)も生まれている。

- ✓ 研究会・実証実験を通して、**地域ビジネスの創出が地域に与える実体効果を検証する。**

<具体例>

鹿児島県錦江町等では、地元事業者とお試し勤務企業が協働する調査研究(農業IoT推進のための調査等)を通して、システムづくりの検討や地元生産者との意見交換等が行われ、事業創出が地域課題の解決にどのように貢献するか個別具体的な検証が行われている。

#### 課題

- ✓ 継続的に研究会・実証実験を実施するための地元団体・事業者等を巻き込んだ運営体制の整備

### 3. 取組の具体的内容 -⑩域内遊休資産の活用に向けた環境整備-

#### 概要

都市部企業のSO活用ニーズを踏まえた遊休資産(空き家、空き公共施設等)の実態調査・整備・改修等

#### 取組のポイント

✓ 空き家オーナーとの交渉支援等、財政面の補助以外に遊休資産を活用したSO環境の構築に係る人的支援を充実させる。

<具体例>

福井県鯖江市等は、SO開設に際しての空き家活用に関する財政的支援(活用補助金の提供、改修費の補助等)以外にも、候補物件の提示や現地案内、オーナーとの橋渡し交渉等の人的支援を行っている。

✓ 個人(企業従業員)の移動に伴う生活環境の確保を支援する。

<具体例>

徳島県美波町等は、都市部企業のSO開設に伴い、当該企業の従業員の入居・転居に関する空き家の斡旋を行っている。

#### 課題

- ✓ 地域に根付き、空き家オーナー等との親密なネットワークを有する人員の確保
- ✓ 遊休資産に係る情報の集約(空き家バンクの整備等)と空き家オーナーとの関係構築

## 4. 取組の実践に向けた主な課題

- 「3. 取組の具体的内容」に示すとおり、個々の取組を実践するための課題は、概ね以下の3類型に収斂できる。
- 地方公共団体においては、行政職員の育成や民間事業者との連携、民間人材の登用等を通して、長期的にこれらの課題をクリアしていくことがSO誘致推進の鍵となる。

### スキル人材の確保

以下に示すスキル・ネットワークを有する人員の確保が重要

- ✓ 経営・生活面に係る都市部企業との調整・ニーズ把握の能力
- ✓ 地元事業者・住民への説明能力
- ✓ データ収集や分析を通し、本質的な地域課題や地域のニーズを整理・発信する能力
- ✓ 地域課題解決に資する都市部企業の選定を行う能力
- ✓ 地元事業者・住民との密なネットワーク
- ✓ 都市部企業との豊富なネットワーク

### 情報発信手法の検討

以下に示すコンテンツを掲載し、都市部企業の耳目を惹くような情報発信が重要

- ✓ 地方側のSO誘致の目的や期待効果
- ✓ 地域固有の課題や生活面でのメリット
- ✓ 地元事業者の情報(発注案件、求人情報等)
- ✓ 域内の遊休資産(空き家・空き公共施設等)に係る情報の一元化

### 地域の巻き込み

以下に示す地域のプレイヤーの巻き込みや体制構築が重要

- ✓ 地域メディア(地方テレビ局、地方紙等)
- ✓ 事業創出の実績・ノウハウを有する地元事業者
- ✓ 地元団体・事業者等から組成される研究会等の運営体制

別紙 1 4 成果報告会アンケート票

「お試しサテライトオフィス」モデル事業

H29 年度採択団体成果報告会に関するアンケート

本日は「お試しサテライトオフィス」モデル事業 H29 年度採択団体成果報告会にご参加いただき、ありがとうございました。本日の報告会の内容につきましてご感想をお聞かせください。

モデル団体名	所属（自治体・企業等の名称および部署名をご記入ください）

設問 1 モデル団体からの成果報告の内容につきまして、ご感想をお聞かせください。

問 1) 参考になったモデル団体をお答えください。(複数回答可)

- 北海道下川町      群馬県みなかみ町      千葉県南房総市      岐阜県高山市  
静岡県南伊豆町      愛知県岡崎市      奈良県      鹿児島県伊仙町

問 2) 問 1) でお答えいただいたモデル団体について、具体的にどの団体のどのような取組内容が参考になりましたか。(自由記述)

問 3) 問 2) でお答えいただいた取組内容を自団体の誘致活動に取り入れる場合、どのような形で取り入れることが想定されますか。(自由記述)

問 5) 問 4) でお答えいただいた取組内容を実行に移す場合、どのような課題が想定されますか。(自由記述)

[→裏面に続く](#)

別紙 1 4 成果報告会アンケート票

設問 2 先進的団体の事例紹介や成果取りまとめの内容につきましてご感想をお聞かせください。

問 1) 参考になった取組内容はありましたか。

はい いいえ

問 2) 問 1) で「はい」と回答された方に伺います。どのような取組内容が参考になりましたか。

(自由記述)

問 3) 問 2) でお答えいただいた取組内容を自団体に取り入れる場合、どのような形で取り入れることが想定されますか。(自由記述)

問 5) 問 4) でお答えいただいた取組内容を実行に移す場合、どのような課題が想定されますか。

(自由記述)

設問 3 今後サテライトオフィスの誘致活動を継続するにあたり、国や総務省にどのような支援を期待されますか。(自由記述)

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

課題1:スキル人材の確保

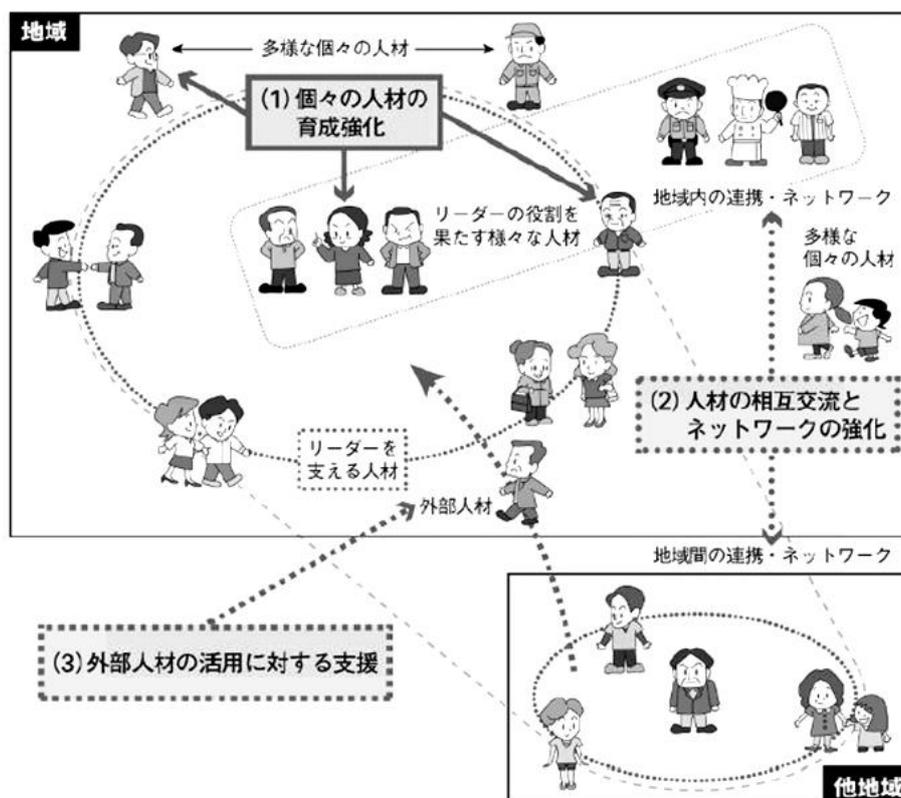
調査報告書の「図表 2-20 各重点的取組の推進に向けた主な課題」に示すように、重点的取組を進めるためのスキル人材は、まず「地域を良くしたい」という強い情熱と信念を持ち、地域に入り込み地元事業者や住民から様々な意見を引き出し、客観的な視点でまとめあげる能力が求められる。すなわち、自身で考えた地域づくり活動を推進していくリーダー的資質を有する人材が適任であり、人材力活性化研究会<sup>1</sup>（座長 飯盛義徳 慶應義塾大学総合政策部 教授）にて提唱する「地域づくり人」が人材像として合致する。

「地域づくり人」に求められる知識・ノウハウや育成の進め方については、総務省人材力活性化・連携交流室にて編纂した「地域づくり人育成ハンドブック」<sup>2</sup>を参照されたいが、本紙では、サテライトオフィスの誘致がこの「地域づくり人」の育成にどのように寄与しうるか、活用可能性を模索する。

■地域づくり人材育成に向けた三つの柱

以下に示すように、「地域づくり人育成ハンドブック」においては、地域づくり人育成の取組を推進するに当たり、「(1) 個々の人材の育成強化」、「(2) 人材の相互交流とネットワークの強化」、「(3) 外部人材の活用に対する支援」の三つの柱を掲げている。

図表 地域づくり人材育成に向けた三つの柱



出展：「地域づくり人育成ハンドブック」（総務省人材力活性化・連携交流室）より抜粋

<sup>1</sup> [http://www.soumu.go.jp/main\\_sosiki/kenkyu/jinzai/index.html](http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/kenkyu/jinzai/index.html)

<sup>2</sup> [http://www.soumu.go.jp/main\\_content/000352864.pdf](http://www.soumu.go.jp/main_content/000352864.pdf)

## 別紙 16 重点的取組の推進に係る課題の解決方策（例）

### ■地域づくり人材育成に向けたサテライトオフィスの活用可能性

このうち「(3)外部人材の活用に対する支援」について、より具体的には、外部の人材（ヨソモノ）は知恵や技術を地域に移入するとともに、地域にはない新たな発想や視点をもたらし、既存の人間関係を乗り越え、地域内の人材を相互につなぐ役割を果たしうることが記されている。

これは、特に人材が不足している地域等では域内の人材育成が難しいために、外部人材を「地域づくり人」として登用する発想であるが、このようなケースにおいて、お試し勤務を通じたサテライトオフィス誘致を進める際に、例えば上記スキルやネットワークを有する都市部企業（コンサル・シンクタンク関連企業等）を積極的に誘致することで、重点的取組を推進する「スキル人材の確保」に繋がることが期待できる。

参考までに「地域づくり人育成ハンドブック」において、外部人材の活用に向け、地域に期待される取組等に係る記載を以下に示す。

図表 外部人材の活用に係る記載事項

#### (1) 外部人材が地域にもたらすもの

##### ●「よそ者」の新鮮な目

「よそ者」は地域で当たり前だと思っているものを新鮮な目で見ることができ、これまでになかった住民同士のつながりをつくることができます。外部の人材は、単にノウハウを地域へ移入するだけでなく、新たな発想や視点をもたらし、既存の人間関係を乗り越え、地域内の人材を相互につなぐ役割を果たしえます。地域の魅力の再認識や地域資源の発掘、関係者の有機的な連携が鍵となる地域活性化においては、外部から人材が入り、積極的に地域に関わることは極めて重要です。

##### ■期待される取組み

###### ○「よそ者」の積極的活用

- ・ 地域の課題解決や活性化の起爆剤として、外部人材を積極的に活用します
- ・ 講演会や研修等様々な機会を活用して、日々「人材探し」を意識します

###### ○情報発信なくして情報受信なし

- ・ 団体内部の課題等に関する情報を対外的に発信することで、団体がどのような外部人材を求めているかを周知し、適切な人材を招へいします

出展：「地域づくり人育成ハンドブック」（総務省人材力活性化・連携交流室）より抜粋

## 課題2:交流・連携・定着等を促進する場の形成

調査報告書にて、重点的取組として掲げる「地元事業者との交流・連携促進」や「地域コミュニティへの定着支援」、「地域ビジネス創出に向けた研究会・実証実験の実施」等を実践し、成果（新たな地域連携ビジネスの創出、都市部企業・従業員の地域への溶け込み等）を創出するためには、調査報告書の「図表 2-20 各重点的取組の推進に向けた主な課題」に示すように、地域内外の多種多様なプレイヤーが有機的に連携して活発に情報を交換する場を形成することが肝要である。

これに関しては、国土交通省発行の「ローカル版「知的対流拠点」づくりマニュアル」<sup>3</sup>にて提言される「知的対流拠点」のイメージに近い。

### ■ 「知的対流拠点」の形成

「ローカル版「知的対流拠点」づくりマニュアル」においては、「地域における新事業の創出や既存産業の付加価値化につながる「地域発イノベーション」の創出に向け、地域内の自治体や事業者、住民、大学や研究機関、金融機関等の産学官金等が連携するための、知識と情報の対流の拠点を「知的対流拠点」と定義しており、このような拠点のあり方は、重点的取組の推進に向け、都市部企業と地元事業者・住民が有機的に連携するサテライトオフィスの理想形とも言える。

この知的対流拠点の形成に向け、当該マニュアルにおいて記される4つの要素を以下に示す。知的対流拠点を形成するに当たっては、特に「③活動空間」の要素をサテライトオフィスが担うことが重要である。また、「①活動主体」及び「②活動主体を繋ぐコーディネート等を行う主体」の確保については「課題1：スキル人材の確保」に示すとおりである。

図表 知的対流拠点づくりに必要な4つの要素

①活動主体	②活動主体を繋ぐコーディネート等を行う主体
<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ <b>地域の強みとなり得る資源を発見する者・生み出す者</b> … 大学・研究機関、民間事業者(商工業・農林水産業等)、地域商社、個人、自治体など</li> <li>✓ <b>新たな事業を創出する者・既存事業の高付加価値化をする者</b> … ベンチャー企業、民間事業者(商工業・農林水産業等)、地域商社、三セク、自治体など</li> <li>✓ <b>新たな事業の創出や高付加価値化を支援する者</b> … 金融機関等(資金・経営サポート)、大学・研究機関(食品の機能性分析、人材育成等)、三セク(専門家による起業相談、低料金での施設・機器提供等)、自治体(各種制度・支援施策の有効活用をサポート)、商工会議所・商工会等の支援機関 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ <b>①の活動主体の巻き込み、繋ぎのコーディネート、地域ブランディングのための情報発信等を行う者</b> … 自治体、三セク、民間団体、地域商社、商工会議所・商工会等の支援機関 など</li> </ul>
知的対流拠点づくりに必要な4つの要素	
③活動空間	④活動を支える交通ネットワーク
<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ <b>地域内外の様々な人との交流を促す施設、技術・産品等の地域資源を地域内外に情報発信する施設</b> … インキュベーションセンター、伝統工芸館、産業支援センター、道の駅、地域交流施設、廃校をリノベーションした活動・交流拠点、小さな拠点など</li> <li>✓ <b>商品試作や研究・実験等を行う施設</b> … レンタルラボ、工場、大学、試験研究機関など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ <b>知識やアイデアを持つ人の流れを加速化する交通ネットワーク</b></li> <li>✓ <b>地域発イノベーションの成果である物の流れを支える交通ネットワーク</b></li> <li>✓ <b>観光に必要な交通ネットワーク</b></li> </ul>

出展：「ローカル版「知的対流拠点」づくりマニュアル」（平成 29 年 3 月国土交通省国土政策局）を基に作成

<sup>3</sup> <http://www.mlit.go.jp/common/001190302.pdf>